

第八十一回帝國議會
衆議院

農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案
農業團體法案(政府提出) (第四五號)
水産業團體法案(政府提出) (第四六號)

昭和十八年二月十三日(土曜日)午前十時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君

理事白川 久雄君 理事恒松於菟二君

理事成島 勇君 理事西川 貞一君

理事濱地 文平君 理事吉田 正君

青山 憲三君 池田正之輔君

石坂 養平君 石坂 繁君

五十嵐吉藏君 馬岡 次郎君

岡田啓治郎君 奧 久登君

越智太兵衛君 加藤 知正君

金子彦太郎君 北 勝太郎君

小山邦太郎君 小平 權一君

河野 一郎君 眞藤慎太郎君

鈴木 重次君 杉山元治郎君

高橋熊次郎君 高橋壽太郎君

高田 耘平君 土屋 源市君

中井 亮作君 中川 寛治君

松浦 伊平君 松原五百藏君

松山常次郎君 前川 正一君

間宮 成吉君 森部 隆輔君

山口左右平君 山口馬城次君

吉植 庄亮君

出席政府委員左ノ如シ

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省水産局長 寺田 省一君

農林省食品局長 田中 啓一君

農林書記官 藤田 巖君

厚生省勤勞局長 持永 義夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業團體法案(政府提出)

水産業團體法案(政府提出)

○東郷委員長 會議ヲ開キマス——間宮君

○間宮委員 我ハ海ノナイ岐阜縣ノ實體カ

ラ十四條ノ問題ニ付テ御尋ネ致シタイト思

ヒマス、岐阜縣ノ如キ沿岸ノアリマセヌ所

ハ、從來ノ淡水漁業ハ長良、揖斐、木曾ト

云フヤウナ水系毎ニ關係町村ガ寄集マリマ

シテ、或ハ人工孵化デアルトカ、放流デア

ルトカ、各種ノ事業ヲシテ參ツタノガ實情

デアリマス、今度市町村毎ニ漁業會ガ出來

ル、府縣ノ水産業會ガ出來ル時ニ於キマシ

テモ、斯ウ云フヤウナ仕事ノ實體ノ上カラ

申シマシテ、水系毎ニ關係ノ十數箇町村、或

ハ二十數箇町村ノ聯合會ヲ認メテ戴ケマス

カ、或ハ水系毎ニ何カ特別ノ漁業會ヲ御認

メニナツテ戴クコトガ出來ルカ、此ノ點ニ

對シマシテ水産局長ノ御意見ヲ伺ヒタイト

思ヒマス

○寺田政府委員 漁業會ノ地區ニ付キマシ

テハ、從來ノ漁業組合ノ場合ニ於キマシテ

モ、河川ノ水系ニ付キマシテハ、川ノ大キ

サニモ依ルコトデアリマスガ、成ルベク同

一水系ニ屬スル町村ハ、一緒ニナツテ漁業

組合ヲ設立スルノガ、最モ便利デアルト云

フ考ヘカラ、サウ云フ指導方針ヲ大體執ツ

テ參ツテ居リマス、此ノ水産業團體法ニ依

リマシテ漁業會ノ設立ト云フコトニナリマ

スト、河川ノ漁業ニ付キマシテハ、同一水

系ニ屬スル市町村ニ付キマシテハ、其ノ水

系ノ實情ニ照シマシテ、必要ナ市町村ハ聯

合シテ漁業會ヲ設立シテ參ルヤウニ致シタ

イト存ジテ居リマス

○東郷委員長 馬岡次郎君

○馬岡委員 此ノ水産業團體ノ法案ニ關

聯シマシテ、鹽干魚ノ配給ニ付テ水産局長

ニ御尋ネ致シタイ點ガアルノデアリマス、

是ハ或ハ手前味噌ト言ヒマスカ、勝手ノ御

願ヒカモ知レマセヌ、併シ以前鹽干魚ノ配

給ハ大體農村カ山村、最モ不便ナ地區ニ配

給サレタモノデアリマス、都市ニハ主ニ生

鮮魚類ガ配給サレテ居ツタ、然ルニ是ガ少

クナリマシタ關係上、最近デハ都市ニモ鹽

干魚ガ向ケラレルヤウニナツタ、然ル所鹽

干魚ヲ一律ニ配給サレマス關係カラ、山村、

農村ニ向ツテ行ク鹽干魚ノ率ガ、非常ニ

減ツテ來タカノヤウニ考ヘラレル、以前ノ

實績ト申シマスカ、其ノ比率カラ見ルト、

相當多ク割當テラレナケレバナリナイ鹽干

魚ガ、一律ニ都市ニモ農村ニモ割當ラレル

ヤウナ傾向ニナツテ居リハシナイカ、此ノ結

果山村及ビ農村ニハ、非常ニ鹽干魚ノ配給ガ

惡クナツタ、サナキダニ國民保健ノ上カラ榮

養食トシテ、最モ貯藏ニ耐ヘマスシ、運搬

ノ上カラ考ヘマシテモ、山村農村ノ僻遠ノ

地ニ參リマスモノハ、此ノ際鹽干魚以外ニ

ハ望ムコトガ出來ナイ、然ルニ是ガ非常ニ

配給ガ惡クナツテ居ル、此ノ點ニ付テ水産

當局デハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ラ

レルカ、一應此ノ點ヲ承リタイ

○寺田政府委員 鹽干魚ノ農山村方面ニ配

給セラレマシタ從來ノ實績ガ最近ニ至リマ

シテ思ハシクナイト云フ狀態ヲ示シテ居ル

ノデアリマスガ、是ハ昨日モ御話ガ出マシ

タヤウニ、鹽干魚ニ同クヤウナ魚ノ漁獲ノ

情勢ガ特ニ變ツテ來テ居ル、昨年夏以來ノ

鰻ノ漁獲ニ付テ見マス、是ハ海流ノ關係

其ノ他ノコトカラ漁獲ガ著シク減ツテ居ル

ノデアリマス、隨ヒマシテ鹽干魚ニ製造サ

レル原料ガ非常ニ不足シテ來テ居ル、サウ

云フヤウナコトモ影響シテ居ルノデハナイ

カト思ツテ居リマス、特ニ配給ノ方面ニ於

テ、都市ト農村トヲ區別シテ扱フト云フ程

ノコトニマデハナツテ居ラナイト思ツテ居

リマス、隨ヒマシテ今後トモ漁獲ノ増加ト

鹽干魚ノ配給ノ圓滑トヲ供セテ考ヘテ行ク

ヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○馬岡委員 只今ノ御答辯デ御意思ハ分ツ

タノデアリマス、併シ私ノ御尋ネシマスノハ、

漁獲高ノ少イコトハ分ツテ居ル、漁獲高ノ少

イモノヲ澤山下サイト申上ゲルノデハナイ

ノデアリマス、以前ハ都會ニハ生鮮魚ガ行

ツテ、鹽干魚ハ殆ド行ツテ居ラナカッタ、サ

ウシテ鹽干魚ハ農村及ビ山村ノ僻遠ノ地ニ

行ツテ居ツタ、然ルニ今度ハ漁獲高ガ減リ、

非常ニ生鮮魚ガ減ツタ關係上、其ノ鹽干魚

ガ都會ヘ流サレテシマツタ、サウシテ農山

村ニハ運賃其ノ他ノ關係デ比較的行カナイ、

斯ウ云フ結果ニナツテ居リハシナイカ、實

績カラ見ルナラバ、大體多ク割當テラレバ

キモノガ、ドウモ一律ニ割當テラレテ居リ

ハシナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタイ、

特ニ私ガ斯カルコトヲ御尋ネスルノハ外デハナイ、此ノ頃動モ致シマス、農林省ハ直ニ一律ニサレマシテ、肥料ノ如キデモ、昭和十七年ニハ實績デヤラレマシタ關係上、而モ是ハ有機質肥料ヲ捨テテ無機質肥料ノ標準デヤツタ爲ニ、現在ノ肥料配給ハアノヤウナ形ニナツテ居ル、斯ウ云フ風ナコトガ此ノ鹽干魚ニモアリハシナイカ、是デハ農山村ノ榮養保有上困ル、是非トモ之ヲ特ニ何トカ御考ヘテ願ヒタイ、而モ是ハ運賃關係デ一律ニ行カナイ、コトニ缺點ガアリハシナイカ、斯ウ云フ點ヲ特ニ御考ヘテ願ヒタイ、サウシテ配給ノ方法ヲ御立テ願ハナイト、ドウモ國民保健ノ上カラ考ヘマシテ、非常ニ心配ナ點ガ多イノデアリマス、此ノ點ハドウナツテ居ルカ、御尋ネ致シタイ

○田中(啓)政府委員 配給ノ方デアリマスカラ私カラ御答ヘテ致シマス、實ハ鹽干魚ノ内、統制ガ付キマシテ制當マデ仕事ガ出來テ居リマスノハ、所謂鹽銕鱈デデアリマス、是ハ或ハ今御尋ネノヤウニ都市方面ニ餘計割當テラレテ居ルト云フ事實ハアルト思ヒマスガ、是ハ從來ノ實績モアリ、又消費力ノ點カラ言ツテモサウデアルト云フノデ、現在サウナツタノデアリマスガ、一番農村方面ニ消費ノ多カツタト思ハレマス所謂製製品ノ如キモノハ、是ハマダハツキリシタ統制ハ付イテ居ラナイノデアリマス、隨テ割當ツテ仕事ガ出來テ居リマセ、何處トナシニ行ツテ居ルト云フ狀態デアリマス、殊ニ都市モ是ガ來ナイト云フノデ、實ハ非常ニ悲鳴ヲ上ゲテ居ルノデアリマシテ、少シデモ配給ヲ軌道ニ乗セヨウト云フノデ、水産物ノ荷受ノ機構ヲ大消費地ニ作ラセタノデアリマスガ、作ツテ見タガ少シモ物ガ

來ナイ、全ク開店休業ノ狀態ダト云フヤウナコトデアリマス、唯其ノ内ソレニ少シ手ヲ加ヘマシタ味喰漬トカ、粕漬トカ云フヤウナモノガ、屢、各地ニ氾濫ト申シマス、非常ニ値段ガ高イモノデアリマス、店先ニアアルノガ目ニ付キマシテ、相當非難モ受ケテ居リマスカラ、斯ウ云フ餘計ナモノヲ餘リ作ラナイヤウナ適當ナ措置ヲ講ジナケレバナラヌト思ツタノデアリマス、ソレ以外ニハ實ハ都市デモ澤山ハ入ツテ來テ居ラスノデアリマス、大體水産製品ノ統制ノ現狀ハ、今申上ゲタヤウナ狀態デアリマス、尙ホ國民全體的二見マシテ、ソレハ從來ノ消費慣行ナリ、又國民ノ榮養ノ見地カラナリ、將來適正ナル配給ヲシテ行クヤウニ、軌道ニ乗セテ行キタイト云フヤウニ考ヘマシテ、只今努力中デゴザイマス

○馬岡委員 事情ハ承リマシタ、併シ只今御話ノ通り、鹽銕鱈ガ過去ノ實績ニ依ツテ統制デ割當テラレテ居リ、其ノ他ニ付テハ其ノ儘ニシテ居ルト云フ御話、御尤モデアリマス、併シドウモ現在ノ形デ置カレマスタラバ、物ガ減ツテ居ル關係上鹽干魚ニナラナイ、而モ鹽干魚ニシマシテモ、其ノ儘デ賣レバ却テ都會ハ流レテシマツテ農村ヘ來ナイ、ナゼ來ナイカ、是ハ申上ゲルマデモナク運賃ガ加算サレナイ關係モアリマセウ、幾分加算サレテ居ルモノモアリマセウ、又配給所ノ關係カラ來ナイモノモアリマス、斯ウ云フコトデ餘リ來ナイ、是ハ何カモウ少シ系統ヲ長ク御考ヘ下サツテ、サウシテ全購販ヲ通ジテ、鹽銕鱈ハ幸ヒニシテ農村ニモ割當テラレテ居リマスガ、斯ウ云フ風ニ何カ一ツ關係機關ヲ通ジテ、今度團體ガ統制サレルナラバ、此ノ團體ヲ通ジテ

配給ニナレバ、是等ノコトモ完全ニ行クノデハナイカ、サウスレバ運賃價格其ノ他ノ不便モ此ノ團體ニ依ツテ片付クノデハナイカ、斯ウ云フモノコソ大イニ此ノ團體ヲ御利用ニナルコトガ必要デアル、而モ或ハ言葉ガ過ギルカモ知レマセヌガ、易キニ就カレテ難カシイコトヲ殘シテ居ラレルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、モウ少シ難カシイコトヲ先ニ考ヘテ戴キタイ、特ニ是ダケ申上ゲテ置キマス

○東郷委員長 杉山元次郎君

○杉山委員 私ハ最初ニ條文ニ付テ一、二御伺ヒ致シマシテ、後デ關聯ノ事項ヲ御尋ネ致シタイト存ジマス、第十一條ヲ見マス「漁業權者ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ」ト斯ウ書イテアリマスヤウニ、本來漁業會ト云フモノハ漁業權ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトガ前提條件ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、所ガ漁業組合ノ中ニハ、マダ漁業權ヲ持ツテ居ラナイモノモ相當アルト存ズルノデアリマスガ、サウ云フモノニ對シマシテ一體ドウ云フヤウナ處置ヲ御執リニナルノデアアルカト云フコトガ、御尋ネ致シタイ第一點デアリマス、サウ致シマシテ蛋白食糧ノ補給ノ爲ニ、水産食料品ノ生産増強ト云フモノガ非常ニ必要デアアルコトハ、今更申スマデモナイト思フノデアリマス、ソコデ生産増強ノ點ニ付テハ後デ伺ヒタイト思ツテ居リマスガ、其一ツノ方法トシテ昨日モ御話ガゴザイマシタヤウニ、内水面ノ利用ガ必要デアアル、六十五町歩モアル内水面ヲ利用致シマスナラバ、確カニ水産食料品ノ生産増強ニナルト存ズルノデアリマス、所ガ内水面ヲ利用致サウトシマスル時ニ、特ニ河川ナドノ

利用ニナリマスルト、内務省ハ時ニ之ニ對シテ反對ノ態度ヲ執ル場合ガアルノデアリマス、サウ云フヤウニ内務省ガ專用漁業權ヲ有スルノニ反對スルト云フ傾向ノアリマス時ニ、農林省ハドウ云フヤウニ之ヲ調整ササルノカ、此ノ點ト第十一條ニ關スル點ト二ツノ點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス

○寺田政府委員 第十一條ノ漁業權或ハ入漁權ノ取得又ハ貸付ノ點デアリマスガ、從來ノ漁業組合ニ於キマシテモ、漁業權ノ取得又ハ貸付ヲ受クルコトヲ目的トシテ組合ノ組織ヲ認メテ參ツタノデアリマス、漁業權ニ付キマシテハ其ノ免許ノ出願ヲシ居リ、或ハ其ノ漁業權ノ貸付ヲ受ケ得ルト云フ大體ノ見込ガ立チマスレバ、ソレデ漁業組合ノ設立ハ認メテ參ツテ居ルノデアリマス、今度ノ新團體法ニ依リマスレバ、漁業會ノ設立ニ付キマシテハ、ヤハリ漁業權又ハ入漁權ノ取得或ハ又漁業權ノ貸付ヲ受ケルコトガ目的ノ一ツニナツテ居リマスケレドモ、組合ノ設立ト同様漁業會ノ設立ニ付テハ、其ノ目的ヲ持ツテ居レバ足リルト云フ考ヘ方デ參ツテ居ル次第デアリマス

ソレカラ第二點、河川ニ於ケル專用漁業權ノ問題デゴザイマスガ、河川ニ於ケル專用漁業權ニ付キマシテハ、公有水面或ハ公有水面ニ連接シテ一體トナツテ居ル水面デアリマスレバ、專用漁業權ノ設定ハ出來ルノデアリマス、内務省トノ關係ノ問題ハ、河川法ニ依ル關係デアリマスケレドモ、ソレハ水面ノ使用ト云フコトニナリマスノデ、又別ノ權利ト云フコトニナルノデアリマス、併シ是モ漁業法制定ノ際ニ、大體漁業權設定ノ方針ガ決メラレテ居リマシテ、專用漁

業權ヲ設定スルヤウナ場合ニハ、水面ノ使用權モ之ニ步調ヲ合セル、サウシテ專用漁業權或ハ其ノ他ノ漁業權ノ移轉ニ際シマシテハ、其ノ使用ノ權利義務モ件ツテ移ルト云フヤウナ大體ノ方針ヲ執ラレテ居ルノデアリマス、漁業權ニ付テ其ノ設定ヲ許シテ行キマス場合ニ、今日マデサウ云フヤウナコトデ餘リ混ミ入ツタ話ハナカツタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス

○杉山委員 今ノ御答ヘデ漁業會ト云フモノハ、本來漁業權ヲ有シテ居ルカ、或ハ貸付ヲ受ケテ居ルカスベキモノデアアル、斯ウ云フコトガ明カデアリマスガ、私ノ御尋ネシマシタヤウニ、此ノ漁業權ヲ持ツテ居ナイヤウナ從來ノ漁業組合、今後ノ漁業會ニ對シテ漁業權ヲ持ツヤウニ御指導ニナルノデアアルカドウカト云フ點、ソレカラ今局長ハ内務省トノ間ニ大シタサウ云フ問題ハナカツタト云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ私自身ノ關係ニナリマスカラ申上ガマセヌケレドモ、多少サウ云フ問題ガアルノデス、水面利用ニ對シテ内務省ハ反對スベキ理由ヲ持ツテ居ナイニ拘ラズ、反對シテ居ルコトモアルト存ジマスノデ、是非其ノ點ニ付テハ農林省ノ十分ナル御協力ヲ願ヒタイノデアリマス、後ノ方ハ私ノ希望ダケ申上ガマシテ、前ノ點ニ付テモウ一度伺ヒタイト存ジマス

○寺田政府委員 漁業權ノ取得又ハ貸付ヲ受ケルコトニ付キマシテハ、從來ノ漁業組合ノ場合ニ於キマシテハ、是ハ持タナケレバ都合ガ惡カツタノデアリマスケレドモ、今後ノ漁業會ニ於キマシテハ、漁業組合ノ從來ノサウ云フ傾向ニ付キマシテモ、十分實情ヲ見マシテ進ンデ参リタイト思ツテ居リ

マス、ソレデ漁業權ヲ持ツテ居ナイモノ、或ハ貸付ヲ受ケテ居ナイモノニ對シテ漁業權ヲ持タセルヤウニ、或ハ貸付ヲ受ケルヤウニ指導スルコトモ、是ハ必要デアラウト思ヒマスケレドモ、又實情ヲ能ク見マシテ、サウ云フ漁業會ノ指導上遺憾ナキヲ期シテ参リタイト思ツテ居リマス

○杉山委員 第十一條ハソレダケニ止メマシテ、次ニ第十四條ニ付テ御伺ヒ致シマス

二以上ニ跨ルカ、或ハ數箇村ニ跨ツテ居ルヤウナ漁業會ガアルト致シマスル、是ハ第十四條ノ第一項ノ末尾ニアル、特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズト云フ方ニ入ルノデアリマセウカ、或ハサウデナク、第二項ノ方ノ特別漁業會ノ方ニ入ルノデアリマセウカ

○寺田政府委員 此ノ第十四條ノ第一項ノ但書ノ規定ニ依リマシテ、從來ハ二以上ノ市町村ニ跨ル區域ニ於テ漁業組合ノ設立ヲ認メテ參ツテ來テ居ルノデアリマス、唯此ノ新シイ團體法施行ノ曉ニ於キマシテハ、第十四條第一項ノ但書ノ場合モアリマスシ、ソレカラ第二項ニ依ツテ特ニ措置スル場合モ出テ來ヨウカト思ツテ居リマス、ソコデ、是ハ先程間宮サンカラ御尋ネモアツタノデアリマスケレドモ、二以上ノ市町村ニ跨ツテ漁業組合ヲ作りマシタ場合、從來ノ實例カラ申上ガマスト、河川ニ於ケル漁業組合、是ハ大體ニ於テ同一水系ニ於ケル市町村ハ、實情ニ應ジテ一緒ニツテ漁業組合ヲ作ルヤウニスル、斯ウ云フ指導方針ヲ執ツテ參ツテ居リマス、漁業會ニナリマシテモ此ノ河川ノ漁業組合ニ付キマシテハ、第十四條第一項ノ但書ニ依リマシテ、特別ノ事由アルモノト認メテ参リタイト思ツテ居

リマス

○杉山委員 ソレデ分リマシタガ、河川等ノ數箇村、或ハ二、或ハ三郡ニ跨ツテ居リマシテモ、末尾ノ方ノ漁業會ノ方ニナルノデゴザイマセウカ

○寺田政府委員 河川ニ臨ンデ居ル市町村ノ場合ニ於キマシテハ、二郡ニ跨ツテ居ルノモ從來認メテ居リマス、今後トモ其ノ方針ハ變ヘナイ積リデアリマス

○杉山委員 次ニ第十六條ノ第一號デアリマスガ、會員ノ漁業ニ密接ナル關係ヲ有スル者ト云フノハ、此ノ間ノ御説明デハ雇人トカ、水産製造業ヲシテ居ル者、或ハ水産物ヲ保管シテ居ル者ト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是レ以外ハ第一號ニナイノデセウカ、或ハ從來其ノ區域ニ住ンデ居ナクテモ會員關係デアツタト云フ者、例ヘバ組合ノ總會ナドデ會員ニ推薦シタ者ガアリマシタ時ニハ、今ノ第一號ノ如キモノニ入ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○寺田政府委員 第十六條第一號ノ會員ノ漁業ニ密接ナル關係ヲ有スル者ト云フ中ニハ、先程御述べニナリマシタヤウナ者トカ、尙ホ之ニ類スルヤウナ者モアラウト思ヒマスシ、ソレカラ御引合ニナリマシタ地域内ニ住所ヲ有シナイ者ニ付テモ、漁業ノ本據ヲ其ノ地區内ニ有スルヤウナ漁業者トカ、特ニ今度ハ第十五條ニ依ツテ會員タル資格ヲ有スル漁業者ヲ規定シテ居リマスガ、サウ云フ第十五條ノ規定ニ該當シナイヤウナ漁業者モ當然此ノ「會員ノ漁業ニ密接ナル關係ヲ有スル者」ニナラウト思ヒマス、其ノ他ノモノニ付テハ第二號ニ依ツテ、命令デ實情ニ應ズル規定ヲ設ケテ参リタイト思ツテ居ル次第デゴザイマス

○杉山委員 私ハ從來ヨリ河川ノ漁業組合ノ組合長ヲシテ居リマスガ、實ハ其ノ區域内ニ住ンデ居ナイケレドモ、從來ノ漁業組合法ニ依ツテ總會ノ決議ニ依リ推薦スルナラバ、組合員或ハ役員トナルコトガ出來ル、斯ウ云フ規定ニ依ツテナツテ居ルノデアリマスガ、本法ニ依ルトサウ云フ者ハ會員ニナルコトガ出來ナイデアアラウカドウカ、斯ウ云フ問題デアリマス

○寺田政府委員 漁業會ノ會員タルベキ者ノ資格ニ付キマシテハ、從來モ會則デ色々決メテ居ルモノモアルヤウニ存ジマス、現在ノ漁業組合或ハ團體ノ加入資格ト云フヤウナモノモ、十分能ク檢討シテ、第十六條第二號ノ命令デ決メルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ御話ガアリマシタ役員ハ、必ズシモ會員デナクテモ宜シウゴザイマス

○杉山委員 條文ハソレダケニ致シマシテ、次ニ昨日岡田サンガ觸レタノデアリマスガ、皇國漁村ノ問題ニ付テ少シ御尋ネシタイト存ジマス、漁村モ純漁村ト云フノハ比較的ニ少クテ、恐ラク半農半漁ト云フヤウナモノガ多イノダラウト存ジテ居リマス、隨テ今日ノ漁村ハ農村ト同ジヤウニ食糧ノ給源地デアリ、又民族培養ノ基地デアルト思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ先般岡田委員ノ質問ニ對シテ局長ハ、皇國漁村ノ趣旨ニ付テハ考ヘテ居ル、斯ウ云フ御言葉ダケデアツタノデアリマスガ、單ナル趣旨ヲ考ヘテ居ルト云フダケデハ大變物足ラナイノデアリマシテ、此ノ際ニ皇國漁村ト云フモノハ斯クアルベキモノデアルト云フヤウナ設計ナリ、構想ナリデモ若シ伺ハセテ戴クコトガ出來レバ、大變幸セダト存ジテ居ルノデアリマス、議會ニ於キマシテ農村方面ノ論議

ハ中々盛シニ行ハレルノデアリマスガ、遺憾ナガラ漁村ニ關シマスルト甚ダ少イノデアリマス、當局ニ於テハ明確ナル統計スラモ御持合セニナラナイト云ツタ位デアリマシテ、隨テ漁村ハ置キ去リニサレルヤウナ傾キガアルヤウニ思ヒマス、斯クノ如キ狀態デアリマス、今日ノ漁村ハ段々衰退シ、減少シテ行クノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマスガ、漁家ノ増減模様ハ最近ドウ云フヤウナ數ニナツテ居リマスカ、其ノ推移ヲ御示シ戴キタイト思フノデアリマス、私ハ以上申上ゲマシタヤウナ觀點カラ致シマシテ、今ニシテ漁村計畫ト云フモノヲ確立シテ實行シテ行カナケレバ、漁業日本ノ將來ニ非常ナ禍根ヲ貽スノデハナイカ、ト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、漁村ノ向上發展ヲ如何ニシテ行クカ、是非當局ノ御方針ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、尙ホソレト共ニ附加ヘテ農家ノ色々ノ補助金ハ、先般農林省カラ御示シニナツテ居リマシタヤウニ、五億圓以上アルト云フコトニナツテ居リマスガ、百六十萬戸ニ近イ漁家ノ爲ニ、一體本年ノ豫算デ補助額ハドレ程計上サレテ居リマスカ、其ノ點ガ御分リニナレバ示シテ戴キタイ、以上ノ點ニ付テ御答ヲ煩ハシマス

○寺田政府委員 皇國ノ漁村ノ確立ニ關スル問題ニ付キマシテハ、率直ニ申上ゲマスト、私トシテモ何トカハ速力ニ行クベキ方向ヲ示シテ、漁業者ノ方々ニ十分奮起シテ戴キタイト考ヘテ居ツタノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通り漁村ト云フモノハ農村ニ比ベマス、色々ト其ノ實情ガ違ヒマス、漁村ノ種類ト申シマスカ、其ノ業態ノ差別ト申シマスカ、是ガ多種多様ナノデ

アリマス、隨ヒマシテ此ノ漁村ヲ通ジテドウ云フ形ガ理想的ノ形デアアルカト云フコトガ非常ニ難シイノデアリマス、同様ニ致シマシテ皇國漁村ノ建設ニ付テ中心ニナリマスモノハ、ヤハリ鍊成ト云フコトガ一つノ問題デアアルト思ヒマス、ソレモ考ヘタノデアリマスガ、農業ノ場合ニ於キマシテハ、土地ノ耕作ト云フコトヲ一つノ主ナル狙ヒ所トシテ、色々ナ鍊成計畫モ立ツノデアリマスケレドモ、漁業ニナリマスト網モアレバ釣モアル、製造加工ト云ツタヤウナモノモアリ、此ノドウ云フ點ニ着眼シテ共同ノ行動ヲ律シ、又共同ノ精神ヲ擲ンデ行クカト云フコトニ付テ惱ンデ參ツタノデアリマス、併シ皇國漁村ノ確立ト云フコトニ付キマシテ、是ハヤハリ何トシテモ十分考ヘテ計畫ヲ立テテ行カナケレバナラスモノト云フ風ニ考ヘテ居リマス、引續キ十分此ノ問題ニ付キマシテハ檢討ヲ重ネツツアル次第デゴザイマス

其ノ次ニ現在ノ漁家ノ數ノ推移ノ御尋ネデゴザイマスガ、統計ニ現ハレテ居リマス所カラ申上ゲマス、大ナル變動ガナイノデアリマス、唯統計ガ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ直接ノ資料ニナラナイト申シマスノハ、是モ亦漁業ノ性質カラ參リマス、小サナ漁船ニナリマス、一寸情勢ガ變リマスレバ移動ヲ致シマス、或ハ災害等ガアリマスト、其ノ後ノ情勢ト云フモノガ急速ニ變リマセス、サウ云フヤウナコトカラ其ノ時其ノ時ニ於ケル實情ト云フモノヲ、正確ニ把握スルノハ骨ガ折レルノデアリマス、ソレデ漁家ノ數ニ致シマシテモ、家ノ數ハ是ハ大體ニ於テ變リハアリマセヌケレドモ、漁業ニ從事シテ居ル人々ノ實情ト云フモノ

ハ、是ガ又季節ニ依ツテ異リ、漁業ノ種類ニ依ツテ又異リマス、其ノ實情ト云フモノハハツキリシナイ憾ミガアルノデアリマス

其ノ次ニ漁業關係方面ノ補助金ノ御話デゴザイマシタガ、是ハ今日マデノ數年間ノ情勢ヲ大體見テミマス、時局下ノ産業編成ト云ツタヤウナ立場モアツタカト思ヒマスガ、トモスレバ漁村ノ關係ハ必ズシモ十分考ヘラレテ居ナカツタト云フコトモ言ヘルデアリマセウ、或ハ農林省ノ關係ガケカラ申シマシテモ、主要食糧、即チ米麥重點主義ト云フヤウナコトカラ、サウ云フ建前ヲ執ラザルヲ得ナカツタコトモアツタカト思ヒマス、併シ漸次是モ食糧ガ重要性ヲ加ヘルニ伴ヒマシテ増加シテ參ツテ居リマス、ソレデ水產關係ノ豫算ハ千三百萬圓程度ニナツテ居リマス、其ノ中増産ニ關スル直接ノ經費ダケヲ拾ヒマシテモ、約六百萬圓ヲ超スト云フヤウナ狀態ニナツテ居リマス、普通ノ事務費ニ付キマシテハ大體ハサウ云フ増産、或ハ水産業ノ振興ト云ツタヤウナ經費ニ向ケラレテ居ルノデゴザイマス

○杉山委員 御話ノヤウニ漁村ハ農村ト違ヒマシテ、種々雜多デアリ、漁業ノ種類モ數多アリマス、皇國漁村ノ設計ニ付テハ、色々ト面倒ノアルコトハ確カニ了承致シマス、併シ沿岸漁業ノ大體ノ形式トシマシテ、或ハ何種類カニ決定ガ出來ルカト存ジマスノデス、サウ云フ立場カラ重點的ニ考ヘテ其ノ所々ニ適シ、或ハ其ノ漁種ニ適スルヤウナモノヲ數種考ヘテ行ケバ宜イノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、是非一日モ早くサウ云フ設計ガ出來ルヤウニ御願ヒシマス、ト同時ニ尙

ホ鍊成ヲ中心トシテヤラナケレバナラス、是ハ申スマデモナイコトデアリマスガ、漁村道場ト云フモノヲ今日以上ニ尙ホ御殖ヤシニナル計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマセウカ、今年漁村道場ノ擴張費用ト云フモノニ付テ、何カ御見込ヲ持ツテ居ルカドウカト云フ點ヲ御伺ヒシタイコトト、今漁村ノ爲ノ補助金額ト云フモノガ千三百萬圓ダ、増産ノ爲ニ約六百萬圓ダト云フ御話ヲ伺ヒマシタガ、餘リニ僅少デアルト存ズルノデアリマス、モウ少し是等ノ點ニ付テ十分ノ御努力ヲ願ハナケレバ、將來ノ沿岸漁業ト云フモノニ對シテ私ハ非常ニ憂慮ニ堪ヘナイト存ズルノデアリマス、費用ノ點ニ付テハ、今申上ゲテモ仕方ガアリマセヌカラ、止メテ置キマスガ、前ノ點ヲモウ一應御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○寺田政府委員 皇國漁村ノ確立ノ計畫等ニ付キマシテハ、引續キ十分檢討ヲ致シマス、ソレカラ漁民道場ノ施設等ニ付キマシテハ、今年ハ從來通りノ豫算ガ計上サレテ居ルノ止ツテ居ルト存ジテ居リマス、今後モ之ニ付キマシテモ十分考究ヲ重ネマシテ、皇國漁村ノ確立ノ爲ニ努力ヲ致シタイト存ジテ居リマス

○杉山委員 次ニ御伺ヒ致シタイノハ、生産増強ニ關シテノ問題デアリマス、生産増強ニ對シマシテハ石油、漁具、漁網等ノ資材ヲ初メトシテ、勞力不足或ハ船舶不足、斯ウ云フモノニ對シテ萬全ノ策ヲ立テナケレバナラスト思フノデアリマスガ、兎モ角現在ハソレ等ノモノガ不自由デアルト云フ實情デアリマスガ、斯カル狀態ノ下ニ於テヤハリ有效適切ナル増産對策ト云フモノヲ立テナケレバナラスト思フノデアリマスガ、

政府ハドウ云フヤウナ増産對策ヲ御持チニ
ナツテ居ルノデアルカ、昨日前川君トノ問
答ニ於テ淺海地帯ノ開墾ヲスルトカ、或ハ
磯燒ヲ防止スルトカ、魚巢ノ設置ヲスルト
カ、或ハ内水面ノ利用等々今日マデ政府
モヤラレテ居ルと思フゾデアリマスガ、ド
ウ云フモノヲ重點的ニヤレバ生産ガ増強ス
ル、斯ウ云フ御考ヘノ下ニヤラレテ居ルノ
カドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデア
リマス、昨日大體九億九千萬貫ヲ目標ニ生産
シテ居ルノダト云フ御話ガアリマシタガ、
出來レバ大變結構ダと思ヒマス、併シ九億
萬貫ト申スト昭和十一年頃ノ生産デアリマ
スガ、今日東京市場ニ入ツテ居リマス入荷
ノ狀況カラ考ヘテ見マシテモ、昭和十二年
ヲ百ト致シマスルト昭和十五年ハ七一%ニ
減ジテ居ル、十六年ハ更ニソレヨリ減ジテ居
ル、斯ウ云フ狀態デ、入荷狀況カラ見マス
ルト、生産ノ非常ニ減退シテ居ル模様ガ親
ハレノデアリマス、十八年度ヲ九億萬貫
ト目標ハ大變有難イノデアリマスガ、之ヲ
確實ニ獲ルト云フノニハ、ソレニ對スル確
實ナ増産方法ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌ
ト思フゾデアリマス、ソコデ内水面ノ利用
ノ問題モ昨日御話ガ出マシタガ、併シ内水
面ノ利用ニ付テハ餌料ガ要ルカラ、一寸思
フヤウニ行カナイト云フ御話ガゴザイマシ
タガ、例ヘバ御承知ノ草魚ノヤウニ、禾本
科ノ草デ飼ヘルヤウナ魚類ヲモツト澤山養
殖ヲシテ、増殖ヲシテ行クト云フヤウナ方
法ナドモオヤリニナツテ居ルと思ヒマス
レドモ、モツト徹底的ニヤツテ行クト云フ
コトヲオヤリニナルカドウカ、其ノ點ヲ御
伺ヒ致シタイと思ヒマス

シテハ、大東亞戰爭勃發以來特ニ意ヲ用ヒ
テ參ツタ次第デアリマス、其ノ方法ト致シ
マシテハ、各漁業組合地域ヲ單位トシマシ
テ、其ノ區域内ニ於テドウスレバ最も有效
ニ増産ガ圖リ得ルカト云フ、組合ヲ本位ト
スル増産計畫ヲ立テ、ソレヲ府縣及ビ全
國ニ取纏メマシテ、其ノ重要度ヲ檢討シマ
シテ其ノ實施ヲ圖ツテ行ク、ソレカラ更ニ
漁業用資材ノ配給ニ付キマシテハ、重點的
ナ配給ヲ圖ツテ行ク、即チ成ベク生産能率
ノ良イモノカラ重點的ニ資材ノ配給ヲシテ
行クト云フヤウナ方法モ考ヘテ居ツタノデ
アリマス、ソレカラ從來ノ經營方法ノ面ニ
於キマシテモ、成ベク資材ノ能率ノ利用
ヲ圖リ得ルヤウニ指導ヲシテ參ツテ居ツタ
ノデアリマス、是モ當初ノ頃ヲ申上ゲマス
ト、漁業者ノ全體ノ生計ヲ維持スルト云フ
コトカラ、急激ニ切換ヘンクイ點モアリマ
シタノデ、當初ニ於キマシテハ、ソレガ全
面的ニ直チニ重點的ナ經營、或ハ配給ト云
フ方面ニ向ヒ得ナカツタノデアリマスガ、
今日ニ於キマシテハ漸次漁業者ノ方面ノ認
識モ加ハリマスシ、重點的ナ漁業ノ經營ト
云フ方面ニ漸次向ツテ來テ居ル次第デアリ
マス、今後トモ其ノ漁業ノ種類、或ハ漁場ノ
開發等ニ付キマシテモ、重點的ニ之ヲ考ヘテ
行クヤウニ致シタイト存ジテ居ル次第デアリ
マス、尙ホ御話ノアリマシタ増殖或ハ養殖方
面ノ仕事ニ致シマシテモ、是モ今後トモ十分
其ノ増加ヲ圖ツテ行クヤウニ致シタイト、昨
日モ申上ゲタ通り考ヘテ居ル次第デアリマス
ソレカラ尙ホソレニ關聯シマシテ、大
都市方面ノ入荷ノ狀況モ御話ガゴザイマ
シタガ、今年ノ一月中ノ実績ヲ見デミマ
スト、昨年ノ同ジ時期即チ昨年ノ一月ノ

狀況ニ比ベマスレバ、今年ハ改善ヲサレ
テ居リマス、昨年ヨリモ多クナツテ居リ
マス、是ハ大都市ダケガ多クナツタカト申
シマス、外ノ事例カラ推測致シマス、
今年ノ一月ノ実績ハ昨年ヨリモ全般的ニ良ク
ナツテ居ルカト云フヤウニ考ヘラレルノデア
リマス、附加ヘテ申上ゲテ置キマス
○杉山委員 内水面ノ利用ノ一ツトシテ、
先程御尋ネシタ草魚ノ養殖ノヤウナモノヲ
ドウスルカト云フ點ヲ御伺ヒシタイコトト、
ソレカラ生産増強ノ爲ニ資材ノ不足ノ中ニ、
血ノ滲ムヤウナ努力ヲシテ漁業ニ從事シテ
居リマス漁夫、遠ク海水面ニ出テ居リマス
關係デ、敵潜水艦ノ爲ニ色々犠牲ニナツテ
居ル人々ガ多少アルヤウニ聞キ及ンデ居ル
ノデアリマス、海軍省カラ委託ヲ受ケテ監
視船ニナツテ居リマスモノハ、是ハ軍屬ト
シテ取扱ハレマシテ、犠牲ガアリマシテモ、
ソレ相當ノ待遇ト給與ヲ受ケテ居ルヤウデ
アリマス、所ガサウ云フコトデナク、普通
ノ漁業ヲヤルダケデ、非常ナ危険ヲ冒シテ
食糧確保ノ爲ニ努力シテ居ル漁夫ガ犠牲ニ
ナリマシテモ、何モ給與ヲ受ケルコトガ出
來ナイ、唯郷黨ノ共助ニ依ツテ漸クヤツテ
居ルト云フヤウナ話モ伺ツテ居ルノデアリ
マスガ、斯ウシタ氣ノ毒ナ漁夫ニ對シマシ
テ、農林省ハ何カ對策ヲ御執リニナル考ヘ
ハナイノデアリマス、此ノ點ヲ御伺ヒシ
タイト思ヒマス

○寺島政府委員 御尋ネノ草魚ノ増殖ニ付
キマシテハ、是モ今鋭意其ノ増加ヲ圖リツ
ツアルノデアリマス、唯此ノ草魚ハ御承知
ト存ジマスガ、外ノ鮭鱒類ナドノヤウニ内
地ヘ移植致シマシテ、内地デ採卵、孵化ス
ルト云フ譯ニ現在ノ所ハマダ參ツテ居リマ
セス、此ノ内地デ採卵、孵化シテ大量増殖
ヲスルト云フコトニ付キマシテモ、鋭意試
驗機關ヲ動員致シマシテ、研究ヲサセテ居リ
マス、尙ホ種苗ノ大量移植ト云フコトニ付
キマシテモ、是モ斯ウ云フ際デアリマス、ド
モ、極力ヤツテ居リマシテ、今年モ昨年ニ劣
ラナイ移植ヲヤツテ居ル次第デアリマス
ソレカラ漁船乗組員或ハ漁業従業員ノ
戰時下ニ於ケル尊イ犠牲ニ付キマシテハ、
是ハ色々ノ關係モアリマス、之ヲ公然
盛大ニドウスルト云フ譯ニ行カナイノヲ遺
憾ト致シマスガ、分リ次第色々ト手ヲ盡シ
テ、今マデモヤツテ參ツテ居リマス、其ノ
一ツノ現ハレト致シマシテハ、船員ノサウ
云フ犠牲ト同ジヤウニ、漁船ノ場合ニ於キ
マシテモ、之ヲ考ヘテ行ク、危険ナ水面ニ
出テ行クニ付テハ同ジヤウニ考ヘテ行クト
云フコトモ、前々發表ガアリマシタヤウニ
ヤツテ居リマス、尙ホサウ云フ犠牲ニ對ス
ル手當ニ付キマシテハ、今後トモ色々ナ場
合モ出テ來ヤウト思ヒマス、十分注意ヲ
致シテ參リタイト思ツテ居リマス
○吉植委員 今ノ草魚ニ關聯シテ一寸質問
シタイノデアリマスガ……
○東郷委員長 簡單ナラ宜シウゴザイマス
○吉植委員 草魚ヲ昨年通り持ツテ來ル、
斯ウ云フ話デアリマシタ、一體ソレハドウ
位ノ數量デ、面積ニシマス、一體ソレハドウ
飼フニ足リル草魚デアリマス、分リマシ
タラ之ヲ一ツ、モウ一ツ、今日海洋漁業ハ
勿論、沿海漁業ニシマシテモ、特ニ是ハ本
年ノ二月初旬デアリマス、相當漁船ノ微
發ヲ見テ居リマス、現況ニ照ラシテ、益、此ノ
漁獲ノ増加ト云フコトヲ阻マレルコトガ心
配ニナツテ來マス、然ルニ日本到ル處ノ河

川湖沼ガ空イテ居リマス、私ハ印旛沼ノ附近ニ居リマスガ、印旛沼ノ附近ニモ小サナ沼澤ガ無數ニアリマスガ、此ノ無數ニアリマス沼澤ガ、一、二養魚ニ使用サレテ居リマスガ、其ノ比例カラ中シマス、サウ云フヤウナ勿論一分ニモ達シマセス、サウ云フヤウナ狀況デ池沼ガ空イテ居リマス、恐ラク全國到ル處左様ナ狀況デアラウト思ヒマスガ、今申上ゲマシタヤウナ實情ニ照シマシテ、是ハ何カ臨機應變的ニ、拙速主義ニ斯様ナ所ニ養殖ヲシテ行ク、ソレニ付テハ餌料ガ足りナイ、足りナイ所ノ餌料ヲ農林省ガ何カ補給スル途ヲ講ジテ戴クト云フ以外ニ途ハナイト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナ點ニ對スル農林省ノ御熱心ノ程度ヘドノ位カ、具體的ニ一ツ御伺ヒシタイ

○寺田政府委員 草魚ノ移殖ニ付キマシテハ、前年度約二千四百万尾ノ移殖計畫ヲ立テテ居リマス、今年度即チ現在進行中ノ年度ニ於キマシテモ、同數ノ草魚ノ移殖ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、唯其ノ移殖ニ要スル面積ニ付キマシテハ、是ハ現在草魚ノ移殖面積ヲドノ程度ト云フコトガ計算シニクイノデ、其ノ面積ハ的確ナルコトハ申上ゲニクイト存ジマス、ソレカラ御話ノゴザイマシタ河川湖沼等ノ養魚ノ爲ノ利用ニ付キマシテハ、差當リ先ヅ主要ナ河川湖沼ニ於ケル魚苗ノ放流ヲ致シマシテ、各河川水面ニ於テ出來ルダケ増産スルヤウニト云フコトヲ主眼ト致シマシテ、鯉、鰯ノ種苗放流、或ハ公魚等ノ種苗放流ト云フヤウナコトヲ計畫シテヤツテ居ル次第デアリマス、是モ鯉類ノ種苗放流數ハ一億一千万尾位ニ計畫ヲ立テテ居リマス、ソレカラ公魚、鰯類ノ孵化放流モ大體三千二百億尾位ニ計畫

トシテハナルノデアリマス、尙ホ此ノ増殖關係ノ施設ヲヤツテ居リマス今日マデノ經過ヲ申上ゲマス、此ノ獎勵ニ使ツテ居リマスル豫算モ年々殖エテ居リマシテ、斯ウ云フ時局下デアルニ拘ラズ、此ノ方面ハ特ニ殖エテ居リマシテ、昭和十六年度ニ於テ合計致シマシテ百万圓程度ノ豫算ヲ使ツテ居ツタノデアリマスガ、之ニ對シマシテ一割程度デアリマスケレドモ、來年度ハ百二十万圓ヲ超ス程度ニ施設ヲシテ参リタイト云フ計畫ニナツテ居リマス

○吉植委員 今ノ御話ハ大體放流ト云フ方面デアリマスガ、放流デナクシテ、放流致シマシテモ放流致シタ稚魚ガ入ルコトノナイ沼澤ガ澤山アルノデアリマス、是ハ一々ソコニハ放流ニハナツテ居リマセス、是ハ養殖ニ適シタル池沼デゴザイマス、ソレガ空イテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ方面ノ利用ニ付テハ具體的ニドノ位ノコトヲヤツテ居リマス、之ヲ承リタイ

○寺田政府委員 斯ウ云フ鯉、鰯等ノ淡水魚族ノ繁殖適地ト致シマシテハ、昭和十六年ニ於キマシテハ、大體面積カラ致シマスト三十一万町歩、十七年度ニ於キマシテ三十五万町歩、ソレカラ今後トモサウ云フ割合デ此ノ増殖適地ノ開發ヲ殖ヤシテ参リタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○恒松委員 一寸關聯シテ——先程杉山委員カラ皇國漁村ノ確立促進ノ問題ニ付キマシテ御尋ネガアツテ、サウシテソレニ對シテ政府委員カラ御答ヘガアツタノデアリマスガ、其ノ御答ヘト、過日豫算總會ニ於テ委員ノ方ノ質問ニ對スル大臣ノ答辯トガ少し違ツテ居ルヤウデアリマス、ソレヲ符節ヲ合セテ置イデ貰ハナイト困ルノデ私ハ申

上ゲルノデアリマス、只今杉山委員カラノ御尋ネニ對スル政府委員ノ御答辯ノ中ニ、皇國漁村ノ確立促進ニ付テハ至極結構デアルカラ、今後大イニ考慮スル、要約スレバサウ云フヤウナ御答辯ガアツタ、所ガ過日豫算總會ニ於ケル大臣ノ御答辯、所謂皇國漁村確立ノ問題ニ付テハ大臣ノ御答辯ハ、皇國漁村ト云フモノモヤハリ皇國農村ノ中ニ含マシテアル、ダカラ無論來年度實行スル三百ノ皇國農村ノ指定町村ノ中ニハヤハリ漁村モアルノダ、ダカラ皇國農村ト云フコトヲ一口ニ言ツテ居ルガ、其ノ農村ノ中ニハ農山漁村ヲ含マシテ居ルノダ、斯ウ云フコトヲ仰シヤツタ、サウスルト、今日ノ局長ノ御答辯ダト、是ハ今後ニ於テ考慮スル、斯ウ言ハレル、サウシテ大臣ノ答辯ヲ聽クト、モウ來年度カラ實行スルノダ、斯ウ言ツテ居ル、是ハ何レガ本當デアルカ、無論私ナドハ大臣ノ説明ニ重キヲ置カケレバナラヌト思ヒマスガ、サウスルト、只今ノ皇國漁村ノ確立促進ニ付テノ政府委員ノ答辯ト云フモノハ、是ハ考慮スルト云フノデアリマスカラ、來年度ニ於テ行フノデハナイ、今後ニ於テ考ヘルト云フノデスカラ、ダカラ茲ニドチラカラ改メラレナイト委員會トシテモ困ルノデハナカイ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマ

○寺田政府委員 皇國漁村ノ確立ノ問題ニ付キマシテ、私ノ御答ヘ申上ゲマシタコトハ、皇國漁村ノ確立ニ關スル計畫ノ具體的ナ確立ト云フコトデゴザイマシテ、ソレデ皇國漁村ノ具體的ナ確立ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、之ヲ一律ニ考ヘテ行クノガ其ノ計畫ノ確立上非常ニ難カ

シイ點ガアルト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、供シ難カシイカラト云ツテ放ツテ置イデハイケナイノデ、サウ云フ具體的ナ計畫ニ付キマシテモ、漸次檢討ヲ進メマシテ、檢討ノ付イタモノカラ更ニ擴充シテ仕事ヲシテ行クト云フ意味デ申上ゲテ居ツタノデアリマス、尙ホ今年ノ皇國農村ノ確立ノ豫算ノ中ニモ、御話ノヤウニ漁民ノ鍊成其ノ他ニ付テハ豫算ガ一部分出テ居ル次第デゴザイマス、併シ今後トモ之ノ擴充強化ト云フ意味ニ於キマシテ、私ガ先程ノ御答ヘヲ申上ゲタ次第デゴザイマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○恒松委員 サウスルト詰リアナタノ御答辯ハ、所謂今後ニ於テ十分考慮シテ之ヲ實行シテ行クト言ツタノハ、來年度ノヤハリ三百箇町村ノ中ニ、皇國漁村ト云フモノノ確立ヲヤハリ大臣ノ御答辯ト同様ニ含マシテ居ルノダ、其ノ具體的ナ方法ヲ考究シテ居ルノダ、斯ウ云フヤウニ取ツテ宜イノデセウカ

○寺田政府委員 サウ云フ次第デゴザイマス、尙ホ皇國漁村ノ確立ト云フコトハ適當ニ行クカドウカ、ヤハリ今後ノ問題トシテ殘ルカト思ヒマス

○杉山委員 一寸後ヘ戻リマスガ、今ノ皇國漁村ノ確立ヲオヤリニナル、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマスガ、指定三百箇町村ノ中ニ漁村ニ關スル部分ヲ何箇村程御計畫ノ中ニ盛ツテ居リマスガ、局長自身ガソレヲ持ツテ居ラスト云フコトデアツテハ、甚ダ心許ナイト思フノデゴザイマスガ、若シ今ノ恒松委員ニ對スル御答辯ノ通りデアリマスナラバ、局長ニ於テヤハリ計畫ヲ持ツテ居ラナケレバナラヌト存ズルノデゴザイ

マス、此ノ三百箇村ノ中ニ漁村ト云フモノ
ヲ何箇村程入レル御計畫ニナツテ居ルノカ、
ソレヲ私伺ヒタイト思ヒマス

○寺田政府委員 私是ハ或ハ申上ダヤウガ
悪カツトゾ、色々ト其ノ間誤解ヲ生ズル
ヤウナコトヲ申上ダタカモ知レマセヌガ、
皇國漁村ノ確立ト云フコトニ付キマシテハ、
是ハ具體的ナ計畫ヲ持チマシテ、同時ニ
其ノ指導精神ヲハツキリ致シマシテ、時局
下ニ於ケル皇國ノ漁村民トシテ心掛ケナケ
レバナラス方向モハツキリ致シ、同時ニ又
此ノ際施設ヲスル方向、竝ニ具體的ニ増産
其ノ他ノ方面ニ努力ヲスベキ事業等モ明示
シテ參ラナケレバナラスモノト思ツテ居
ル次第デアリマス、併シソレ等ノ點ニ付キ
マシテハ、從來色々ノ面カラ施設ヲシテ參
ツテ居ル點モアルノデアリマス、併シ之ヲ
皇國漁村ノ確立ト云フ明瞭ナ一ツノ方針ノ
下ニ指導ヲシテ參リマスコトニ付テハ、マ
ダ檢討ヲ要スル部面ガアル、ソレハ具體的
ニ漁村ノ種類ナリ、或ハ漁業ノ種類ナリト
云フモノニ依ツテ考ヘテ行カナケレバナラ
ス部面ガ多イ、隨テソレ等ノ點ニ付キマシ
テハ、目下私ト致シマシテモ鋭意研究ヲ致
シテ居リマス、其ノ具體的ナ計畫ハ成ベク
早く確立ヲシテ參リタイ、併シ一方サウ云
フ皇國漁村ノ具體的ナ計畫ガハツキリ立チ
マセヌデモ、急グモノカラ逐次實施シテ參
ラナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘテ居ル
ノデゴザイマス、隨ヒマシテ豫算ナリ或ハ
施設ナリノ關係デ、他ノ項目或ハ他ノ施設
ト協同ヲシテヤリ得ルモノニ付テハ協同ヲ
シテ、同時ニ出來ルダケ早くシテ參リタイ、
是ハ或ハ記憶違ヒカモ知レマセヌケレドモ、
皇國農村ノ施設ノ中ニモ、漁村關係ノ施設ガ

アツカト思ツテ居ル次第デアリマス、ド
レデアツタカラ今直チニ申上ダル程ハツキ
リ記憶致シテ居リマセヌケレドモ、サウ云
フ次第デゴザイマス

○杉山委員 其ノ問題ハ是位ニシマシテ、
養殖面積ヲ擴張ナサレ、十六年ガ三十一万
町步デアリ、十七年ハ三十五万町步ニ擴大
シタ、尙ホ今後擴大シテ行ク、斯ウ云フ御
話デアリマシテ、大變結構ダト思フノデゴ
ザイマスガ、面積ハ擴大スルガ其ノ餌ヲド
ウ云フ風ニスルカ、御承知ノヤウニ玄米ニ
段々ナツテ參リマシテ、糠ガ不足シテ參リ
マス、又蛹モ段々食用化サレ、或ハ藥品化
サレマシテ非常ニ減少シテ參リマシタノデ、
養殖面積ノ擴大ト比例シテ、餌料ノ補給ト
云フモノヲシテ行カナケレバナラスト思フ
ノデアリマスガ、其ノ調節ニ付テ政府ノ御
用意ハアルノデアリマセウカ

○寺田政府委員 増殖方面ニ於キマシテハ、
先般モ申上ダマシタヤウニ、天然放養ト申
シマスガ、自然ノ餌料ヲ利用シテ行クモノ
ト、ソレカラ人工ノ餌料供給デ行クモノト
二通りアル次第デゴザイマス、ソレデ天然
放養ノ方ハ放流其ノ他ニ依ツテ之ヲ補ツテ
參リマス、ソレカラ人工増殖ヲ圖ツテ參
リマス方ハ、是ハ勿論餌料ヲ必要トスルノ
デゴザイマス、先程申上ダマシタ増殖面積
ト申シマスノハ、増殖適地ヲソレダケ殖ヤ
シテ行カウト云フ計畫デゴザイマス、隨テ其
ノ養殖方法ニ付キマシテハ、餌料ヲ與ヘル
モノモアリ、或ハ天然放養デ行クモノモア
ルト云フ建前ヲ採ツテ居ル譯デアリマス、
餌料ノ點ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノヤ
ウニ、中々計畫的ニ増加ヲ圖ルコトガ困難
ナ實情デゴザイマスガ、併シマダ未利用ノ

モノモ色々アリハセヌカ、鯉、鰯其ノ他魚類
ノ餌料ニ適スルモノデ、今マデ使ハレテ居
ラナカツタモノモ相當アリハシナイカ、是
ハ先般一ツノ例トシテ研究ヲ致シテ見タノ
デアリマスシ、又サウ云フ方面ノ話ヲシテ、
餘リ考ヘ方ガ突飛ナノデ笑ハレタコトモア
ルノデアリマスガ、夏都會地ニ於ケル蠅ヲ
採ツテ、之ヲ糞メテ養魚ノ餌料ニデモシテ、
ヤラウカト云フヤウナコトヲ眞面目ニナツ
テ考ヘタコトモゴザイマス、サウ云フヤウ
ニマダ利用サレテ居ナイ餌料デ、養魚ノ餌
料ニナルモノモ今後トモアリハシナイカト
云フ見透シノ下ニ、色々ト研究致シテ居ル
次第デアリマス

○杉山委員 次ニ先刻御尋ネノ犧牲漁夫ノ
待遇ニ付テハ、一般船員ト同ジヤウニ取扱
ツテ下サル、斯ウ云フヤウニ了解シテ宜シ
ウゴザイマスカ

○寺田政府委員 危險ナ水域ニ出ル者ニ付
キマシテハ、船員ト同様ニ扱ハレルト云フ
方針ヲ決メラレテ居ル次第デアリマス

○杉山委員 次ニ資材關係ニ付テハ、二御
伺ヒシタイト思ヒマス、本年度ハ油ヲドノ
位漁業用ニ御渡シ下サル見込デアリマスカ、
其ノ見透シヲ御伺ヒシタイノデアリマス、
次ハ油ガ段々減少致シマスノデ、沿岸漁業
ノ如キハ手押デ行ク、櫓デヤレ、斯ウ云フ
話デ、段々櫓ヲ利用シテ居ルモノモ多クナ
ツテ參ツタト思フノデアリマス、所ガ漁村
ニ參リマシテ、ヨリ伺ヒマスルノニ、若
シ櫓ガ折レタ場合ニ今日デハソレヲ取替
ル材料ガナイ、一本ノ櫓スラモ買替ヘルコ
トガ出來ナイト云フ状態デ、非常ニ困ツテ
居ルト云フ話ヲ聞クノデアリマス、ソ
コデ政府ノ方ニ於キマシテ、櫓ノヤウナド

ウシテモナクテハナラナイ漁具ニ對シマ
シテ、山林局アタリト御話合ヒニナツテ、
十分ノ準備ガナサレテ居ルノカドウカト云
フ點ヲ御伺ヒ致シタイノト、モウ一ツハ是
ハ漁業ノ方ト直接關係デヤゴザイマセヌガ、
御承知ノ生産地カラ消費地ヘ魚ヲ入レテ送
ル、此ノ送り箱ノ問題ナノデアリマス、御
承知ノヤウニ最近デハ資源愛護ノ立場カ
ラ、空箱ノ回收ヲ致シテ居リマスガ、實際
ニ回收シテ參リマスモノハ、送ツタ數ノ三
分ノ二シカ戻ツテ來ナイノデアリマス、而
モ戻ツテ參ツタ其ノ五割ト云フモノハ、破
損ヲシテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマスル
カラ、戻ラナイノト破損シテ居ルモノヲ補
給シテ參リマスル爲ニハ相當ノ木材ガ必要
ナノデアリマスガ、其ノ木材ガ手渡ラナイ、
其ノ爲ニ折角消費地ヘ送りタイト思ウテモ
送レナイト云フヤウナ状態ガ、間々アルト
云フ話ヲ生産地方面カラ伺ツテ居ルノデア
リマスガ、送り箱ニ對シマスル木材ニ對シ
テノ準備ハ十分出來テ居ルノデアリマセウ
カ、ドウデアリマセウカ、此ノ點ヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○寺田政府委員 漁船用ノ燃料油ノ見透シ
ハ、只今ノ所非常ニ立テ難イ状態デゴザイ
マス、明年度ノ實際ノ見透シハドウナル
カ、今頻リニ相談シテ居ル所デゴザイマシ
テ、マダ見透シハ立ツテ居リマセヌ、是ハ
物動計畫ノ確立等々ト併行シテ行カナケレ
バナラスモノト思ウテ居リマス、又是ハ私
ノ感じデアリマスケレドモ、計畫ガ立チマ
シテモ、ソレデ生産計畫ヲ立テ行クコト
ガ非常ニ難カシイ場合モゴザイマス、變動
ガアリマス、是ハドウ云フ風ニ所要燃料ノ
計畫ヲ立テタナラバ宜イカ、ソコヲ折角又

檢討ヲ致シテ居ル所デゴザイマス

ソレカラ漁船用ノ櫓デアリマスガ、是ハ獨リ櫓ニ限ラズ、小漁船ノ修理用ノ資材ト云フモノハ、是亦御述ベノ通り非常ニ窮迫シテ參ツテ居リマス、併シナガラソレデハ困リマスソデ、漁業組合ノ修理設備、是等ヲ造船所關係ト同様ニ扱ツテ貰フヤウニ話モ進メテ居リマス、ソレカラ又同時ニ之ニ要スル資材モ、造船用資材ト同様ニ考ヘテ貰フヤウニ今話ヲ進メテ居リマス、特ニ漁船ノ修理用資材ノ中デモ櫓ニ使フ木材ハ特定ノモノデアリマスソデ、蒐集ニ骨ガ折レマスケレドモ、是モ生産増強上遺憾ノナイヤウニシテ參リタイト心掛ケテ居ル次第デアリマス、ソレカラ出荷用ノ魚箱ニ付キマシテハ、漸次通ヒ箱ト云フカ、何度モ使ヘルヤウニ之ヲ改善シテ參リタイト云フ意圖ノ下ニ、通ヒ箱ノ製作ニモ今漸次向ヒツツアリマス、ソレカラ他ノ物ニ比ベマシテ、魚箱ガドウシテモナクテハナラナイコトハ、他ノ物ト同様デアリマセウケレドモ、特ニ鮮魚ノ輸送ト云フコトカラ、其ノ資材ニ付テモ出來ルダケ特別ノ考慮ヲ拂ツテ貰フヤウニ致シテ居リマス

○杉山委員 時間ガ大分經ツテ參リマシタカラ、出來ルダケ簡單ニ御尋ネ致シマス、次ハ價格ニ付デアリマスガ、先般來委員諸君ノ質疑ニ依ツテ、高級魚ハ引下ダ、大衆魚ハ少シ位値上シテモ宜イデハナイカ、斯ウ云フ話モゴザイマシタガ、私ハ同一魚デモ季節ニ依ツテ變更スベキデナイカ、例ヘバ秋刀魚ノ如キモ其ノ一例ダト思フノデアリマス

ソレカラ未設定ノモノニ對シテハ、一日モ早ク公定價格ヲ設定スベキデアルト思ヒ

マス、例ヘバ「オコゼ」ノヤウナモノガ其ノ例外ニナツテ居ルト云フ譯デ、非常ナ高イ値段デ賣ラレテ行クト云フヤウナ状態ナノデアリマス、又貝類ノ如キハ貝ノ儘デハ公定價格ハアルケレドモ、剥身ニナルト公定價格ハナイ、海老ハ頭ガ付イテ居レバ公定價格ハアルケレドモ、頭ヲ取ツタモノハ公定價格ハナイ、斯ウ云フコトニナリマス、ト

公定價格ノナイモノノ方ヘ段々商人ガ拔ケ道ヲ考ヘテ、サウシテ高ク賣ツテ行ク、斯ウ云フ状態デアルト思フノデアリマス、サウシタ點モアリマスルノデ、未設定ノ部分ニ對シテハ一日モ早ク公定價格ヲ決メテ載キタイト思ヒマスガ、ソレニ付テノ御意見ハドウデアアルカト云フコトガ一ツ、ソレカラ公定價格及ビ水産物統制ニ、冷凍物ヲ除外シテ居ルコトニナツテ居リマス、ドウシテ此ノ冷凍物ヲ除外シテ居ルノカ、其ノ爲ニ例ヘバ鰻ノ生ノ儘公定價格デ賣ルヨリモ冷凍ニシテ賣ツタ方ガ高イト云フヤウナ譯デ、隨分冷凍ニシテ出テ居ルコトモアリマスシ、又料理屋ナドガ生産地デ買ツテ、ソレヲ冷凍ニシテ自由ニ持込ムト云フヤウナ弊害ナドモアリマスルノデ、冷凍物ニ對スル取扱ヲ早ク決定シナケレバナラスト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付テノ御意見ハドウデアアルカ、ソレカラ又價格問題ニ付テ、外地ト内地トノ價格ガ色々相違シテ居ルト思フノデアリマスガ、是ハ今日ハモウ内地外地モナイヤウナ状態ニナツテ參リマシタノデ、是等ノ點ニ付テ一日モ早ク調整ヲシナケレバナラスト思ツテ居リマスガ、ソレニ對シテノ御意見ハドウデアアルカ、價格ニ付テ三ツノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○寺田政府委員 水産物、特ニ生鮮魚介類ノ價格ト云フコトニナリマス、是ハ御承知ノ通り非常ニ難カシイ問題デアリマス、併シ今日ノ情勢ニ於キマシテハ、此ノ食料品ノ重要ナル一部門ヲ占メル魚介類、特ニ又其ノ生鮮魚介類ニ付キマシテモ、價格ヲ公定シテ行カナケレバナラスト云フ情勢ニナツテ來テ居ルノデアリマス、ソレデ其ノ各種ノ魚介類等ニ付キマシテモ一應價格ノ公定ヲサレテ、ソレガ現在行ハレテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ生産事情ノ變遷、或ハ漁獲ノ數量ノ變遷、其ノ他色々其ノ時或ハ其ノ年ノ情勢ノ變化モ考ヘテ行カナケレバ實情ニ合ハヌヤウナ點モ、或ハアルカト存ジテ居リマス、サウ云フ事情ノ變遷ニ付テハ、私共ニ於キマシテモ注意ヲ拂ツテ居ル次第デアリマスガ、公定セラレマシタ價格ノ改訂ト云フヤウナコトニナリマス、必ズシモ簡單ニ參ラナイ場合ガアルノデアリマス、ト申シマスノハ成ベク此ノ價格ヲ實情ニ即應シテ下ゲスルト云フヤウナコトガ、是ハ水産物ニ於テハ特ニ必要デアルニ拘ラズ、現在ノ價格公定ト云フ制度ガ必ズシモサウ云フヤウニ參ラナイト云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、ソレ等ノ調整ニ付テモ、是ハ根本問題トシテ別途檢討サレテ居ル次第デアリマス、併シ現在トシマシテハサウ云フ生産事情ノ變化、其ノ他モ十分能ク注意致シマシテ、必要ナモノニ付テハ既ニ改訂セラレタモノモアルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ御尋ネノ具體的ナ項目ト致シマシテ、公定價格ノナイ品物ニ付テノ取扱、是モ非常ニ色々頭ヲ悩マシテ居ル次第デアリマシテ、此ノ委員會ニ於テモ御話ノ出マシタ鰻ガ非常ニ獲レ過ギテ、昨年ハ鰻ガ氾濫シテ困ツタト云フノデ、

生産者ノ自戒ヲ俟チマシテ、生産者ノ自肅ニ依リマシテ、更ニソレバカリデハナク、

當業者關係ノ方ニ於カレマシテモ、特ニ自發的ニモサウ云フ風ニヤラレタ點モアラウカト思ヒマスガ、今年ハ鰻ガ出ナカツタガ、別方面カラ「イカナゴ」ガ非常ニ出テ來タ、斯ウ云フコトモ起ツテ參リマシタ、ソレ等ハ價格公定ト相俟チマシテ、生産指導ノ方モ十分努メテ行カナケレバナラスト云フノデ注意ヲ致シテ參ツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ貝類ノ剥身、或ハ無頭ノ海老、斯ウ云フモノモツレム、實情ヲ考ヘテ見マズルト、色々價格ノ決メ方モアツタラウト思フノデアリマスガ、又御尋ネノ冷凍ノ點ニ付キマシテモ、鰻ニ付テハ御述ベノヤウナコトモ私共聞イテ居リマス、是等ノ問題ハ一ツ十分吾々ノ方モ研究ヲ致シマシテ、其ノ取扱ニモ遺憾ノナイヤウニシテ參リタイト思ツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ内地ト外地トノ價格ノ問題ハ、是ハ水産物ニ於テ特ニ著シイ關係モゴザイマスケレドモ、水産物關係バカリデ調査モ出來ニキイ點モアリマスノデ、是亦能ク研究ヲ致シテ參リタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○濱地委員 議事進行ニ付テ 關聯質問ニ名ヲ藉ツテ三十分モ四十分モヤラレタラ、質問ヲ御願ヒシテ居ル順序ト云フモノハ素レテ行クト思フノデスガ、杉山サントモアラウ練達ノ方ガサウ……

○濱地委員 杉山サンハ關聯質問デハナイノデス、順番ノ質問デスカラ其ノ御積リデ……

○杉山委員 ソレデハ私ハ謝リマス、私ハ關聯質問デナイノデスカラ、ドウゾ……局長ハ研究々々ト云フ御話

パカリデアリマスガ、ドウゾ研究ニ日ヲ送
ラナイデ、一日モ早ク實現ヲシテ戴ケルヤ
ウニ御願ヒシテ置キマス、先ニ私が留守ノ
内ニ、馬岡サンカラ鹽干魚ニ付テノ色々ナ
御話ガアツタヤウニ思ヒマスカラ、私ハ多
ク申シマセヌガ、兎モ角モ鹽干魚ハ不漁ノ
場合トカ、或ハ不時ノ災害ノ場合ノ貯藏食
糧トシテ非常ニ必要ダト思フノデアリマス
ガ、現在ノヤウナ公定價格デハ、所謂鹽干
魚ヲ造ル者ハナイ、斯ウ云フ實情ヲ伺ツテ
居ルノデアリマスガ、鹽干魚ニ對スル價格
ノ改正ヲスル御意思ハナイカ、ソレカラ鹽
干魚ガ年中通シテ同一値段ダト致シマス、
貯藏スレバ貯藏スルダケ倉敷料ナドガ損ニ
ナリマスルノデ、貯藏スル者ガナイ、斯ウ
云フ現象ニナリマスノデ、貯藏致シマスル
者ニ對シテハ、政府ノ方デ倉敷料ナドノ補償
ヲシテヤル、斯ウ云フヤウナコトナドモ御
考ヘヲ持ツテ居ラレカドウカト云フ二點
ヲ御伺ヒ致シマス

○田中(啓)政府委員 生デ食ベマスルモノ
ト、之ヲ鹽干等其ノ他ノ貯藏性ノアルモノ、
或ハ輸送性ノアルモノニ加工シタ場合ノ價
格ノ均衡ニ付キマシテバ、一ツノ相當ナ根
本的ナル問題ト致シマシテ、或ハ是モ御叱
リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、目下研究中
デアリマス、研究中ト云フノモ、實ハ私が
申スノハ決シテ研究ニ名ヲ藉リテ居ルノデ
ハアリマセヌノデ、事實研究中ノモノヲサウ
申スノデアリマス、唯昨日モ御議論ガ出マ
シタヤウニ、地方々々ニ依リマシテ、一方
ノ方ノ鹽干ノ値段ヲ上ゲ過ギレバ、生鮮デ
ハ出サナクナツテシマフト云フヤウナ場合
モアルノデアリマス、ソレカラ又他方カラ
言フト、一寸モ鹽干ガ出來ナイデハナイカ、
斯ウ云フコトモアルノデアリマス、私モ實
ハ價格ヲ專門ニヤツテ居ル譯デハアリマセ
ヌガ、專門ノ係リノ所ヘ行クト、日本申ノ
各地ノ生産費調ベノヤウナコトヲヤツテ居
ルノデアリマシテ、實ニ其ノ調査ノ龐大ナ
ニ驚イテ居ルノデアリマスガ、ソレ位ニシ
テ價格ガ出來テ行クノデアリマス、ドウモ
一部分ノ話ヲ聽イテ直グヤルト云フコト
ハ——一體斯ウ云フ戰時ニ非常ニ鈍イデハ
ナイカト云フノデ、昨日モ大分御叱リヲ受
ケタノデアリマスガ、實ハサウハ行カナ
イノデアリマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

ソレカラ鹽干魚ノ貯藏ニ付テ、貯藏ヲシ
テ居レバソレダケ經費ガ掛ルガ、ドウ云フ風
ニ見テ居ルカト云フ御話デアリマスガ、政
府ハ計畫的ニ貯藏致シマシタモノニ付キマ
シテハ、此ノ金利、倉敷、目減リ、其ノ他ノ
負擔ヲ國ガスルヤウナ恰好デヤツテ居リマ
ス、唯鹽干魚ノ種類ハ數限リナクアルノデ
アリマシテ、サウ云フ特別ノ措置ヲシテ居
ナイモノニ付キマシテハ、マダ價格等モ季
節別ノ貯藏ニ依ツテ經費ノ嵩ムノヲ見タ
ヤウナ價格ハ出來テ居リマセヌ、又ソレヲ
ヤルニハ私相當困難デアラウト云フ風ニ思
ツテ居リマス、寧ろ國ナリ、地方ナリデ特
別ノ措置トシテ貯藏ニ備ヘタヤウナ場合ハ、
ヤハリ補償ノ方法デ行ク方ガ宜イデアラウ
ト云フ風ニ思ツテ居リマス、唯野菜ニ付キ
マシテハ、玉葱ノ如ク大體冬季ハ貯藏ノモノ
ヲ食フノダト云フ、一ツノ流レノ決マツタ
モノニ付キマシテハ、ソレニ應ジタ價格ニ
サレテ居ルノデアリマス

○杉山委員 今ノ食品局長ノ御話デハ、政
府ノ措置ノモノハヤツテ居ル、是ハ御尤モ
ト思ヒマスガ、一般ノモノニ對シテ何カノ
措置ヲ執ラナケレバ、先程申述ベマスヤウ
ニ、貯藏スル者ガナイ、其ノ爲ニ一般需要
者ガ非常ニ困リ、窮乏ヲ感ズルト云フコト
ニナラウト思ヒマスノデ、價格改訂ノ場合
ニハ十分考慮シテ、一日モ早ク御決定ヲ願
ヒタイト思フノデアリマス

尙ホ配給ノ問題ニ付テ色々御尋ネ致シタ
イコトモアリマスガ、是ハ又他ニ機會ガアレ
バ其ノ時ニ讓リタイト思ヒマスガ、唯一點、
ヤハリ計畫生産ト計畫配給ト云フモノガナケ
レバ、本當ニ末端マデ合理的ナ配給ハ出來ナ
イト、斯様ニ感ズルノデアリマス、今日出荷統
制組合ト云フモノガアリマスケレドモ、是ハ
政府ガ御設定ノ場合ニハ、非常ニ好イ企圖ヲ
以テ、其ノ生産シタモノヲ全部一元的ニ出
荷サセ、サウシテ配給スル、斯ウ云フ御計
畫デ好カツタノデアリマスガ、現在ノ實情
ヲ見マスルト、出荷統制組合ノ方々ハ寧ろ
營利業者ノ方々ガ入ツテ居テ、ヤハリ營利
的ニ行フ、斯ウ云フ關係デ自分ノ利益、都
合ノ好イヤウニ送ツテ行ク、斯ウ云フ傾向
ハ多分ニアルヤウデアリマス、又出荷統制
組合等ヲ見マスルノニ、實績主義デ行キマ
シタ關係デ、漁業組合等トノ摩擦ガ起ツテ
居ルヤウナコトモアツタコトヲ見受ケテ
居ルノデアリマス、此ノ際ニ私ハ生産或ハ
配給等モ一元シテ——アツタコトヲサウ
云フ希望ノ聲ガ起ツテ居ルノデアリマスガ、
水産食糧營團ト云フヤウナモノヲ作ツテ一
元的ニ配給ヲスル、斯様ナ御計畫ナドガ政
府ノ方デオアリニナルノカドウカ、新聞ナ
ドデ一寸見タコトガアルノデスガ、政府ノ
御方針ヲ此ノ際ニ伺ヒタイト思フノデアリ
マス

○田中(啓)政府委員 今日產地ニ於キマス
出荷ノ統制ニ付キマシテモ、又消費地ニ於
キマス荷受配給機構ニ於キマシテモ、相當
顯著ナル缺陷ノアルコトハ私共認メテ居リ
マス、デアリマスカラ之ヲ如何ニ整備スル
カト云フコトハ、一ツノ重大ナ問題デアリ
マシテ、其ノ整備ノ方法トシマシテ、業者
ノ一部ニ於キマシテハ營團等ノ意見ヲ持ツ
テ居ル者モアルヤウデアリマスガ、併シ魚
ニ致シマシテモ、又野菜ニ致シマシテモ、
非常ニ腐リ易イ性質ノモノデアリマシテ、
此ノ扱フ品物ノ特殊ナ性質ト云フモノヲ能
ク徹底シテ考ヘテ參リマセヌト、中々配給
機構ノ整備ト云フコトハ、却テ整備ヲシタ
ガ爲ニ、ヤリ様ニ依リマシテハ物ガ動カナ
クナルト云フヤウナ虞モアルノデアリマシ
テ、此ノ問題ニ付キマシテハ早急ニ案ヲ立
テルト云フコトハ困難ト思ツテ居リマス、
目下是ハ慎重ニ研究中デアリマス

○杉山委員 私ハモウ是デ終ツテ置キマス
○池田(正)委員 議事進行ニ付テ——委員
長ハ此ノ間カラ大分御急ギノヤウデ、關聯
質問ナドモ大變整理サレテ居ルヤウデアリ
マスガ、固ヨリ速記録ニ殘ス爲ニト云フヤ
ウナ不心得者ハナイト思ヒマスカラ、此ノ
點ハ御安心ナツテモ宜イト思ヒマスガ、差支
ヘナイ限りハ御許シヲ願ヒタイ、ソレカラ
モウ一ツハ農業團體ノ此ノ案ヲ何時頃マデ
一體オヤリニナツテ、オ上ゲナサル積リカト
云フコトヲ委員長ニ御伺ヒシタイノデス、ト
云フコトハ是ハ市町村制ノ改正ニ關スル法律
案ト重大ナ關聯ヲ持ツテ居ルノデアリマス、
ソコデハ私個人ノ考ヘニアリマスケレドモ、
市町村制ノ改正法律案ガ若シモ重大ナル修
正ナリ、或ハ握リ潰シトカ云フヤウナコト

ニナツテ來ルト、是ハ農業團體ノ問題ニ關シテ十分考慮シナケレバナラス、是ト睨合ハセテ私ハ考ヘテ居ルノデス、ト云フコトハ農業團體ノ統合ニ關スル法律案ハ、之ヲ此ノ儘ニ市町村制ト睨合ハセズニ、是ダケヲ一本ニシテ考ヘルト、是ハ農業團體ノ一ツノ大キナ一種ノ「ギルド」的ナモノガ出來上ツテ、之ヲ掣肘シ得ル者ハ端のニ言ヘバ力ガナクナツテ來ル、私ハ要點ダケヲ簡單ニ言ヒマスケレドモ、例ヘバ從來私共ガ見テ居ルト、農林大臣ト云フモノハ、從來ノ農業團體ノ首腦者、ソレ等ニ依ツテ非常ニ掣肘ヲ受ケ、農林省ノ役人ソレ自體ガ又非常ナル掣肘ヲ受ケテ居ルト見ラレル節ガ多クアルノデアリマス、其處ヘ持ツテ來テ、今度ノヤウナ斯ウ云フ龐大ナ農業團體ノ統合ガ出來テ、是ガ縱ニ一本ニナツテ、サウシテ偉大ナ力ヲ持ツテ來ルト云フコトニナツテ來ルト、是ハ非常ナ政治力ヲ持ツテ來ル、現ニ各地方ニ於テハ、各縣ノ出來上ルデアラウ所ノ農業會ノ會長ノ地位ノ爭奪戰ニ憂身ヲ塞シテ居ル代議士モ現ニ吾々ハ見テ居ル、是ハ政治的ニ非常ニ大キナ問題デアリマス、サウシテ此ノ一ツノ團體ガ政治力ヲ持ツテ來ルト、代議士ノ大部分ハ地方ニ地盤ヲ持ツテ居リマス、此ノ代議士ノ大部分ガ之ニ掣肘ヲ受ケテ、何モ反抗出來ナイ、反抗ト言フトカシイノデスガ、之ニ對シテ正シイ議論モ何モ出來ナイ、從來ハ農林大臣及ビ農林省ノ役人ダケガ掣肘ヲ受ケテ居ツタ、ソレデ濟ンダトシテモ、是カラハ大部分ノ代議士、大キク言ヘバ帝國議會其ノモノガ、其ノ團體ノ力ニ依ツテ、力ノアル惡質ナ若シモ茲ニ「ボス」ガ出テ來タトスレバ、ソレニ依ツテ左右サレルヤウナ

コトガナイトモ限ラナイ、吾々ハ寧ロサウシタコトハナカラウト思ヒマスケレドモ、是マデノ農林省ト農業團體トノ關係ヲ具サニ考ヘ、今度出來タ團體法ノ内容ヲ見マス、サウ云フコトモ單ナル杞憂デハナイ、殊ニ又此處ニオイデノ方々ハ御承知ノ筈デアリマスガ、此ノ案ヲ作ツタ者ハ、思想的ニ世間カラ兎ヤ角——現ニ繋ガレテ居ル和田某ナル者ガ作ツタ、ソレガ今日形ノ上ニ於テハ相當變ツテ來テ居リマスケレドモ、サウシタ危險ガ多分ニアル、ソコデ農業團體ノ市町村制——所謂市町村長ノ地方長官ノ任命、或ハ許可ト云フ問題ト重大ナ關係ヲ持ツテ來ル、ソコデアノ問題ガ若シモ潰サレタリ何カスルヤウナコトガアレバ、個人トシテ明確ニシテ置キマスガ、此ノ團體法ニ對シテハ絕對反對デアリマス、サウ云フヤウナ意味ガ含マレテ居ルト思ヒマスノデ、之ヲドウ云フ風ニ御取扱ヒニナルノカ、向フト多少睨合ハセテ御考ヘ願ヘレバ大變結構ダト思フノデアリマス、此方ダケヲ一生懸命急イデ、質問マデモ掣肘サレテ行カレルト云フコトハドウカ、其ノ點ヲ委員長ナリ理事ナリノ方ニ於テ十分御檢討アラセラレテ、今後ノ委員會ノ運営ニ付テ御考慮アラシコトヲ切望スルモノデアリマス

○東郷委員長 御答ヘ致シマス、委員長ハ委員會諸君ノ質問ヲ拘束スルヤウナ方針ハ、今日マデ執ツテ居リマセヌ、必要デアレバ關聯事項ニ付テノ質問ヲ許シテ居リマス、ソレカラ此ノ委員會ガイツマデニ上ルカト云フ御話デスガ、ソレト同時ニ他ノ法案等トモ睨合ハセテ行ク必要ガアルトノ御話デスガ、其ノ通りデアリマス、吾々ガイツノ法案ヲ決メテ行ク場合ニハ、是ト關聯シタ法

案ガ同時ニ此ノ議會ニ出テ居ル場合ニハ、ソレ等ト睨合ハセマシテ適當ニ處理シテ行ク積リデゴザイマス、ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス、濱地君ノ御質問ガ短カケレバ今オヤリニナリマス

○濱地委員 短クシロト言ハレバ短クシテモ宜シイシ、ソコハ委員長ニ御任セシマス

○東郷委員長 ソレデハ午前ハ此ノ程度デ休憩致シマス、午後ハ本會議ヲ豫算ガ上程サレマセウカラ、豫算ノ審議ガ終ツテ直後ニ再開致シタイト思ヒマス

午後零時二十分休憩

午後二時四十九分開議

○東郷委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——濱地文平君

○濱地委員 水產局長ニ御聽キシタイノデスガ、前任ソ水產局長ガ昨年ノ委員會デ言明セラレタコトハ、本年ノ委員會ニ於テ現水產局長ハ何モ知ツテ居ラナイヤウデアリマスガ、現水產局長ハ又餘所ヘ榮轉セラレル場合ニ於テ、本委員會デ言明セラレタコトハ後任者ニ引繼ガレノデアリマスガ、又其ノ責任ハ繼續シテ行クモノデアルカ、勿論繼續セラレ、尊重セラレルモノデアルトノ意圖ノ下ニ私ハ質問スルノデアリマス、此ノ點水產局長ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○寺田政府委員 水產局長ノ職ニ在ル者ハ更迭致シマシテモ、ソレノ責任者カラノ引繼ギヲ受ケルノデアリマス、又私トシマシテモ若シ左様ナ場合ニ於キマシテハ、後任ノ方ニ引繼ギヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、唯其ノ意見ニ付キマシテハ、

是ハ假リニ同一人デアリマシテモ情勢ノ變化、或ハ假リニ其ノ意見ニ基イテ立案ナリ檢討ナリ致シタ結果、修正ノ必要ガアルモノモ出テ來ルカト思ヒマス、左様ナモノニ付テハソレノ最善ト思ハレル方向ニ行クコトハ、是ハ已ムヲ得ナイノデハナイイカト思ツテ居リマス

○濱地委員 全國數アル漁業組合ノ中ニ、其ノ村ノ傳統ト致シマシテ、祖先以來其處ノ住民ハ全部漁業組合ノ組合員ニナツテ居ルノデアリマスガ、然ルニ漁業法ノ解釋ヲ以テ、近頃所謂營利ヲ目的トシテ漁業ヲ營ンデ居ル組合員ダケガ、此ノ組合ニ對スル權利ト申シマスルカ、或ハ特典ト云フモノヲ固守致シマシテ、サウシテ同ジ祖先以來ノ組合員デアリマシテモ、漁業ヲ營ンデ居ナイ組合員ヲ疎外シヨウトスルヤウナ傾キガアツテ、其ノ村ノ圓滿ヲ害シテ居ルヤウナ所ヲチヨイノ見受ケルノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテ當局ハドウ云フ御意見ヲ御持チニナリ、又ドウ云フヤウナ御指導ヲシテ居ラレルノデアリマスガ、承リタイト思ヒマス

○寺田政府委員 從來ノ漁業組合ノ實例カラ、指導方針ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、從來ノ漁業組合ノ建前ハ、御承知ノ通り現行漁業法ノ第四十二條ノ第一項ニ依リマシテ、「一定ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合ヲ設クルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、現在ノ漁業組合ニ於キマシテハ、此ノ建前カラ參ルト云フト、漁業者ガ漁業組合ヲ設立スルト云フ原則ヲ掲ゲテ居ル次第デアリマス、ソコデ實情ヲ見テミマスルト、漁業者ノ大勢居リマス所ニ於キマシテハ、地理的

ルノデアリマスガ、今日ノヤウニ主要食糧ガ缺乏シテ居リマス時ニ於キマシテハ、日本ノ食習慣ヲ轉換セナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ米バカリデナク之ニ麥類ヲ混ゼル、或ハ米麥ニ加フルニ甘藷ヲ混ゼテ食ベル、或ハ粟ヲ混ゼル、更ニ此ノ前ノ豫算委員會ニ於テ蕎麥ヲ代用食ニスル必要ヲ述ベタコトガアルノデアリマスガ、サウ云フ風ニ他ノ代用食ヲ多ク出シテ行クコトガ必要デアルト同時ニ、一層魚介類ノ攝取ト云フコトヲ國民ノ食糧ノ中ニ多ク致シマスコトガ、今日ノ食糧事情ニ照シ、且ツ國民ノ保健、健兵健民ト云フ點カラ見マシテモ、是非トモ必要ナコトデアアラウト存ジマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ我が國ノ現下ノ情勢ニ於テ、ドレダケノ海產物ヲ取ルカ、兎ニ角水產物生産ニ對スル一ツノ計畫的ノ政策ガ立テラレナケレバナラヌノデアリマシテ、其ノ計畫生産政策確立ノ點カラ申シマシテ、一面ニ於テハ國家總動員法ニ基ク遠洋漁業ニ對スル所ノ帝國水產會社ト云フモノガ出來、サウシテ沿岸漁業ニ關シマシテハ本法案ニ依ツテ、新シイ漁業團體ガ生レ出ヤウトシテ居ルノデアリマシテ、統制機構ハソレデ大體整備ガ出來タト存ジマス、然ラバソレ等ノ整備サレタル機構ニ依ツテ、ドレダケノ水產魚介類ヲ最小限度ニ確保スベキデアルカ、其ノ數量ノ目標ト云フモノガ立タナケレバ、國家ノ食糧政策ニ對應スルダケノ水產政策ト云フモノガ立テラレナイト思ヒマス、是ハ農產物ト違ヒマシタ色々ノ事情ガアリマスノデ、的確ノ數字ヲ立テルコトハ困難デアアラウト思ヒマスガ、私ハ是ハドウシテモ必要デアルト思フ、一部ノ人

ノ計算ニ依リマス、此ノ最低所要ノ魚介類ノ魚獲數量ト、海藻採集量ヲ合ハセマシタモノデアリマスガ、五百八十六萬「トシ」ト押ヘテ居ル者モアリマス、是等ノ點ニ付テ御當局ハドウ御覽ニナツテ居ルカ、サウシテ其ノ立テラレタ數字アリトスレバ、ソレニ對シテドウ云フ風ナ割當デ、其ノ魚獲物ノ最低限度ヲ確保サレヨウトシテ居ルモデアルカ、御承リヲ致シタイト思フノデアリマス

○寺田政府委員 水產物ノ最低所要量ニ付テ御尋ネデゴザイマスガ、是ハ御話ノ通り、一人當リ水產物カラ補給サレル蛋白質食糧トシテ十七「グラム」ト云フ意見ガ、現在強ク唱ヘラレテ居ル意見デアリマスガ、ソレニ依ツテ計算致シマス、最近ニ於テ漁獲高ノ一番多カツタ時ノ、殆ド倍ニ近イ水產物ノ生産ヲ舉ゲナケレバ間ニ合ハナイト云フ計算ニナルモノト記憶シテ居リマス、私一度自分デ計算シタコトガアリマスガ、其ノ時ノ計算ニ依リマス、殆ド倍近イ生産ヲ舉ゲナケレバナラナイ、所デ現在ニ於キマシテハ若シ此ノ數字ヲ基礎ニシテ考ヘマスト、水產物ノ生産ハモツト餘計生産サレナケレバナラナイ計算ニナルノデアリマス、併シナガラ現在ノ情勢カラ致シマス、一番餘計生産サレタ時ヨリモ殖ヤスコトハ、到底望ミ得ナイ狀態デゴザイマスノデ、只今ノ吾々ノ目標ト致シマシテハ、少クトモ戰前ノ昭和十五年ニ於ケル水產物ノ生産ヲ維持シテ行キタイ、ソレヲ實現スル爲ニ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、十八年ニ於キマシテハ九億萬貫ト云フ目標ヲ立テテ、其ノ生産ヲ實現シテ行キタイト云フコトデ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス

ソレカラ海洋漁業ノ方面ニ付テノ増産期待ノ見込ハドウカト云フ御話デゴザイマシタガ、海洋漁業ノ生産高ハ從來ノ實績カラ見マス、多イ時デ二割ト云フ計算ガ出ルノデゴザイマス、現在ノヤウナ生産ノ情勢カラ見マス、是ハドウシテモ確保致シタイト云フコトデ計畫ヲ立テテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ生産増強ニ付テノ大體ノ計畫ト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、今日デハ御承知ノ通り漁場ノ關係ガ色々制約モセラレテ居リマス、特ニ著シイモノデ申上ゲマス、鮭類ノ漁業、是ガ非常ニ實情ガ變ツテ來テ居ルノデゴザイマス、各場ニ於ケル京濱方面ノ魚類供給カラ言ヒマス、鮭ノ供給ガ非常ニ多イ時デモ三、四割ヲ占ムルト云フコトガ實情ダツタノガ、最近其ノ情勢ガ變化シマシタノデ、色々代リヲ考ヘナケレバナラナイト云フ情勢ニ置カレテ居ルノデアリマス、供シソレデハソレニ代ルニ同ジヤウナ時期ニ於テ、何カソレニ匹敵スルヤウナ數量ノ漁獲ヲドウシタナラバ舉ゲラレカト云フコトニ付キマシテハ、色々心配ヲシテ居リマス、サウ云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、其ノ一助トモナラウカト云フノデ、機船底曳網漁業ノ整理ヲ一時止メマシテ、ソレニ依ル増産モ期待シテ居ルノデアリマス、ソレカラ其ノ底曳網漁業ノ漁業禁止期間モ短縮致シマシテ、成ベク操業期間ヲ長ク致シマシテ、幾ラカはノ補給ヲシテ行キタイト云フコトモ考ヘマシテ、其ノ措置モ執ツタノデアリマス、尙ホ其ノ他ニモ是ノ補ヒトナルヤウナ方策ハ色々考ヘテ居リマスガ、マダ政府トシテ斯ウ云フ風ナコトヲヤツテ居ルト云フコトハゴザイマセス、大體ノ現在ノ増産ニ關スル情

勢ハ以上ノ通りデアリマス
○石坂(繁)委員 最低所要漁獲量ヲ昭和十五年度ノ程度ニハ維持シタイ考ヘデアルト云フ御答辯デアツタノデアリマス、左様ナ御計畫ト致シマシテ、昭和十六年度及昭和十七年度ニ於キマシテ、昭和十五年度ノ漁獲高ト比較致シマシテドウ云フ數字ノ結果ニナツテ居リマスカ、御示シテ願ヒタイ

○寺田政府委員 是ハ前回モ申上ゲマシタヤウニ、昭和十五年度ノ生産ニ對シマシテ、十六年ハ二、三割程度ノ減少ダツタト思ヒマス、今正確ナ數字ヲ申上ゲマス、昭和十五年ガ農林統計ニ依リマスレバ約八億萬貫、所ガ是ハ先般モ申上ゲマシタヤウニ、十六年ノ統計數字ヲ最近集計セラレマシタモノニ依ツテ見マス、是ハ九億萬貫ニナツテ居リマス、併シ統計ノ取り方ガ變リマシタノデ、ソコラハ直チニ比較出來ナイノデハナイカト考ヘテ居リマス、吾々ノ大體ノ見當デ申シマス、一割乃至二割程度ノ減少ト云フ風ニ推測サレルノデゴザイマス、ソレカラ昭和十七年ハ是ハ全然集計ガ出來テ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テ或ハ十六年ト同ジデアルト云フ風ニモ言ハレマス、或ハ二、三割程度減ツテ居ルト見ラレルノデアリマス、成ベク確實ナ所ト云フノデ、二、三割程度減ツテ居リハシナイガト云フ風ニ申上ゲテ居ルノデアリマス

○石坂(繁)委員 大體ノ生産ノ目標ガ立チマシテ、之ニ對シマシテハ各方面ノ力ヲ集結ヲ致シマシテ、其ノ生産ヲ確保シナケレバナラナイノデアリマスガ、其ノ第一ノ問題ハ資材ノ配給ヲドウスルカト云フ問題ニナツテ來ルデアアラウト存ジマス、法案ニ依

ツテ親ヒマス、此ノ新シク出來ル漁業會
ハ漁業ノ指導獎勵、其ノ他漁業ノ發達ニ關
スル施設、漁業ノ統制ニ關スル施設、水產
物、動植物ノ養殖保護、漁場ノ利用其ノ他會
員ノ漁業生産ノ確保強化ニ關スル施設、等
等アリマシテ、條文ノ第十二條、或ハ五
十五條、六十六條等ニ依ツテ大體新シク出
來ル團體ノ事業ノ内容ヲ窺フコトガ出來ル
ノデアリマス、當面ノ問題ト致シマシ
テ、色々ノ漁業ノ資材ノ中ニ、石油ノ配給
及ビ漁業用ノ「ゴム」長靴ノ配給、是ハ殊
ニ沿岸漁業及ビ海藻類ノ生産等ニ付キマシ
テ、非常ニ苦痛ヲ嘗メテ居ル問題デアリコ
トハ、既ニ御承知ノ通りデアラウト存ジマ
ス、隨テ少クモ今日マデノ所、石油ノ消
費規正ト云フモノハ段々強化サレテ參リ、
其ノ強化サレタル規正ノ下ニ於キマシテ沿
岸漁業、殊ニ大衆ノ食用トシテノ漁獲物ヲ
目的トスル漁業者ニ對シテノ石油ノ配給ニ
對スル當局ノ御考慮ガドウ云フ風ニ拂ハレ
テ居ルノデアリカ、或ハ又石油ニ代ルニ各
種機械ノ代燃化ヲ圖ラナケレバナラス、或
ハ作業ノ協同化ト云フヤウナコトガ必要ニ
ナツテ參ルノデアリマスガ、サウ云フ方面
ニ付キマシテ一層ノ指導ヲ徹底シナケレバ
ナラスト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ
對スル御用意ハドウデアリマセウカ

給等ニ付キマシテハ、何等カ特別ノ考慮ヲ
御拂ヒニナル御考ヘデアルカドウカ、此ノ
點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス
○寺田政府委員 漁船ノ燃料デアル石油ノ
配給ニ付キマシテハ、從前カラ漁業組合ノ
協同施設ト致シマシテ、燃料油ノ貯藏「タ
シク」ノ設置デアルトカ、燃油庫ノ設置デア
ルトカ云フコトノ普及ニ努メテ參ツタノデ
アリマス、唯時局ノ進展ニ伴ヒマシテ、其
ノ獎勵ナリ助成ナリノ事業ガ一時停頓セザ
ルヲ得ナクナツタノデアリマスケレドモ、
既ニ設置セラレテ居リマスモノノ利用ニ付
テハ、十分其ノ活用ヲ圖ルヤウニ致シテ參
ツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ代用燃料
ノ點ニ付テハ、是ハ現在ト致シマシテ石油
ニ代ルヤウナ燃機關ノ燃料ノ點ニナリマ
ス、代用品ガ乏シイノデアリマスカラ、木
炭「ガス」ノ漁船機關考案セラレマシタノ
デ、其ノ普及ニ付キマシテハソレノ助成
金ノ交付、或ハ其ノ指導等ニ依リマシテ補
ヒヲ幾ラカナリトモ付ケテ參リタイト云フ
ノデアツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ
更ニ愈々燃料ノ足りナイ場合ニ於キマシテ
ハ、昔ノ帆船時代ニ還ル帆走裝置ノ設置
ニ付キマシテモ、助成ノ途ヲ考ヘテヤツテ
居ルノデアリマスケレドモ、此ノ帆船ノ普
及ト云フコトモ中々容易デナイノデアリマ
ス、併シサウ云フ風ニ致シマシテ、ソレノ
能フ限リノ漁船ノ動力ノ代用ヲ考ヘテ來テ
居ル次第デアリマス、今後トモソレハ續ケ
テ參リタイト思ツテ居リマス
ソレカラ漁業用ノ「ゴム」長靴ノ配給デゴ
ザイマスガ、是モ漁業ノ性質上下ウシテモ
ナクテハナラスコトハ御話ノ通りデゴザイ
マシテ、「ゴム」長靴ノ製造或ハ其ノ配給等ニ付

キマシテハ、漁業用ニ付テハ特ニ規正率ヲ
緩メテ貰ツテ居ル次第デアリマス、今後ト
モ其ノ原料ノ見透シガ立チマスレバ、更ニ
其ノ供給ノ維持増強ヲ考ヘテ參リタイト思
ツテ居リマス
○石坂繁委員 石油ノ消費規正ノ對策ト
致シマシテ、帆船利用ト云フコトモ御話ニ
出タノデアリマスガ、私共ノ地方デ石油缺
乏ニ對スル對策トシテ困ツテ居リマスコト
ハ、從來ノ櫓デ以テ海ニ出ル、斯ウ云フヤ
ウナコトハ考ヘラレルノデアリマスケレド
モ、此ノ頃ノ若イ者ハ櫓ノ漕ゲナイ者ガア
ルノデス、年取ツタ人ハワザノ櫓マデ漕
イデ海ニ出テ行キタクナイ、斯ウ云フコト
デ段々サウ云フモノノ利用ガ實際上出來ナ
イヤウナ實情ニアルノデアリマス、石油缺
乏ニ對スル對策トシテ、尙ホソレ等ノ點モ
御考慮ニ入レテ戴キマシテ、篤ト一ツ御研
究ガ願ヒタイト思ヒマス、左様ニ致シマシ
テ色々資材ノ缺乏ヲ克服致シマシテ、漁獲
物ノ最低限度ヲ確保致サナケレバナライ
ノデアリマスガ、サウシテ參リマス、今
度ハ漁獲資源ノ確保ト云フコトガ當然問題
ニナツテ來ルト思ヒマス、南方漁業、遠洋
漁業ノ問題ハ暫ク別ト致シマシテ、此ノ沿
岸漁業ニ對スル資源確保ノ問題デアリマス
ガ、ソレ等ニ對シマシテハ種々ナル増殖施
設ノ強化、或ハ稚魚ノ放養、稚魚濫獲ノ禁止
或ハ水ニ工場等ノ汚毒物ノ流入ヲ防グ、斯
ウ云フヤウナ色々ナ策ガ講ゼラレナケレバ
ナラスト思ヒマスガ、是ハ極メテ重要ナ問題
デゴザイマシテ、資源確保ノ點カラ、所謂定
置漁業ノ整備強化ト云フコトガ非常ニ重要
ナ問題デアラウト思ヒマス、今日漁業法ニ依
ル漁業權ノ免許ノ數ハ全國デ大體二萬八千

ヲ數ヘラレテ居ルト云フコトデアリマスガ、
其ノ大半ハ餘リニ過當ニ密着シテ居ル、サウ
シテ密着ヲ致シテ居リマス結果ハ、隣ノ漁場ト
ノ間ニ非常ナ競争ガ行ハレテ居ル、隨テ段々
漁獲物ガ零細化サレテ來ルト云フヤウナ
實情ニアルノデアリマス、此ノ定置漁業ハ沿
岸漁業ノ漁獲量ノ中ニ於キマシテハ、大ナ
ル地步ヲ占メテ居ルノデアリマシテ、是ガ
強化ハ沿岸漁獲物ノ増産ニハ非常ニ必要デ
アルノデアリマスガ、實際ノ狀態ハ右申シマ
シタヤウナ事情ニ依リマシテ、各地ニ於テ
ソレ等ガ餘リニ多ク濫設サレマシテ、統制
ヲ缺イテ居ルト云フヤウナ實情デアアルノデ
アリマス、隨ヒマシテ全體カラ見マシテ、
眞ニ漁獲物ヲ確保スル爲ニハ、ソレ等ノ數
多クノ定置漁業ヲ整理スル必要ガ出テ參ル
ノデアリマス、法案ノ第十一條ニ依リマス
ト、此ノ新タニ出來ル漁業會ハ、水産業ニ
關スル國策ニ即應致シマシテ、漁業ノ整備
發達ヲ圖リ且漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又
ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ會員ノ漁業及經濟ノ
發達ニ必要ナル事業ヲ行フコトヲ目的トス
ト云フコトデ目的ヲ明カニ致シテアリマシ
テ、私ガ今申上ゲマスヤウナ定置漁業ノ整
備統制ニ付キマシテハ、或ハ新タナル漁業
會ガソレ等ノ所マデ或ル程度役割ヲ演ズル
コトガ出來ルカトモ思ヒマスガ、此ノ定置漁
業ノ整備強化ト云フ點ニ付テハ、當局ハ如
何様ナル方針ヲ御持チニナルカ伺ヒタイト
思ヒマス
○寺田政府委員 定置漁業ノ整備強化ニ付
キマシテハ、從來トモニ色々ト必要ヲ唱ヘ
ラレテ居ツタコト御話ノ通りデゴザイマス、
ソレデ此ノ漁業權ニ付キマシテハ、御承知
ノ通り免許ノ期間ガ決メラレテ居リマシテ、

二十年以内ニ免許期間ヲ定メルコトニナツテ居ルノデアリマス、期間ガ滿了致シマスト更新スルコトガ出來ルノデアリマスケレドモ、其ノ更新ノ機會等ニ隨時關係業者ノ話合等ニ依ツテ、定置漁業ノ整備強化ヲ圖ツテ參ツテ居ル場合モゴザイマス、更ニ漁業組合員ガ持つテ居ル定置漁業等ニ付キマシテハ、漁業組合ニ於テ其ノ經營ヲ計畫化致シマシテ、整備強化ニ努メテ參ツテ居ルノデアリマス、尙ホ今日ノヤウナ資材ノ現狀ニ照シシマシテ、關係業者ノ間デ自發的ニサウ云フ計畫化ガ行ハレテ居ル場合モナイデハアリマセヌ、今後トモサウ云フ傾向ハ定置漁業ニ付テ行ハレルモノデアリ、又必要ニ應ジマシテハサウ云フ方法ヲ更ニ指導シテ參リタイト思ツテ居リマス、尙ホ漁業會ガ組織サレルコトニナリマス、漁業會ニ於テオ五ニ協議ヲシテ計畫ヲ立テル、或ハ其ノ整備強化ヲ圖ルト云フ方面ニモ一段ノ效果ガアルコトト思ツテ居ル次第デアリマス。

○石坂(繁)委員 水産資源確保ノモウ一ツノ問題ト致シマシテ、水産増産用種苗ノ問題デアリマス、是ハドウシテモ適當ナ場所ニ適當シタル種苗ヲ放養スルコトガ必要デアルト存ジマス、隨テ有用ナル水産物ノ生産ヲ強化致シマスル爲ニハ、ドウシテモ種苗ノ放養ニ付テ、從來ノヤウニ其ノ養成ヲ無統制ノ儘ニ置イテ、其ノ種苗ノ採取養成ヲ民間ノ自由ニ任セテ置クト云フコトニナリマス、ヤハリ無統制ニナリ競争ガ起ル、其ノ結果ハ適當ナル種苗ヲ得ラレナイコトニナリ、必要トスル水産物ノ確保ガ出來ナイコトニナルデアリマス、隨テ新タニ水産團體ヲ整理統合サレマシタ此ノ時期ニ於テ、有用ナル増産用ノ種苗ヲ政府デ管

理致シマシテ、適當ニ之ヲ採取養成シ、或ハ配給スルト云フ方策ヲ採ラレルコトガ必要デアラウト考ヘマス、此ノ點ニ關スル當局ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス。

○寺田政府委員 増産種苗ノ配給ニ付キマシテハ、其ノ種苗ノ種類ニ依リマシテ、色ト工夫ヲ凝ラシテ居ル次第デアリマス、即チ一般ニ放流サレルヤウナ種苗ハ、政府又ハ道府縣ノヤウナ公共團體ノ事業トシテ經營スルコトニ致シテ居リマス、道府縣ノ漁業ニ對シマシテハ手厚イ助成ヲ致シマシテ、其ノ事業ノ進展ヲ圖ツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ天然放流デナク飼養致シマスル種類ノ種苗ニ付キマシテハ、ソレゾレ其ノ種苗ノ生産者ニ於テ組合ヲ作ルト云フコトデ、配給ノ統制ヲヤツテ來テ居リマス、其ノ一例ヲ申上ゲマス、琵琶湖産ノ小鮎ハ從來共ニ有名ナモノデアリマシテ、増殖用ノ種苗ニ使ハレテ居リマシタガ、之ヲ水産組合ヲ作ツテ、其ノ水産組合デ申込ハ一手ニ引受ケル、配給モ其ノ組合ニ於テスルト云フヤウナ施設ヲヤツテ來テ居ルノデアリマス、今後トモサウ云フ一般ニ養成サレル増産用種苗ニ付キマシテハ、漁業會ト云フヤウナ團體デヤツテ行クノ適當カト思ハレマス、尙ホ其ノ他ノ放流種苗、或ハソレニ類スルヤウナ種苗ニ付キマシテハ、公共團體、或ハ政府ニ於テ行フコトニ致シテ居リマス。

○石坂(繁)委員 最後ニモウ一點、現行漁業法改正ノ問題デアリマス、或ハ局長ハ明確ナ御答辯ヲ避ケラレルカモ分ラスノデアリマス、先日來此ノ水産團體法ノ中ノ第九條ガ非常ナ問題トナツテ居リマス、詰リ第九條ノ漁業ノ定義ノ中ニ「營利ノ目的ヲ以テ」トアルノガ、今日ノ吾々ノ觀念カラ申シマスル適當デナイ、斯ウ云フ主張ガ相當強カウタノデアリマス、ソレニ對シマシテ農林大臣ハ、是ハ漁業法ノ漁業ノ定義其ノ儘ヲ振合ノ都合上——言葉ハ違ツテ居リマス、振合ノ都合上ト云フヤウナ趣旨ニ於テ此ノ儘コツチニ入レタノデアアル、營利ノ目的ト云フノハ決シテ利潤追求ノ目的ト云フ意味デヤナイ、斯ウ云フコトヲ申サレマシテ、是ハ漁業法改正ノ問題ト考ヘ合セテ適當ニ善處ヲシタイ、ト云フ御答辯ガアツタヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ當局ト致シマシテハ、先日來ノ此ノ委員會ニ於ケル只今ノ問題モ篤ト御考慮ノ中ニ入レテ戴キマシテ、今後速カナル機會ニ於キマシテ漁業法ノ改正ヲナサルベキデアルト存ジマス、尙又單ニ理念的ト申シマセウカ、サウ云フ條文ノ用語上ノ問題バカリデナク、漁業法ハ御承知ノ通りニ可ナリ古イ法律デアリマス、其ノ漁業法ニ依ツテ保護サレテ居ル水面專用權制度ノ如キニ依リマシテ、漁業資源ハ愛護涵養セラレマシテ、從來荒サレナイデ參リマシタ點ハ十分ニ認メルノデアリマスケレドモ、動モ致シマス、專用漁業權ト云フモノガ從來ノ舊慣ニ因ハレ過ギテ、却ツテ生産ノ障害トナツテ居ル點モアルノデアリマス、隨テ斯様ナ點カラ考ヘマシテモ、比較的各制度ガ發展致シマシタ今日、殊ニ新タニ漁業團體ガ統合サレテ參リマシテ、サウシテ新タナル漁業新體制ヲ確立セナケレバナラス時デアリマス、旁、以テ古イ漁業法ノ改正ノ必要ガアルデアラウト存ジマス、隨テ何時改正スルカト云フヤウナコトハ、是ハ局長ガ言明ヲ避ケラレル點デアルカモ

知レマセヌケレドモ、少クトモ局長ト致シマシテハ、左様ナル考ヘヲ以テ此ノ漁業法改正ニ付テノ御準備、即チ事務的ナ御準備ヲ今進メテ居ラレルノデアルカドウカ、其ノ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス。

○寺田政府委員 此ノ漁業法ノ改正ト云フコトニ付キマシテハ、此ノ水産團體法案ヲ立案致シマス場合ニ、先ヅ漁業法ノ改正ト云フコトカラ事務的ニハ出發シテ居ツタノデゴザイマス、併シナガラ現在ノ大體ノ情勢カラ致シマシテ、先ヅ漁業組合關係、之ヲ他ノ水産會ノ系統團體關係ト統合ヲシテ行クト云フコトニ重點ヲ置イテ、其ノ點ヲ先ヅ實現ヲ圖ツテ行カウト云フコトニナリマシタノデ、水産團體法案トナツタコトハ或ハ御承知カト思ヒマス、左様ナ次第デアリマス、漁業法ノ規定ニ付テ見マシテモ、御話ノ通り相當古イ時代ノ法律デアリマス、色々又改正ヲ要スル點モ私ハ出テ來テ居ルノデハナイカト思ツテ居リマス、併シ何分ニモ漁業權ト云フ權利ニ關スル規定デアリマシテ、十分遺憾ナキヲ期サナケレバナリマセヌノデ、此ノ際ハ觸レナカウタノデアリマス、併シ是ハ相當長イ間ニ互ル問題デモアリマス、事務的ニハ十分研究モシ準備モ進メタイト思ツテ居ル次第デゴザイマス。

○石坂(繁)委員 私人質問ハ是デ終リマス。

○東郷委員長 金子彦太郎君

○金子(彦)委員 漁業ト工業トノ關係ニ付テ簡單ニ當局ノ意向ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、工業ノ勃興發達ト云フモノガ自然ヲ破壞シテ參リマシテ、或ハ工場カラ放出スル汚水トカ、或ハ汚物ガ河川ノ流域又ハ海洋ニ放流セラレマシテ、魚族ノ繁殖棲息

ニ於テ、有用ナル増産用ノ種苗ヲ政府デ管

理致シマシテ、適當ニ之ヲ採取養成シ、或ハ配給スルト云フ方策ヲ採ラレルコトガ必要デアラウト考ヘマス、此ノ點ニ關スル當局ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス。

○寺田政府委員 此ノ漁業法ノ改正ト云フコトニ付キマシテハ、此ノ水産團體法案ヲ立案致シマス場合ニ、先ヅ漁業法ノ改正ト云フコトカラ事務的ニハ出發シテ居ツタノデゴザイマス、併シナガラ現在ノ大體ノ情勢カラ致シマシテ、先ヅ漁業組合關係、之ヲ他ノ水産會ノ系統團體關係ト統合ヲシテ行クト云フコトニ重點ヲ置イテ、其ノ點ヲ先ヅ實現ヲ圖ツテ行カウト云フコトニナリマシタノデ、水産團體法案トナツタコトハ或ハ御承知カト思ヒマス、左様ナ次第デアリマス、漁業法ノ規定ニ付テ見マシテモ、御話ノ通り相當古イ時代ノ法律デアリマス、色々又改正ヲ要スル點モ私ハ出テ來テ居ルノデハナイカト思ツテ居リマス、併シ何分ニモ漁業權ト云フ權利ニ關スル規定デアリマシテ、十分遺憾ナキヲ期サナケレバナリマセヌノデ、此ノ際ハ觸レナカウタノデアリマス、併シ是ハ相當長イ間ニ互ル問題デモアリマス、事務的ニハ十分研究モシ準備モ進メタイト思ツテ居ル次第デゴザイマス。

○石坂(繁)委員 私人質問ハ是デ終リマス。

○東郷委員長 金子彦太郎君

○金子(彦)委員 漁業ト工業トノ關係ニ付テ簡單ニ當局ノ意向ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、工業ノ勃興發達ト云フモノガ自然ヲ破壞シテ參リマシテ、或ハ工場カラ放出スル汚水トカ、或ハ汚物ガ河川ノ流域又ハ海洋ニ放流セラレマシテ、魚族ノ繁殖棲息

ヲ阻碍致シマシテ、其ノ爲ニ殆ド漁業ト云フモノヲ危殆ニ陥ラシメテ、現在漁村デアツテ漁村トシテノ存立ヲ見ルコトノ出來ナイヤウナ状態ニアルコトモ御承知ノ通りデアリマス、其ノヤウナ場合ニ漁業ノ擁護或ハ救済ト云フコトハ勿論致サナケレバナリマセヌ、又一面ニ於テ工業ト云フコトモ考ヘテヤラナケレバナラヌ場合モアルカモ存ジマセヌガ、斯様ナ問題ノ起ツタ場合ニ、當局トシテハ如何様ナ御處置ヲ執ラレテ居ルカ、先ヅソレヲ先ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○寺田政府委員 漁業ト工業、工業ト申シマシテモ特ニ工場ノ排水等ノ關係デアラウト存ジマスガ、是ハ從來工場排水ニ依リマシテ水質ヲ汚毒セラレルコトニ付テ、色々漁業者ノ方カラ苦情ノ出タコトモ少クアリマセヌ、ソレ等ニ付キマシテハ工場ノ排水ニ依ル被害ニ付キマシテ、實情モ取調ベマシテ、其ノ排水ノ害ヲ成ベクナクサセル、或ハ最少限度ニ止メルト云フヤウニ、例ヘバ池ヲ設ケマシテ、其處ヘ一應沈澱ヲサセタ上デ汚水ヲ流ス、或ハ固形物ガ流レテ参リマス場合ニハ、ソレヲ流サナイヤウニスル、沈澱又ハ濾過ノ裝置ヲ簡單ナモノデモ設ケテ貰フト云フヤウナコトデ今マデ解決シテ参リマシタ、ソレカラ尙ホ是ハ大分前ニナリマスケレドモ、漁業法改正ノ際ニ、水質保護ノ爲ノ規定ヲ道府縣ノ取締規則トシテ設ケ得ル途モ開イテ居ツタノデアリマス、又現在ノ漁業法第三十四條ノ第一項ノ第五號ニ、「水産動植物ニ有害ナル物ノ遺棄又ハ漏泄ニ關スル制限又ハ禁止」斯ウ云フ條項モ設ケラレマシテ、之ニ依ツテ縣當局ニ於テ施設ヲシテ居ル所モゴザイマス、左様ニ

致シマシテ出來ルダケ工場排水等ニ依ル漁業ヘノ影響ハ、最少限度ニ止メルコトニ努メテ參ツテ居ルデアリマスガ、現在ト致シマシテハ工業生産ノ重要性ニ鑑ミマシテ、十分調和ヲ取ツテ行クヤウニ致シタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○金子(彦)委員 一應御答辯ノ向ハ了承致シマシタ、又從來紛擾アリマシタ際ニハ、補償金ノ問題デアルトカ、或ハ今御答辯ニナリマシタヤウナ施設ヲ施サシテ解決ヲ致シテアルノデアリマスガ、現實ノ問題トシテハ、只今御答辯ニナツタヤウナ施設ハ、僅力數箇月デ沈澱池ハ一杯ニナツテシマフト云フ實情ニアルノデアリマシテ、唯約束シタ時ダケノ仕事デアツテ、永續ハ致シテ居ラヌノデアリマス、從來斯様ナ紛擾アリマシタ際ニハ、工場主側トシテハ割合ニ平氣デ居リマス、ソレカラ漁業者ノ方ハ非常ナ無駄ナ日子ト、ソレカラ經費トフ費シテ醜態致シマシテモ、資本家ニハ敵ハナイ、是ガ實際ノ問題デアルノデアリマス、私共ハ斯様ナ問題ニ時々打突カツテ居ルノデアリマスガ、何トカ斯ウ云フ問題ノ起ツタ時ニハ、丁度農村方面ニ於テ小作爭議ノ調停トカ、或ハ最近ハ金錢債務ノ調停ガアルトカ云フ風ニ、公式デモノガアルノデアリマスガ、斯様ナ問題ヲ解決スル爲ニ權威ノアル審議機關デアルトカ、或ハ調停機關ト云フヤウナモノヲ設ケテ、之ヲ速カニ解決シテ行ク方法ヲ執ラレタ方ガ宜カラウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、是等ニ付テノ御意見ハ如何デゴザイマスカ

○寺田政府委員 此ノ工場排水ニ因ル漁業ノ被害ノ問題ハ、工業勃興以來相當ノ年數ヲ經テ居リマスノデ、自然此ノ水質ノ檢

査、或ハ其ノ除外方法ノ研究ト云フコトニ付キマシテハ水産試験場、是ハ中央ニアリマス水産試験場ニ付キマシテモ、ソレカラ地方ノ水産試験場ニ於キマシテモ、常ニ實情ニ付テ調ベテ致シテ居リマス、又學理的ナ方法ニ付キマシテハ、九州ノ帝國大學ニ今度水産科モ出來マシテ、其ノ方ノ教授ハ特ニ水質汚毒ニ付テモ研究ヲ致シテ居ル方ガアリマスノデ、今後トモ其ノ研究ヲ續ケテ貰フヤウニ色々御相談致シテ居ル次第デアリマス、左様ニシテ被害ノ實情、或ハ其ノ被害ノ防止ノ方法等ニ付テノ調査ハ、常ニ怠ラズヤツテ居ルノデアリマス

○金子(彦)委員 私ハ御答辯ガ洵ニ形式的デアツテ、現實ノ問題ト懸離レテ居ルヤウナ氣持ガ致スノデアリマス、今御答辯ニナラレタヤウナコトハ私ハ承知シテ居リマス、唯現實ノ問題トシテ紛擾ノ起ツタ時ニ、之ヲドウシテ解決ヲシテ行クカト云フヤウナ場合ニ、試験場ニ頼ンデ學者ニ試験シテ貰フ、或ハ技術者ニ試験シテ貰フ被害ノ程度ヲ研究スルナドト云フ、ソナ時代ハ疾ウニ過ギテ居ル、現實ノ問題トシテドウスルカ、早く解決ヲセシメテヤルト云フコトハ相當ニ必要ナ問題デヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、之ニ付テ本當ノ政府ノ肚ヲ御伺ヒ致シタイト考ヘマス

○寺田政府委員 問題ガ起リマシタ其ノ事件ノ解決ニ付キマシテハ、其ノ事件ノ起リマシタ現地ノ府縣當局ニ於テモ勿論十分ノ手當ヲサレルノデアリマシテ、ソレノ關係者ニ協議ヲセシメマストカ、除害方法ヲ講ゼシメマストカ、或ハ其ノ被害ノ對策ヲ講ジマストカ、サウ云フコトニ付テ協議ヲ進メテ居ルノデアリマスガ、更ニ農林省ニ

於キマシテモ、事件ノ發生ノ際ニ於キマシテハ、現地ニ調査員モ差出シマシテ實情モ調べ、更ニ協議モ遂ゲサセルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○金子(彦)委員 モウ一ツ現實ノ問題ニ付テ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、狩野川ノ改修デアリマス、狩野川ノ改修ガ流域ノ危險ノ防止、伊豆平野ノ食糧増産ト云フコトヲ目標トシテ、江ノ浦灣ヘ放流セシメントスル内務省ノ計畫ガアラレルノデアリマス、之ニ對シテ漁業者トシテハ、餌料餵ノ問題等ヨリ致シテ、此ノ改修工事ニ對シテ反對ノ意向ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對シテ如何様ニ解決ヲナサントスルカト云フ政府ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○寺田政府委員 河川ノ工事ニ依ル漁業ヘノ影響ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ又河川關係ノ問題トシマシテ、別途ニ常ニ對策ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、具體的ナ問題ガ起リマスレバ、其ノ都度關係省ノ間ニ、別ニ形式的ナ會デハゴザイマセヌガ、協議會ヲ開キマシテ對策ヲ講ズルヤウナコトヲ致シテ居リマス、常設的ナ協議會デハゴザイマセヌケレドモ、個々ノ問題ノ解決ニ當リマシテ協議會ヲ開キ、尙ホ之ニ關係ノ民間ノ方モアレバソレモ加ハツテ戴イデ、協議ヲシテ決メテ行クト云フ風ニ致シテ居リマス、御話ノ江ノ浦灣ニ注グ河川改修ノ問題ニ付キマシテハ、其ノ件ニ付テハ十分關係當局ト打合ハセマシテ、對策ヲ考ヘタイト思ヒマス

○東郷委員長 之ヲ以チマシテ水産業團體法案ニ對スル質疑ハ一應終了致シマシタ、就キマシテハ此ノ際農林省ニ關スル

質疑ノ一部保留サレタ點モアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテ質疑ヲ續行致シマス、馬岡次郎君

○馬岡委員 私御尋ネ致シタイ問題ハ、新タニ生レマスル農業團體、之ニ對スル經費負擔ノ問題デ當局ノ御意見ヲ御伺ヒ致シタイ、四ツノ團體ガ寄リマス、此ノ團體ガ寄レバ經費ガ問題ニナツテ來ルノデアリマス、是等ノ團體經費ニ付テハ、當局ハドウ云フヤウナ御考ヘデ此ノ團體ノ整備發達ヲナサシメルカ、其ノ爲ノ經費ハドウ云フ風ニスルカ、農會法ノ如キハ一定ノ限度ガアリマス、是等ニ對シテ今度ハドウ云フヤウニ御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ取敢ズ伺ヒタイ

○重政政府委員 新農業團體ノ經費ノ負擔ニ付キマシテハ、現在農會等ニ於テ設ケテ居ルヤウナ、徴收シ得ル一定ノ限度ト云フモノハ設ケル必要ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ農會法關係法令ニ於テ決メテ居ル限度ハ、非常ニ其ノ限度ガ低クアリマスノデ、是ハヤハリ時勢ニ即應シタ程度ニ、若干ノ擴張ヲ認メザルヲ得ナイノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於テヤハリ一應ノ限度ハ設ケル必要ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、實體ガ寧ろ問題デアラウト思フノデアリマス、現在ノ所私共ト致シマシテハ、出來ル限リ經費ハ節減ヲ致シテ行キ、出來ルダケ組織員ニ對スル經費賦課モ少クシテ行キタイ、サウ云フ目標ノ下ニ指導ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 御心ノアル點ハ能ク分ツタノデアリマス、併シ此ノ團體ガ國家團體トシテ茲ニ全能力ヲ發揮シテ、政府ノ施策ニ協

力スルト云フ際ニハ、經費ノ節減モ必要デアリマスガ、相當ノ經費ガ要ラウト思ヒマス、是等ニ對シテ相當ノ擴張ヲ認メラレルト云フコトモ結構デアリマスガ、餘リ又此ノ經費ガ要リマス、何ノ爲ニ統合シタノダト云フ議論モ起ツテ來ルト思ヒマス、又色々ト議論サレテ居リマス、實際ニ今後ノ成行キハドウナルドラウト云フコトデ、一般ニ不安ヲ持チ興味ヲ持ツテ色々ト考ヘテ居リマス、茲ニハ他ノ方面カラノ收入モ考ヘラレテ居リマス、供シ最モ豫期スルコトガ出來ナイ問題デアル、就キマシテハ實際此ノ政府ノ要綱ニ現ハレテ居ルヤウニ、整備、發達、擴充ヲ主トシテナサル上カラハ、相當政府ニ於テモ此ノ經費ニ於テオ覺悟ガナケレバナラナイト思ヒマス、此ノ子供ヲ完全ニ發育サス爲ニハ、相當ノ補助ヲ與ヘルニ否カデアツテハナラナイト思フノデアリマス、是等ニ付テハ御考ヘガアリマスカドウカ、豫メ承リタイ

○重政政府委員 御承知ノ通りニ農業團體ニ對スル助成ハ、主トシテ指導事業ヲ擔當致シテ居リマス農業團體ニ對シマシテハ、時局ノ進展ニ即應致シマシテ、其ノ事業モ亦國策ニ即應シテ、重要ナル食糧生産其ノ他ノ施策ニ對應致シテ實行シテ行クト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、年々相當多額ノ助成金ニ關スル豫算ノ御協賛ヲ經テ、是ガ交付ヲソレ等ノ團體ニ對シテハ致シテ參ツテ居ルト云フ實情デアルノデアリマス、時局ノ進展ニ伴ヒマシテ、將來ニ於テモソレ等ノ事業ニ對シマシテハ、益々新團體ニ對スル助成金ノ増額ト云フコトハ、已ムヲ得ナイコトデアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、隨テ吾々ト致シマシテハ、事業ノ内容ニ依

リマシテハ出來ル限リノ助成ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○東郷委員長 吉植庄亮君

○吉植委員 今ノ馬岡君ガ質問サレマシタ點ニ關シテデスガ、サウシマス、今ノ農會費ハ慥カ會員一人五十錢、地租割ハ百分ノ二カ三方、ソナモノダト思ツテ居リマス、サウ云フ現狀デアリマスガ、他ニマダ澤山團體ガアリマスガ、ソレヲ統合シマシテ、其ノ團體ニ各、會費ヲ納メル、ソレガ一本ニナリマス、政府ノ御心持ハドノ邊ニ具體的ニ會費ヲ定メル御積リデスカ、ソレヲ承リタイノデアリマス

○重政政府委員 其ノ點ノ額ニ付キマシテ、只今ハツキリシタ考ヘハ固メテ居リマセス、是ハ能ク實際ヤツテオイデニナル御方ノ御意見モ聽ク必要モアリマシ、色々ノ團體ヲ綜合的ニ見マシテ、適當ナル所ニ定メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、私ノ現在ノ心持ト致シマシテハ、少クトモ各種團體ヲ統合致シマシテ、ソレ等ノ現ニ徴收致シテ居リマス經費以上ニハ、出來ルダケ此ノ統合ノ當初ニ於キマシテハ上ラナイヤウニ致シタイ、大體其ノ限度ヨリ少ク經費ヲ徴收致シテ間ニ合フヤウニ致シタイ、ト云フ心持ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○吉植委員 今ノ御話デ了承致シマシタ、仕事ヲ積極的ニヤツテ行クト云フコトニナリマス、今マデノ制限ヨリ緩和シテ戴カスト、實際ニ事務ヲ行フ上ニ於テ支障ヲ來スヤウナ心配モ生ジマス、サリトテ又會費ガ多クナツテ、其ノ上ニ立ツ會長其ノ他俸給ヲ食ムト云ツタヤウナ制度ニナツテモ困リマス、今ノ當局ノ御言葉ヲ信賴致シテ置キマス、何分適正ニ一ツ御考慮願ヒタ

イト思ヒマス

更ニ御尋ネ致シタイコトハ、實ハ先日重政局長モ御聽キ下サイマシタ通り、大臣ト私地主ト云フコトニ付テノ問答ヲ致シマシタ、實ハ今日ニ先日ノ問題ガ繫ガツテ居リマスガ、アノ時ニ厚生省、文部省、企畫院ノ政府委員ノ御出席ヲ願ツテ、ソコデ今日マデ持越シタ問題ニ言及シタカツタノデアリマスガ、政府委員ガ御見エニナツテ居リマセスカラ、今日ニ持越シタ譯デアリマス、所ガヤハリ貴族院ノ方ニ行ツテ居ツデノ政府委員モオイデ願ハレナイ、斯ウ云フコトデゴザイマスカラ、重政局長一人ダケニ御聽キ致シタイト思ヒマス、實ハ今日私ノ住ンデ居リマスル千葉縣ノ如キハ、東京近郊デアリマスカラ、是ハ特殊現象デアラウト思ヒマスガ、併シ程度ノ差コソ強弱ハアリマシテモ、全國的情勢ト言ツテ差支ヘナイコトハ耕地ノ返還デアリマス、此ノ耕地ノ返還ノ勢ヒハ、重要農產物價格問題ヲ中心ニシマス、燎原ノ火ノ如ク益々擴ガルヤウナ氣勢ニ今日アルコトモ現實デアリマス、サウシマシタ時ニ、今日マデノ政治ハ地主ヲシテ生産ニ從事セシメナクテモ宜シイト云フ地位ニ置イタノデアリマス、生産ヨリ遊離シタル地主トシテ、立派ニ村ノ指導的地位ニ立ツテ暮シテ行クトガ出來タヤウナ政治ニナツテ居ツタ爲ニ、地主ハ生産ヲ知ラナイ、此ノ生産ヲ知ラナイ地主ガ澤山アルノデアリマス、サウ云フヤウニ生産ニ關與セザル遊離シタル地主ノ土地ニ限ツテ、土地返還ガ甚ダシイ趨勢ニナツテ居ル、甲ノ地主ハ自ラ耕地ノ一部分ヲ耕シ、乙ノ地主ハ一ツモ耕シテ居ラナイ、斯様ナ狀態デ土地返還ヲスル土地ノ狀況ガ同ジデアリマス

ト、乙ノ方ノ土地ガ返還サレマス、然ルニ此ノ土地ヲ返還サレマシタ者ニ對シテ、昨年マデノ實情ハ之ヲ直チニ取ツテ救済スルト云フヤウナ政治ガナカウツヤウデゴザイマス、例ヘバ農具ニ致シマシテモ、地主ガ返還セラレマシタ土地ニ於テ直チニ自作ヲ行ハウト致シマシテモ、農具ノ配給ガゴザイマセヌ、買ハウトシテモ中々買ヘナイ、斯ウ云ツタノガ實情デゴザイマス、ソレデドウシテモ此ノ點ニ付テ政府トシテハ餘程心ヲ用ヒテ戴キマセヌケレバ、食糧増産ノ一環ガ此ノ點カラ破レテ來ルト思ヒマス、又單ニ農具ノミデゴザイマセヌ、勞力ニ致シマシテモ、土地返還セラレマシタ人ガ直チニ使用人ヲ雇ハウト致シマシテモ、是ハ絕對農村ニハゴザイマセヌ、ソコデ學校其ノ他ノ勤勞奉仕班、或ハ何ト申シマスカ、團體的ノ勞力班——何ト云フカ專門的ノコトハ私ハ知リマセヌガ、假ニサウ言ツテ置キマス、サウ云ツタモノノ協力ヲ仰ガウト致シマシテモ、是ハ所謂平等主義カラ行キマシテ、單ニ土地返還ヲ受ケタル地主ノミヲ救済スル譯ニハ行キマセヌ、片方ノ地主竝ニ小作、或ハ自作兼小作人ト云ツタ方ハ、其ノ勞力ヲ受ケレバ十二分ニ耕作ガ出來ル、片方ノ地主ハ其ノ勞力ヲ受ケナイト全然手ヲ下スコトガ出來ナイト云ツタ時ニ、ヤハリ平等ニ此ノ勞力ヲ援ケテ得ルコトニナリマス、斯ウ云ツタ工合、デアリマスカラ、ドウシテモ其ノ土地ガ空イテシマウ、手ノ着ケヨウガナクシテ、蒼々茫茫タル原野狀態ニ歸シテシマウト云フコトガ昨年實現サレテ居リマス、私ノ方ニハ左様ナ土地ガ到ル所ニゴザイマス、本年ハ昨年ヨリモ此ノ趨勢ハ尙ホ激シクナル、斯ウ云フ情勢デゴ

ザイマスガ、之ニ對シテ農林省ト致シマシテハ、土地返還ヲ受ケテ困惑致シテ居ル所ノ地主階級ノ救済ニ對シテ、如何ナル御考ヘガゴザイマセウカ、承リタイト思ヒマス

○重政政府委員 耕地返還ノ事例ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、府縣ニ依リマシテ相當ナ輕重厚薄ガアラウト思フノデアリマスルガ、千葉縣ニ於キマシテハ、只今御述ベニナリマシタヤウナ事情モアルヤウニ聞イテ居リマス、之ニ對シマシテハ、先般農地調整法ノ制定ノ際ニ於キマシテ、返還耕地ニ付テノ處理ノ問題ニ付キマシテ、或ハ農事實行組合ニ於テ之ヲ一時耕作ヲヤルトカ、或ハ町村ニ於テ是ガ面倒ヲ見ルトカ云フヤウナ方法ヲ執ツタガ宜シイ、場合ニ依レバ農會等モ之ニ關係ヲ致シテ、食糧増産ニ遺憾ノナイヤウニ致スガ宜シイト云フヤウナコトヲ、アノ當時カラ私共ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、又現ニソレヲ實行セラレテ居ル地方モアル譯デアリマス、更ニ此ノ勞力ノ問題ニ付キマシテハ、本委員會ニ於キマシテモ色々ノ角度カラ質疑ガ行ハレタノデアリマスルガ、現在ノ所吾々ト致シマシテハ、御承知ノヤウニ勞力調整ヲ各地方々々ニ於テヤリマスコト、サウシテ又一面ニ於キマシテハ、學生其ノ他ノ勤勞奉仕隊ノ勞力ヲ、生産ニ計畫的ニ編入ヲ致シテ實行致スト云フ、是ガ最も必要デアルト云フ觀點カラ致シマシテ、從來共是ハサウ云フヤウニ致シテ居ルノデアリマス、只今御述ベニナリマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、能ク是ハ現在行ツテ居リマスル農會方面ト御連絡ヲシテ戴キマシテ、サウシテ勞力計畫ヲ具體的ニ御立テテ願ヒマシテ、唯胡麻鹽ヲ振ルヤウニ

僅カノ勞力ヲ各地主ニ配ルト云フヤウナコトデナシニ、重點的ニヤツテ戴クト云フコトニ御願ヒヲスルヨリ外ハ現在ノ所ナイノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉植委員 今ノ御話ハ大體昨年アタリ現地デ行ハレテ居リマシタ、併シ地元ノ農事實行組合ナリ農會ナリガ、返還セラレタモノニ付テ共同耕作ヲスルト云フ所モアリマシタガ、絕對ソレガ出來ナイデ、荒地ニナツテ居ルノガ澤山アルノデアリマス、私ガ御尋ネシマスノハ其ノ先ノ、サウ言ツタ力及バズシテ荒地ニナツテ居ル所ノ話ヲシテ居ルト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、ソコデ農林省ノ御方針ガ、返還セラレマシタル土地ニ對シテ或ル點マデ今ノ御指導ニ依ツテ、實行組合ナリ、農會ナリニ委シテヤツテ行ケル所ハヤラセル、ソレ以上ノコトハ學校ノ生徒サンアタリニ依リ勤勞奉仕ニ依ツテヤラセル、ソレデモ仕方ナケレバ已ムヲ得ナイ、此ノ程度デアルノカ、私共ハ此ノ程度デアツテハ勿論ナラナイノデ、食糧増産ノ一環ガソコカラ破レテ來ルト云フコトニ對シテハ、飽マデモ農林省ハ左様ナ耕地ノ荒レタルモノヲ内地ノ美田ニ變ゼシムル、飽マデモソレヲ積極的ニ征服シナケレバナラスト云フ決意ニマデ行ツテ貫ハサケレバナラスト思フノデス、之ニ對シテ私共ハ昨年ノ實情カラシテ、多少疑念ナキヲ得ナイ者デアルノデアリマス、ト申シマスノハ昨年各地カラ出マシタ所ノ、是ハドウ云フ名目デアリマシタカ、二百人、三百人ト滿洲ヘ繰出シテ行ツテ食糧ヲ確保シテ來ル、新タナ土地ヲ拓イテ米ノバラ播キヤツツテ、又同時ニ畑作物ヲ作ツテ何百何十石ノ收穫

ガアツタト言ツテ内地ヘ歸ツテ來タ、斯ウ云フコトヲ私共耳ニシ、同時ニ新聞デモ見テ居ルノデアリマス、此ノ青年ハ各地カラ選拔セラレテ參ツタ、是ハ重政局長能ク御承知デアルト思ヒマスガ、サウ云フヤウニ滿洲ノ荒地ニマデ行ツテ、新タニ開墾シテ食糧ヲ確保シテ來ル、是ダケノ勞力ガアリマシタナラバ、帝都ノ周圍十里ノ中ニハ一村ニ於テ百町歩、五十町歩ト云フ返還セラレタ美田ガアル、此ノ美田ハ手ヲ盡シサヘスレバ七俵、八俵ハ穫レル、滿洲ニ行ツテ開墾ヲシテバラ播キヤツツテモ、三俵カ四俵シカ穫レナイ、サウ云フヤウニ昨年ハ足許ノ穴ヲ塞グト云フ政策ガナカウツノデアリマス、本年ハ斷ジテ左様ナコトノナイヤウニセラレルコトハ思ヒマスガ、今私ガ申上ゲマシタヤウニ斷ジテ左様ナコトノナイヤウニスルト云フ御意見デアリマセウカ、ソレトモ最後ハ學校ノ生徒ニ頼ンデ、出來ナカウツタラ昨年ト同ジヤウニナツテモ仕方ガナイト云フノデアリマセウカ

○重政政府委員 御承知ノ通りニ内原ノ食糧増産報國推進隊ノ訓練ヲ、年々一万五千名内外ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、昨年ハ其ノ中カラ慥カ内地ニ於テ嚮導隊ヲ二百名選拔致シマシテ、再教育ヲ致シタノデアリマス、滿洲ノ東寧農場ニ向ケマシタ者ガ約六百人、ソレガ内地ヘ歸リマシテ、其ノ中二百名デアリマシタカ、更ニ内地ノ二百名ノ嚮導隊ノ部隊ト合流致シマシテ、四百名ノ者ガ或ハ麥蒔ニ、或ハ開墾ニ、地方的ニ勞力ノ不足シテ居ルト云フヤウナ地方ニ廻リマシテ、非常ニ地元方面カラ好評ヲ博シタヤウナ實情デアルノデアリマス、是ハ四百名ノ者ガ働イテ、唯四百名ノ勞力ノ效果

ガアルダケデハナイノデアリマス、四百名ノ者ガ各小隊ニ分レテ、各府縣ニ勞力奉仕ニ出マス。ト云フ、兩三年内原ニ於テ訓練ヲ受ケマシタ所ノ數萬ノ者ガ、其ノ地方ニ居ル者ガ全部ソレヲ中心ニ致シテ更ニ勞力奉仕ヲヤル、是デハ其ノ地方ノ農家ヲ始メトシテ、自分等ガデットシテ居ル譯ニ行カヌト云フノデ、其ノ地方ニ「帶ガ百」パーセントニ其ノ勞力ヲ持出シテ來ル、斯ウ云フコトニナツテ非常ニ良好ナル結果ヲ得テ居ルコトハ、是ハ吉植サン御存知ノ通りデアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ私が申上ゲタイト思ヒマス。コトハ、サウ云フ數十町歩ノモノガ假ニアルト致シマスレバ、ソレ等ノコトハ能ク一ツ御連絡ヲ御取リヲ戴キマスレバ、此ノ嚮導隊ノ勞力ヲ其ノ方面ニ振向ケルコトモ出來ルト考ヘルノデアリマス。ルガ、唯問題ハ人ニ働カセテ自分ハ好イコトヲヤルト云フ考ヘデヤラレタノデハ、是ハ幾ラ勞力ヲ持ツテ行ツテモ足りナイ譯デアリマス、斯ウ云フ時代デアリマスカラ多少算盤上ハ他ノモノニ比ベテ旨ク行カナイト云フコトガアツテモ、是ハ食糧増産ノ此ノ時局下ニ於テ、極メテ重大デアルト云フコトヲ認識セラレテ、其ノ地方ノ人々ガ勞力ヲ提供セラレルト云フコトデナケレバイケナイト考ヘルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテハ、是ハ具體的ノ問題トシテ處理ヲ致サナケレバナラヌト考ヘルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ事柄ハ一ツ報國聯盟ナリ、或ハ吾々ノ處ニ具體的ニ御申出ヲ願ヒマスレバ、十分實體ヲ調ベマシテ善處致シタイト考ヘマス。

○吉植委員 今局長ノ御答辯ヲ伺ツテ、私ガ前回大臣ニ向ツテ地主ノ再教育ヲシナケ

レバイケマセヌデハアリマセヌカト申シタ實體ニ打突カツタヤウナ感ジヲ致シマシテ、私ノ所論ガ間違ツテ居ナカッタト云フコトヲ確メ得マシタ、兎角今マデ耕シタコトノナイ地主ガ土地返還ニ遇ツテ、他ヨリ應援ヲ求メテ一家族ヲ東ニテ之ヲ見テ居ラナケレバナラヌ、既足ニナツテ飛ビ出シタ所デ、素人デハドウニモナラヌト云フ現狀ニ今日ハモウ來テ居リマス、ソコデ是等一般地主ニ對シテ新ナナル認識ヲ持タセテ、サウシテ勤勞生活ニ入ラシメル、サウ云フヤウニシテ置イテ、ソレデ尙ホ土地返還ニ遇ツタ時ニハ、今御話ノ内原アツカリカラノ應援ヲ得テ、共ニ土ニ塗レテ働ク、斯ウ云フヤウニナラナイトドウモ面白クナイノデ、實ハ先達テ地主ニ對スル再教育ト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマシタ、ソレカラ今御話ヲ承ツテ居リマス中ニ感ジマシタコトガ一ツアリマス。ソデ申上ゲマスガ、是ハ實ハ大臣ニハ私的會見ノ際ニ申上ゲテ置キマシタガ、大臣ハ非常ニ共感セラレマシタ、ドウ云フコトカト申シマス。ト、昨年私ノ所デヤハリ百姓ヲ致シマシタガ、勞力ガ足りマセヌ、ソコデ國民學校生徒ト農學校生徒ニ應援ヲ求メマシテ農業ヲヤツタノデアリマス、田植ノ時ハヤハリ農會ト連絡ヲ執リマシテ、十分ノ應援ヲ戴キマシテ全部無事終了シマシタ、來ラレタ先生ニモ、除草期ニナツテモ是非一ツ應援ヲ御願ヒヲ致シタイ、斯ウ云フコトヲ御願ヒシマシタ所、承知シマシタト云フコトデアツタノデ、實ハ安心ヲシテ油斷ヲシマシテ、除草期ニナツテカラ御願ヒヲシタ所ガ、イヤ實ハ農會ノ方ト左様ナ連絡ガナイ、縣ノ方カラモ御話モナイシ、田植ノ時ハ農繁期デアルガ、除草期ハ農繁期ヲ外シ

テ居ルノデ、農繁期ノ田植期ニハ勤勞奉仕ニ出ルガ除草ニハ出ナイ、學校ハ學校ノ行事デ日取りガ一切決マツテ居ルカラ出ルコトガ出來ナイ、ソコデコチラハ慌デテ勞働力ヲ他ニ探シタノデアリマシタガ、一人ノ勞働力モ得ラレナイ、ソコデ總テ十日經チ二十日經チマシタ、其ノ中ニ一回モ除草スルコトガ出來ナイ田ガ三分ノ一、是ハ一回モ除草シナイデ到頭穗ガ出マシタ、總テ三分ノ一ガ一回ダケ除草出來マシタ、期間ガアリマシタカラ其ノ次ノ一回シタ、中稻ノ遅イ方ニナリマス。ト二回除草致シマシタ、サウシマシタ所ガ獲レタ結果ガ一回モ除草出來ナカッタ所ガ二倍少シ、其ノ次ガ四俵位デアリマシタ、其ノ次ガ良イノハ六俵獲レタノガアル、兎ニ角先ヅ二・三・五%ト云ツタヤウナ工合ノ獲レ方、是ハ私ノ所ハ二十町歩耕作致シマシテ左様ナ結果ニナリマシタ、恐ラク是ハ全國的ノ縮圖デハナカッタカト思ヒマスガ、昨年一回モ除草出來ナカッタ所ハ、同ジヤウニ二俵乃至三俵シカ獲レナイ、一回ヤツテ貰ツタ所ハ四俵乃至五俵、二回廻シタ所ハ五俵乃至六俵或ハ七俵獲レタ、斯ウ云フコトニナツテ居ルト私ハ思フ、所デ局長モ御承知ノ通り、昨年ハ人手不足ノ爲ニ今私が申上ゲマシタヤウナ所モアリ、田植ノ方ハ遅レテ居リマス、今日日本ノ田植ガ一週間乃至十日デヤツテ居ルノハ不合理デアリマス、人手不足ノ爲ニ二十五日乃至三十日デ田植ヲ終了致シテ居リマスガ、是ハ合理的田植ニナツテ居リマス。ト、田植ガ遅レタ爲ニ減收ト云フ虞ハナイニ拘ラズ、除草ノ方ハ十日目々々々ニスベキノ遅レテ二十日ニナリ三十日ニナツテ除草ヲシタ、又一回モ除草スルコトガ

出來ナカッタト云フコトニナルト、是ハ非常ニ減收ノ原因トナルト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フ工合デ一般ノ農家デモ案外ニ獲レナカッタト云フ所ト、獲レタト云フ所ガアリマス。トハ、斯ウ云フ所カラ私ハ來テ居ルト思ヒマス、又汽車ニ乗ツテ見マシテモ、到ル處ニ稗ガアルノガ目立チマシタ、本年ハ此ノ田カラ出マス所ノ草ヲ取ルノヲ完全ニスルカシナイカ、サウシテ一面又草ガ繁茂スルト云フコトト結合ハセマス。ト、此ノ除草ノ方ニ十分手ガ廻ル所ト廻リ兼ネル所トデハ、増産ノ上ニ非常ナル徑庭ヲ來スモノト私ハ思ヒマス、ソコデ本年ノ此ノ勤勞班ナリ、或ハ報國班ナリノ勞働力ヲ農村ニ出シテ戴クニシマシテモ、是等ノ點ヲ一ツ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ是ダケ御話シマスレバ賢明ナ局長デアリマス。カラ、モウ萬事御分リデアリマス。カラ、別ニ御返事ハ要リマセヌ、ドウカ何分此ノ點御留意ヲ御願ヒ致シタウゴザイマス。ソレデ今度ハ御返事ヲ戴キタイコトガゴザイマス、此ノ除草ガ容易ナコトデナイト云フコトハ、私モ昨年初メテ體驗シマシタ、ソレマデハ一回モ除草シナイ田ナント云フ事件ハ起キタコトハゴザイマセヌ、所ガ偶然左様ナ田ガ七町歩モ出來テ、今言ツタヤウナ結果ヲ來シタ譯デアリマス、ソコデ本年ハ私自分自ラモ勿論デアリマス。シ、村ニ行キマシテモ、或ハ地方ヘ行キマシテモ、ドウシテモ是ハ畜力除草ニ依ツテヤツテ行カネバナラスト云フコトヲ話シマス。ト、聽カレタ諸君モ私ト全部同感ヲ致シマシテ、成程畜力除草デヤツテ行ケバ一回苦勞シテ出來ル所ガ二回モ三回モ出來ル、畜力除草デ行カウト云フコトニナツタノデ

スガ、悲シイ哉此ノ農具ニ對スル鐵ノ配給ノ削減カラ致シマシテ、畜力除草ガ出來ナ
イト云フヤウナコトガ出來テ居リマス、是ハ局長ノ御耳ニモ入ツテ居ルト思ヒマスガ、斯ウナリマス
ト一面ハ勤務奉仕班ナリ、報國勞働隊ナリノ應援ヲ得ルニシテモ、日本全國津々浦々悉ク左様ナコトハ、念願ハ致シ
マシテモ實行ハ出來ナイト思ヒマス、殘ル所ハ畜力除草ニ依ツテ補ツテ行ク、補ツテ行ク
ト云フコトデゴザイマス、其ノ畜力除草ノ又ガ鐵ノ制限ノ爲ニ十分ニ來ナイト云フコトニナリ
マシタノデハ、是ハ如何トモ致シ方ナイト思ヒマス、之ニ對シテ一切ガ重點主義デゴザイ
マスカラ、斯様ナ意味ノ重點主義デ畜力除草機ノ又、之ヲ全國ノ要望ニ應ズルヤウニ御配
慮出來ナイモノデアリマセウカ、之ヲ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

○重政政府委員 農具ノ問題ニ付キマシテハ、前回下ナカラカ御質問ガアリマシテ私御答ヘテ致シタノデアリマスルガ、御承知ノヤウナ事情デアリマシテ、鐵鋼ハ軍需ノ方面ニ非常ニ必要ニナツテ居リマス、殊ニ造船其ノ他鐵鋼ヲ要スル部面ガ漸次多クナツテ參ツテ居リマスノデ、最モ必要デア
ル農具ノ方面ニ對シマシテモ、十分ナル鐵鋼ヲ供給致スコトハ、中々十八年度ノ物資動
員計畫ニ於テモ容易デナイト云フ風ナ考ヘガ致シテ居ルノデアリマスルガ、只今御述
ベニナリマシタヤウナ畜力除草ノ場合ニ於ケル鐵鋼ト云フヤウナモノハ、ソレ程大シ
テ要ルモノデハナイト考ヘラレルノデアリ
マスルカラ、是ハ出來得ル限り鐵鋼ヲ使ハ
ズニ木材其ノ他ヲ使ツテ戴クコトニ致シマ
シテ、ドウシテモ已ムヲ得ナイ双ノ部分ト

云フヤウナモノニ付キマシテハ、出來ルダ
ケ其ノ方面ニ供給ヲ致スヤウニ取計ラヒタ
イト考ヘマス、但シ是ハ各府縣ニ於カレテ
十分其ノ配當ノヤリ方ヲサウ云フ風ニヤツ
テ戴クコトガ、是亦必要ナコトデアリマス
ノデ、ソレ等ノ點ハ一ツ吾々ノ方デモ十分
ニ取計ラヒタイト考ヘマスルガ、千葉縣ニ
於カレテハ、吉植サシノヤウナ有力ナ方ガ、一
ツ縣ニ十分ニ御懇談ヲ願ヒタイト考ヘマス
○吉植委員 モウ一ツ御尋ネ致シタイノデ
アリマスガ、私ノ方ニハ今日東京ニ入り込
ンデ居ル行商人ガ澤山ゴザイマス、認可ヲ
得テ組合ヲ組織シテ、生鮮果物ヲ背負ツタ
行商人、此ノ外ニ今日ハ良家ノ子女ガ、綺
麗ナ着物ヲ着マシテ、サウシテ法令ニ觸レ
ナイ範圍ノ物ヲ持ツテ東京ニ盛シニ來テ賣
ツテ居リマス、ソレデ或ル人ガ私ノ所ヘ來
マシテ、ドウモ行商人ト外見ハ見エナイ所
ノ行商人、斯ウ云フモノガ殖エタ結果、私
ノ方デハ部落常會ヲ開クコトガ出來ナイコ
トニナツテシマツタ、又農會ヲ開クコトガ
出來ナクナツテシマツタ、全部朝カラ晩マ
デ其ノ方ニ狂奔シテ東京ヘ入ツテ行ク、斯
ウ云フ事情デアアルノデ、隨テ耕地返還ガ烈
シイ、斯ウ言ウテ私ノ所ヘ參リマシタ、何
カ之ニ付テ政府ノ方ニ一ツ對策ヲ講ジテ戴
クヤウニシテ貰ヒタイモノダト云ツテヤツ
テ參リマシタ、是ハ其ノ後私ガ調べマス、
印旛沼ヲ差挾ンダ東ノ方ノ町村、又西ノ方
ノ町村到ル所デ、何處ノ町村ヲ問ハズ、サ
ウ云フ傾向ガ多イノデアリマス、今日新聞
ヲ拜見シマス、買出部隊ヲ制限スルト云
フ新聞記事ハ見マシタガ、行商ニ對スル制
限ヲスルト云フ新聞記事ハアリマセヌ、買
出部隊ニ對スル制限ト同時ニ、是等ニ對シ

テ何カ政府トシテ實情ヲ能ク調査ヲセラレ
テ、其ノ町村ニ於テ食糧増産ニ大ナル支障
ヲ來スト云フ實情ガ御分リニナリマシタナ
ラバ、増産ヲ妨ゲナイ限度マデハ宜シイガ、
ソレ以上ハイケナイト云ツタヤウナ取締ナ
リ何ナリガ出來ナイモノデアリマセウカ、
此ノ點ヲ一ツ御伺ヒ致シマス
○重政政府委員 一應只今ノヤウナ場合ニ
於キマシテハ、警察ノ取締ニ依リマシテ行
商關係ハ取締ラレテ居ルノデアリマス、ソ
レヲ警察ノ許可ヲ得ズニ帝都ニ搬入致シテ
賣買ヲシテ居ルト云フヤウナ事例ガ多クア
ルト云フ御話デアリマスガ、ソレ等ハ能ク
一ツ縣ノ方ト相談ヲ致シマシテ、取締ノ強
化ヲ致スヤウニ話ヲシテ見ルコトニ致シマ
ス
○吉植委員 是デ終リマスガ、實ハ警察ノ
方ノ取締ガ及バナイ、警察其ノ他ノ取締ガ及
ビマスモノハ成常行商組合ト云フモノガ出來
テ居リマシテ、サウシテ其ノ取締範圍ノモノ
ヲ持ツテ東京ニ來ル、其ノ以外ノモノハ慥カ
千葉縣アタリノ規則ニ依リマス、生鮮果
物四貫目限度ハ持ツテ行ツテ宜シイ、ソコ
デ其ノ四貫目ノモノヲ持ツテ汽車ヤ電車ニ
乗ル、但シ是ハ東京ニ入ツテハイケナイ、
ソレデアリマスカラ江戸川ト東京トノ境ノ
所デ之ヲ點檢シテ、一々下スト云フコトニ
ナレバ宜シイノデアリマセウケレドモ、ソ
レ程ニ警察ノ方ニモ餘力ハナイノデアリマ
ス、ソコデ之ヲ下ゲテ東京府ニ入ツテ來ル
ト云フコトニナツテ居リマス、ソレデモ是
ハ何處カラモ抑ヘルコトハ出來ナイ、ソコデ
今申シタヤウニ農村カラ舉ツテ出テ來ルト
云フヤウナ工合ニナツテ居ル譯デアリマス、
ドウカ此ノ點何分ノ御配慮ヲ御願ヒ致シマ
ス
○重政政府委員 御話ヲ承ツテ見マス、
警察ノ取締モサウ云フ點ハ中々難カシイヤ
ウデアリマスガ、更ニ一ツ能ク研究シマシ
テ善處致シマス
○吉植委員 是デ私ノ質問ヲ終リマス
○東郷委員長 ソレデハ次ニ加藤知正君、
留保サレタ問題ニ付テ極メテ簡單ニ御質問
下サイ
○加藤(知)委員 ソレデハ極メテ簡單ニ致
シマス、第一ニ御伺ヒシタイノハ農業團體
ニ統合サレタ農會ナリ、養蠶組合ナリ、畜
產組合ナリ、茶葉組合ナリハ如何ナル名稱
又バ組織ヲ以テ表ハサレルノデアルカ、例
ヘバ中央農業會農會部門トカ、中央農業會
養蠶部門トカ云フヤウナ名稱ガ附イテ、現
在ノ全國養蠶業組合聯合會ト云フ名稱ガ統
合ト共ニ消エ失セ、中央農業會養蠶部門ト
云フ名稱ニ變ルダケデアツテ、其ノ組織ハ
現在ノ組織ヲ其ノ儘移シタダケデ、從來ノ
モノト變リハナイノデアリマス、之ヲ一
ツ御伺ヒシタイト思ヒマス
○重政政府委員 私共現在考ヘテ居リマス
コトハ、サウ云フモノハ農業會ノ一ツノ部
ヲ作ツテヤリタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、
唯只今御念ヲ押サレテ居リマスヤウニ、全
然今ト寸分違ハスコトニナルカドウカト云
フコトハ、一寸是ハハツキリシタコトハ申
上ゲラレスト思フノデアリマス、愈々團體ヲ
結成致シマシテ、其ノ上デ色々團體ノ當
事者ガ決マツテ、ソコデ又斯ウシタ方ガ宜シ
イト云フヤウナ御意見モアラウト思フノデ
アリマシテ、ソレ等ハ差支ヘガナイ限りハ、
是ハ私共ト致シマシテハ出來ルダケ團體ノ
御意向ニ從ツテ參リタイ、斯ウ云フ考ヘラ

持ツテ居リマスカラ、全然現在ノモノヲ唯其ノ儘持ツテ來テ、上ヘソレコソ中央農業會ト云フ看板ヲ上ゲタダゲダト云フコトハ、サウ云フ意味ニ於テハ中々其ノ通りデアリマストハ申上ゲラレスト思フノデアリマスガ、大體ニ於キマシテハソレノ部ヲ作ツテ參リタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○加藤(知)委員 只今ノ御答辯ニ依レバ部ヲ作ツテヤリタイト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ルト仰シヤル、假ニ其ノ部ヲ作ツタトシマスレバ、養蠶部門トカ、或ハ茶葉部門トカ、畜産部門ト云フコトニナルガラウト思ヒマスガ、其ノ部門ノ働キデアリマス、單ニ指導ト云フ建前デ働クバカリデアツテ、政府ノ諮問ニ答ヘルトカ、或ハ政治的ノ働キヲスルトカ云フコトヲ、其ノ部門ニ於テヤラセルヤウナ御考ヘデアルカドウカ、之ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○重政政府委員 勿論政府ノ諮問ニ對シマシテハ、必要ニ應ジマシテハ其ノ部ノ御意見ヲ伺フコトモアラウト思ヒマスガ、中央農業會ニ對シテ、重要ナ政府ノ施策ニ對シマシテハ、出來ルダケ御意見ヲ聽イテヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ運用方針ヲ大體持ツテ居ル譯デアリマス、唯政治的ノ活動ト云フコトニナリマス、是ハドウモ本質的ニヤツテ宜シイノダト云フコトハ一寸申上ゲ兼ねマス

○東郷委員長 加藤君ニ一寸御諮リシマシマスガ、吉植君ガ厚生省ノ政府委員ヲ要求シテ居ラレテ見エナイモノダカラ、一應打切ツテアナタニシタノデスガ、厚生省ノ政府委員ガ他ニ用事ガアツテ急ガレルヤウデスカラ……○加藤(知)委員 成ベク簡單ニ致シマス、

第三番目ニ御尋ね申上ゲタイと思フノハ、農業團體ニ全國養蠶業組合ガ統合サレタ結果、日本中央蠶絲會ハ恰モ齒ノ拔ケタヤウナ形ニナルガ、日本中央蠶絲會ハ現在ノ儘デ繼續サセテ置カレルノデアルカ、ソレトモ之ヲ解散シテ、別ニ蠶絲業ニ關スル諮問機關ノヤウナモノヲ設ケラレル御考ヘデアルカドウカ、ソレカラモウ一ツ第四番目ニ御伺ヒシタイノハ、農業團體統合ノ結果、養蠶實行組合ハ遊離狀態トナルノデアルガ、之ヲ郡部トカ府縣ニ結成セシメテ、獨自ノ働キヲナサシムルト云フヤウナ御考ヘハナイノデアルカ、ソレトモ現在ノ儘放任シテ置カレルノデアルカ、是ダケ御尋ねシテ置キマス

○重政政府委員 大體ニ於キマシテハ日本中央蠶絲會ハ、全國養蠶業組合聯合會ヲ抜イタ儘ニナル譯デアリマスルガ、唯中央農業會ト日本蠶絲會トノ間ノ連絡ヲドウ云フ風ニヤルカト云フコトニ付キマシテハ、目下當局ニ於テ研究ヲ致シテ居リマス、農業團體法案ニ於キマシテハ、是ハ中央農業會ハ日本蠶絲會ノ會員ニナルコトガ出來ルト云フ途ヲ一應此ノ法案ニ開イテ居リマスガ、是ハ如何ナル形式デ其ノ連繫ヲ取ツタガ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、現在蠶絲局ノ方面デ檢討致シテ居リマス、ソレカラ第二ノ御質問ノ養蠶實行組合ハ、御承知ノ通り現行法ニ於キマシテハソレハ養蠶業組合ニナツテ居リマス、是ガ農業團體ニ統合サレル譯デアリマスノデ、養蠶實行組合ハ其ノ儘殘ル、サウシテ實際上經濟的ノ働キヲ地方農業會ト連繫ヲ取ツテヤル、ソレカラ又農業統制ニ關係致シマス養蠶組合ノ統制事業ト云フヤウナモノモ、是ハ地方

農業會ト連繫ヲ取ツテ、實際的ニ現在ヤツテ居ルヤウニ行ツテ行ク、斯ウ云フコトニ考ヘマス

○東郷委員長 吉植君——厚生省ノ政府委員ハ餘リ時間ガナイサウデスシ、アナタノ次ニ山口君モ一寸質問ガアルサウデスカラ、其ノ御積リデ……

○吉植委員 厚生省ノ方ニ御伺ヒシタイノデスガ、農村ニ於テ勞働力ガ今涸渴シテ居リマスノデ、厚生省ノ御心配、文部省ノ御心配ニ依ツテ、學生其ノ他ガ農村ニ動員サレテ來ラレルヤウナ仕組ニナルト思ヒマス、一體厚生省所管ニ於テハ、ドノ位ノ人ガドウ云フ方法デ來ラレルヤウニナツテ居リマスカ、承リタイト思ヒマス

○持永政府委員 農村ニ對シマスル學生等ノ勤勞報國隊ノコトノ御質疑ダト思ヒマスガ、今此處ニ學生ダケノ分ヲ覺エテ居リマセヌガ、全體トシマシテ一昨年ノ十二月勤勞報國協力令ガ實施サレマシテ以來、實際勅令ガ動キマシタノハ、昨年初メト御承知願ヒタイノデアリマスガ、一箇年デ約八百万人以上延人員ニシテ出テ居リマス、其ノ中農村ニ幾ラト云フコトハ記憶致シマセヌガ、相當多數ノ人ガ勤勞報國協力令ニ依ツテ出テ居ルト云フコトガ御分リカト思ヒマス、ソレカラ尙ホ此ノ勤勞報國隊ハ御承知ノヤウニ耕作ヲシテ居リマス、農村ノ農閑期ニ於キマシテハ、農村カラ工場、鑛山ニ出テ貰フ、逆ニ今度ハ農村ガ農閑期ノ際ニハ、工場、鑛山ノ者或ハ徵用勞務者ニシマシテモ、工場ハ特ニ一週間位歸ス、ソレカラ其ノ他ノモノニ致シマシテモ歸ス、又學生生徒ガ隊ヲ組ンデ農村ノ方ニ行クト云フヤウナコトヲ、兩方交錯シテ居ル譯デアリ

マス、サウシマシテ出來ルダケ勞務ガ有效ニ働クヤウニ、厚生省トシマシテハ努力致シテ居リマスガ、今後ニ於キマシテモ相當努力ヲ致シタイ、ソレカラ國民動員計畫ニ於キマシテモ、勤勞報國隊ノ供出ト云フコトハ、臨時要員トシテ相當多數ノ人ガ見込ンデゴザイマス、此ノ方ニ付キマシテハ一層努力ヲ致シテ行キタイト存ジテ居リマス

○吉植委員 所デ一ツ御尋ね致シタイノハ、徵用令ガ、農業ヲ營ンデ居リマス者ハ——是ハマア普通農村ヲ離レルコトガ出來ル者ハ三反歩未滿ノ耕地ヲ耕シテ居ル人デ、是ハ農村ヲ離レルコトガ出來ルノデアリマスガ、ソレ以上ノ者ハ農村ヲ離レルコトハ出來ナイコトニナツテ居リマスガ、一町歩或ハ二町歩ヲ耕シテ居ル者ニ徵用令ガ參リマシテ、其ノ主人ガ徵用ニ依ツテ他ニ行ク爲ニ、其ノ自分ノ自作田畑ヲ耕スコトガ出來ナクナツタト云フ實例ガゴザイマス、又二町、三町ヲ耕シテ居ル地主ノ家ニ傭ハレテ居リマスル傭人ニ徵用令ガ來ル、サウスルト丁度齒ノ拔ケタヤウナ工合デアリマシテ、此ノ一人ノ若者ガ徵用サレタ爲ニ、農業ガ不如意ニナツテ減收ニナツテ居ルト云フ實情モゴザイマス、是ハ此ノ間農林省ノ方ニハ此ノコトニ付テ御願ヒ致シテ置キマシタ、斯ウ云フコトハアナタ方ノ方デハ左様ナコトハナイ筈ダト仰シヤルノデゴザイマスケレドモ、ナイ筈ノコトガ行ハレテ居リマスカラ、ドウ云フ所カラサウ云フコトガ行ハレルヤウニナツテ居ルモノデアリマセウカ、是等ノコトニ付テ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○持永政府委員 御話ノヤウニ徵用令ノ實施ニ付キマシテハ、農業生産統制令ニ於テ

制限ガゴザイマシテ、厚生省トシマシテモ其ノ制限ニ付キマシテハ嚴重ニ守ルヤウナ方針デゴザイマス、只今具體的ノ事例デ御話ガアツタノデアリマスガ、ドウ云フ事情デサウ云フ場合アツタノカ私モ能ク分リマセヌケレドモ、大體サウ云フコトハナイヤウナ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、或ハ本人ノ希望ニ依リマスカ、又農會長ガ承認サレマシタノカ、恐ラクサウ云フコトモナカラウカト思ヒマスケレドモ、具體的ニ事實ヲ調べテ見ナケレバ分ラヌト思ヒマスガ、私共ノ方針トシマシテハ、勿論一町トカ二町ト云フ耕作ヲシテ居ラレル主人トカ傭人ニ付キマシテハ、是ハ徵用シナイト云フ方針デゴザイマスカラ、或ハ趣旨ノ不徹底ノ爲ニサウ云フ間違ツタコトガアツタカトモ想像サレマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ今後直シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○吉植委員 私モ當然左様ナコトハアリ得ベカラザルコトト思ツテ居リマシタガ、過般本委員會ニ於テ同僚ノ委員カラモ左様ナ實例ガアツタト云ツテ、農林省ニ質問ニナツテ居ル、是ハドノ縣カ縣ハ忘レマシタガ、兎ニ角千葉カラ相當離レタ縣ノ實例デアツタ、私ノ隣村ニモ二、三町ヲ耕シテ居ル者ガ、村長サンノ機嫌ヲ損ジテ徵用令ヲ叩キ付ケラレテハ困ル、ソレデ思フコトモ言ヘナイデ困ツテ居ルト云フ話ガアツテ、一體ドウシタモノデアラウト相談ニ來タ、ソレカラ先刻申シタヤウニ、徵用令ノ範圍ガ、君ノヤウニ二町モ三町モヤツテ居ル人ハ、假令ドノヤウナコトガアツテモ徵用令ハ來ナイ、日本ノ食糧増産ヲ根本カラ破壊スルコトニナルカラ、左様ナコトハナイノダト言ツテヤ

ツタガ、私ノ部落ニソレガアツタノデ、ドウモ心配ダカラ聴キニ來タノダ、斯ウ云フ譯デアリマシタ、是ハ架空ノ話デヤナイ、斯様ナ不思議ナコトガ行ハレテ居リマス、ドウカ一ツ此ノコトニ付テ十分ノ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス、是レ以上申上ゲマスコトハ餘計ナコトニナリマスガ今日農村ハ勞力枯渴ノ爲ニ、食糧増産ヲ蝕ム現象ガ到ル所ニ起ツテ居ルノデアリマス、特ニ耕作ヲ知ラナイ地主ガ澤山居リマス、此ノ耕作ヲ知ラナイ地主ガ先ヅ眞先ニ土地返還ヲ食ヒマシテ、其ノ人達ガドウニモ致シ方ナクテ、返還サレマシタ田畑ヲ草薙々ト生ヤシテ居ルト云フノガ到ル所ニアル、是ガ食糧増産ヲ基盤ノ目ノヤウニ蝕シテ居ル現状デアリマス、之ヲ防グニハ今御話ノアリマシタ八百萬人、昨年オヤリニナツタト云フノデスガ、本年ハ更ニ之ヲ増シテ戴ク、其ノ中デモ特ニ農村ノ方ニ増シテ戴ク、サウセネバドウシテモ農村トシテハ食糧増産ノ重責ヲ完遂スルコトガ難カシクナル、斯ウ思ツテ居リマス、サウ云フ際ニ今言ツタヤウニ、一町モ二町モ耕シテ居ル者、竝ニ其ノ傭人ガ徵用令ニ依ツテ持ツテ行カレル、斯ウ云フコトニナリマスルト云フト、是ガ農村ノ熱意ヲ削グコトガ大キイノデアリマス、十分一ツ御留意ヲ願ヒタイノデアリマス

其ノ上ニモウ一ツ最後ニ御聽キシタイノハ、農業ノ方ニ何カ外ノ例ハバ東京ニ居リマシテ遊ンデ居ル、或ハ地方小都市ニ於テ遊ンデ居ル人、サウ云フ人ニ徵用令ヲ課シテ、農村ニ持ツテ來テ、農業勞働ヲセシムルト云フヤウナ途ハナイノデアリマセウカ、アルトスレバ今日マデ左様ナ者ガドノ位徵

用サレテ農村ニ動員サレマシタカ、ソレヲ承リタイト思フ

○持永政府委員 現在ノ徵用令ノ規定ニ依リマス、都會等ニ居リマス人ヲ農村ニ徵用シテ、農村ノ事務ニ當ラセルト云フコトハ現在ゴザイマセヌ、御承知ノヤウニ現在ノ徵用令ニ依リマス、工場ダケニナツテ居リマス、而モ管理工場、主トシテ陸海軍ノ管理工場、勿論陸海軍ノ直接ノ工場、海軍工廠、陸軍兵器廠ト云フモノハ入リマス、其ノ外ニハ陸海軍ノ管理シテ居ラレル工場、ソレモ全部デハゴザイマセヌ、陸海軍ノ管理工場ノ中デ約半分デゴザイマスガ、サウ云フモノニ對シテノミ嚴選ヲシマシテ、特ニ生産品ガ軍需品ナドト云フヤウナ大事ナ工場ハ、又其處ニ徵用シテ勞務者ヲ連レテ來マシテモ勞務管理ガ適正デアル、大丈夫ヤレルト云フヤウナ工場即チ事業ノ性質トカ、或ハ工場ノヤリ方ナシカラ能ク調べタ上デ、嚴選シテ實ハ徵用工場トシテソコニ徵用シタ人ヲ入レテ居ルト云フノガ今日ノ原則デゴザイマス、農村ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、徵用シテ勞務充足ヲヤルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、先程申上ゲマシタヤウニ出來得ル限り農村ト工場、事業場トノ勞務ノ調整ヲ圖ルト云フコトニ力ヲ盡シマシテ、是ハ陸海軍ノ工廠ニ於キマシテモ、農繁期ニハ農村ニ成ベク歸シテ貰フ、又厚生省關係ノ徵用工場其ノ他ノ事業場ニ於キマシテモ、出來ルダケ一ツ農繁期ニハ農村ニ歸シテ貰フ、ソレカラ學生生徒ノ報國隊モ出來ルダケ送ルト云フヤウニシマシテ、現在デハ徵用令ニ依ラズニ、主トシテ勤勞報國協力令ニ依ツテ農村ニ對シマシテハ、積極的ニ勞力ノ充足ヲ

圖ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○吉植委員 成程協力令デスカ、ソレニ依ツテ行キマス、徵用令デ致スヨリモ效果ガ舉ルト思ヒマス、何分一ツ此ノ點ノ強化ヲ御願ヒ致シマス、實ハ御承知デモゴザイマセウガ、農村ニ於テハ軍ニ於ケル武器デアリマス所ノ農機具ノ如キデサヘ、ヤハリ鐵其ノ他ノ資材ノ制限ヲ受ケマシテ十分手ニ入レルコトガ出來マセヌ、十分ナル武器ヲ持タズシテ而シテ大増産ヲシヨウ、斯ウ云フ重キ任務ヲ帶ビテ營々トシテ努力致シテ居リマス、ドウカ厚生省ニ於ケレマシテモ、其ノ分ヲ協力令ニ依リ動員ニ依ツテ埋メテ下サイマスヤウニ切ニ御願ヒ致シマス

○高田委員 一寸關聯シテ——吉植君ノ質疑ニ對シテ、厚生省ノ政府委員ガ、ソシナ間違ツタコトハナイト云フヤウナ話デスガ、實際ハ大分アルヤウデス、但シ私何レモ名前ハ申上ゲマセヌガ、若シアツタ場合ニハ、ソレハ取消シマスカ、職業指導所ガ間違ツテ徵用スベカラザル者ヲ徵用シタ場合ニ於テ、ソレガハツキリスレバ徵用ヲ取消シマスカ、ドウモアルラシイノデス

○持永政府委員 今具體的ノ事例ヲ御持チノヤウデゴザイマスガ、能ク調べマシテ、徵用令ノ規定ニ反スルト云フコトガ明白ニナリマシタナラバ、是ハ解除セザルヲ得ナイカト存ジマス

○北勝委員 私モ關聯シテ——農閑期ニ農業者ヲ炭坑ノ方ニ吾々ノ所デハ大分ヤラレテ居リマス、是ハ田畑ヲナンボ作ツテ居ル人デモヤラレテ居ル、恐ラク今ノ勤勞協力令ガラウト思ヒマス、ソレガ八十日間ト云フ長イ期間デアリマス爲ニ、如何ニ北海道

ノヤウナ冬季ノ長イ所ト雖モ、夏ノ準備ニ非常ニ差支ヘル、向フノ方ノ希望ト致シマシテハ、同ジモノナラ是非四十日ヅツ二回ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ持つテ居ルノデスガ、是何カ職業指導所長ノ權限デヤツテ居ラレルノダサウデアリマシテ、其ノ八十日ヲ二回ニシテ努力ノ上ニハ何等影響ガナイヤウニシテヤルト云フコトガ、ドウモ希望ガ達セラレヌヤウデス、是ハドウ云フ事情ニナツテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ツテ見タイと思ヒマス

○持永政府委員 農村カラ農閑期ニ北海道其ノ他ノ鑛山方面ニ送りマス勞務ニ付キマシテハ、二ツノ方法ガゴザイマス、一ツハ先程カラ申上ゲマシタ勤勞報國協力令ト云フ制度ニ依ル充足ノ方法、モウ一ツハ所謂季節勞務ト申シマシテ、是ハ從來カラ日本ニアツタノデアリマスガ、例ヘバ四國地方ノ農村ノ人達ガ閑ナ時分ニ福岡地方ノ鑛山ニ行キマス、是ハ昔カラアツタ制度デゴザイマス、是ハ所謂勅令ニ依ラズニ、從來ノ姿ヲ其ノ儘活カシマシテ、季節勞務ノ制度トシテ今日相當應援ヲ願ツテ居ル譯デアリマス、只今御話ノ點ハ、多分後ノ方ノ問題ダト思ヒマス、勤勞協同報國令ニ依リマスト、大體三十日ヲ原則ト致シテ居リマスガ、延バシマシテモ四十日デゴザイマスカラ、非常ニ短期間デゴザイマシテ、八十日ト云フノハ多分季節勞務トシテノ充足ノ場合ダト存ジマス、是ハ實ハ厚生省ト致シマシテハ何日ニシロト云フノハゴザイマセヌガ、地方ノ出ル方、又受ケル方ノ兩方ノ話合ニ依ツテ、適當ナル期間ニ決メタラドウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、多分ソレハ二回ニナリマス、受ケル方デ人ガ替ルト旅費

ガ餘計ニ要ルト云フヤウナコトデ、成ベク一回ニシテ貰ヒタイト云フコトデハナイカト存ジマスケレドモ、其ノ方ガ適當デゴザイマシタナラバ、具體的ニドウ云フ地方カ、北海道ノコトカ知リマセヌガ、御伺ヒ致シマシテ、研究シテ、二回ニシタ方ガ適當ト云フナラバ、變ヘテモ宜シイト思ヒマス

○東郷委員長 山口左右平君

○山口(左)委員 私ハ極メテ事務的ナ御質問ヲ申上ゲタイと思ヒマス、今回統合ノ對象ニナツテ居リマス團體、例ヘバ農業生産ノ指導統制ト云フコトヲヤツテ居リマス農會デアリマストカ、或ハ又農産物ノ集荷或ハ出荷等ヲ致シテ居リマス産業組合、或ハ又漁業組合ト云フヤウナ團體ハ、勞務調整令ノ御扱ヒノ場合ニ、第七條ノ第二號ノ指定者ニナツテ居リマセウカ、此ノ點ヲハツキリ御知ラセテ願ヒタイ

○持永政府委員 只今ノ御質問ノ勞務調整令第七條ニ依ル指定デゴザイマスガ、是ハ法令ニ依ツテ物資ノ配給ヲシテ居ル團體等ハ入ツテ居リマスガ、然ラザルモノハ入ツテ居ナイノデゴザイマス

○山口(左)委員 同條ノ指定者ト云フ中ニ、特別ノ法律又ハ勅令ニ依リ設置セラレタル團體ト云フノガゴザイマスガ、今申上ゲマシタ團體ハ何レモ特別ノ法令ニ依ツテ居ルノデゴザイマスカ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマセウカ

○持永政府委員 是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、法令ニ依ツテ出來タ團體デモ、其ノ實施スル事業ノ如何ニ依ツテ區別スル譯デゴザイマス

○山口(左)委員 今回出來マス團體ハ非常ニ公益的ナ性質ヲ持つテ居リマス、ソレカラ又生産並ニ生産ニ關聯シマス資材ノ配給デアリマストカ、集荷デアリマストカ、出荷等ヲ行フコトガ其ノ本分ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハヤハリ指定者トシテ御扱ヒ下サイマスカ

○持永政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ此ノ團體ガ出來マス際ニ研究致シタイと思ヒマス

○山口(左)委員 又元ヘ戻ルヤウデアリマスガ、現在アリマス團體モ、場合ニ依リマスト特別ノ法律又ハ勅令ニ依リ設置セラレタル團體トシテ扱ハレテ居ルヤウデモアル譯デス、又サウデナイヤウナ場合モアルヤウデアリマス、實情ヲ申シマスト一例ヲ産業組合ニ取ツテ見マスレバ、現在産業組合ハ食糧管理令等ニ依リマシテ、現實ニ農業生産物ノ集荷デアリマストカ、米ノ供出デアリマストカ、或ハ保管デアリマストカ、ソレカラ又必需蔬菜ノ配給等ヲ致シテ居ルノデアリマス、所ガ是ガ地方々々ニ依リマシテ、非常ニ少イ地方ダト私ハ思ツテ居リマスガ、此ノ指定サレタ團體ノ中ニ考ヘラ

○持永政府委員 從來ハ産業組合等デ指定サレテナカツタモノモゴザイマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ先程申上ゲタコトニ依ツテ御分リト思ヒマスガ、今度ハ特別ノ法律ニ依ツテ設立サレル團體デアリマシテ、厚生省トシマシテハ出來ル限り考慮シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

レナイ爲ニ、職員ガ新シク採用出來マセヌノデ、非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、現實ニ産業組合ノヤツテ居リマス是等ノ仕事ハ、業者ガ致シマス場合ニハ何レモ此ノ中ニ指定サレテ居ルノデアリマス、例ヘバ信用事業ニ致シマシテモ、信託事業デアリマストカ、銀行業ト云フヤウナモノハ、何レモ指定シタ業態ニナツテ居ルノデアリマスカ、産業組合ハ是等ニ比較シマシテ、私共ノ考ヘニ依レバ少シ手前味噌カモ知レマセヌガ、聊カモ其ノ職能トシテ劣ツテ居ラナイト思フノデアリマス、然ルニ御取扱上非常ニ少イ例ニ致シマシテモ、サウ云フコト

○山口(左)委員 今回出來マス團體ハ非常ニ公益的ナ性質ヲ持つテ居リマス、ソレカラ又生産並ニ生産ニ關聯シマス資材ノ配給デアリマストカ、集荷デアリマストカ、出荷等ヲ行フコトガ其ノ本分ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハヤハリ指定者トシテ御扱ヒ下サイマスカ

○持永政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ此ノ團體ガ出來マス際ニ研究致シタイと思ヒマス

ゾサウ云フ點ニ御考慮ヲ拂ハレテ、一日モ早く現在ノ團體モ此ノ指定サレタモノノ中ニ御加ヘ下サルヤウニ希望ヲ致シマス、其ノコトニ付テサウ云フ風ニ御考ヘテ願ヘマセウカ、如何デアリマセウカ

○持永政府委員 實ハ第七條ノ指定ニ付キマシテ相當重大ナ拘束ヲ與ヘル結果ニナリマスノデ、厚生省トシマシテハヤハリ出來得ルダケ重點主義ニヤツテ行キタイト思ヒマス、同ジ事業ニ於キマシテモ、其ノ重要性或ハ又規模ト云フヤウナモノヲ考ヘマシテ、指定シタリ指定シナカッタリシテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、只今御話ノ產業組合ニ付キマシテハ、之ヲ今直チニ全般的ニ此ノ指定ノ中ニ入レルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、此處デ指定スルト云フコトマデハ言ヒ得ナイ狀況デアリマス、御希望ノ點ハ十分ニ今後御意思ヲ付度シテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○山口(左)委員 其ノ點ハ大變有難イ御答辯ヲ戴キマシタノデ、私モサウ云フ心組デ其ノ實效ノ現ハレマスコトヲ御待チ致シマスソレカラ先程御話ノアリマシタ徵用ニ關スル團體長ノ權限ノ問題デアリマスガ、實際農村ニ參リマストサウ云フ事例ハ非常ニ澤山ゴザイマス、私ノ村ノ中ニモ斯ウ云フ事例ハ澤山持ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ實際手續上ハ職業指導所ノ落度デモ何デモナイ、世間デ言ハレマス擬似徵用ト云フヤウナ形デ行ハレテ居ルヤウデアリマスガ實際農民ニ於テハ是ハ全クノ徵用ト同ジヤウナ感ジテ受取ラレテ居ルノデアリマス、ソコデ現實ノ農家ニ於テハ、老人ト女子供ガ殘ッテ居ル譯デアリマスガ、若イ者ガ取ラレタ後、老人ト女子子供デモ百姓ハ續

ケテ行ケルト云フヤウニ或ハ御考ヘニナルカモ知レマセヌガ、是ハ勞働ノ質ガ違フノデアリマス、例ヘバ私ノ村ハ山村掛ツタ所デアリマスガ、秋ニ畑ヲ耕スト云フヤウナ力ノ要ル仕事デアルトカ、牛馬ヲ引張ル仕事デアルトカ、或ハ山林ニ入ツテ伐木ヲ致スト云フヤウナ勞働ハ、是ハ若イ者デナクテハ出來ナイノデアリマス、非常ニ輕勞働シカ致シテ居ラナイ老人ヤ女子子供デハ、サウ云フ性質ノ勞働ガ幾ラアツテモ、農家ノ經營ハ縮小シナイ譯ニハ行カヌノデアリマス、サウ云フ關係デ現實ニ於テハ非常ニ此ノ徵用ガ生産上ノ大キナ支障ニナツテ居ルノデアリマス、併シ大部分ノ農村ノ人達ハソレデモ仕方ガナイト思ツテ、泣寝入りニ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點モ能ク御考慮下サイマシテ、決シテ手續上ノ誤リデアルトハ私存ジマセヌケレドモ、御指導ノ上ニ特別ノ御注意ヲ願ヒタイ、私ノ質問ハ以上デアリマス

○持永政府委員 先程吉植サン又只今ノ御意見デアリマスガ、全然同感デゴザイマス、厚生省トシマシテハ非常ニ軍需品ノ生産等ニ對スル勞務充足ヲシナケレバナラヌト云フ立場ニアリマスノデ、非常ニ難カシイ立場ニゴザイマス、ソレカト云ツテ只今御話ノアリマシタヤウニ、農村ノ事情ヲ知ラズニ無理ニ農村カラ人ヲ取ルト云フヤウナコトヲ實ハシタクナイノデアリマス、農村ノ殊ニ食糧ノ生産ニ付キマシテハ、此ノ際出來ダケヤツテ貰ハナケレバナラヌ、私モ田舎ノ出身デアリマシテ、サウ云フ點ニ付キマシテハ能ク農村ノ實情ヲ知ツテ居リマス、唯厚生省ト致シマシテハ、工業ノ勞務者ト農村ノ勞務者ノ調整ヲスルト云フコトハ中

中難カシイ仕事デアリマシテ、非常ニ苦心ヲ致シテ居リマスガ、兩方皆イ工合ニ行クヤウニ實ハ日夜苦心ヲ致シテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ徵用ニ付キマシテモ、今御話ガアリマシタヤウニ擬似徵用ト云フヤウナコトノナイヤウニ、若シサウ云フコトガアリマシタナラバ吾々トシテモ注意ヲシテ止メサセタイ、一昨年頃デアリマシタカ、一時擬似徵用ト云フコトガアツタノデアリマスガ、最近ハ殆ド其ノ聲ヲ實ハ聞イテ居リマセヌ、只今聞キマシテ非常ニ遺憾ニ存ジマスガ、今後ハサウ云フコトガナイヤウニ十分ニ注意シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○東郷委員長 池田正之輔君

○池田(正)委員 池田正之輔君 疑シタイト思ヒマス、先ツ第一ニ幸ヒ持永局長ガ見エマスカラ、厚生省ニ關スルコトヲ一點伺ヒタイ、只今農業勞務者ト工業勞務者トノ調整ニ關シテ、局長ハ非常ニ心配シテ居ラレト云フ御話デアリマシタガ、サモアリナント思ヒマス、ソゴデ私ハ農業勞働者ノ問題ハ極メテ重大デアリマスガ、是ハ例ヘバ滿洲移民ヲ今日ヤツテ居ル、工場ニモ送ラナケレバナラヌ、軍隊ニモヤラナケレバナラヌ、ソレト睨合ハセテ更ニ地方小都市ノ轉廢業者ノ問題、或ハ農村ノ機械化ニ依ル勞力ノ節約ト言ヒマスガ、サウ云フ全體のナ構想ノ下ニ立ツテ、現在農村ノ勞力ガ二十「パーセント」減ツテ居ルカ、三十「パーセント」減ツテ居ルカ知リマセヌガ、最悪ノ場合ニハ假令半分ニナツタラドウスルカト云フ風ニ、其ノ時「ニ全體ヲ睨合ハセテ」一ツノ構想ガ出來テ居ルカドウカ、是ハ恐ラク今日ノ厚生省ノアナタ方ノ

手ニハマダソコマデ行ツテ居ナイノデヤナイカト云フ感ジヲ私持ツノデスガ、是ハ無理カモ知レマセヌケレドモ、非常ニ材料モ色々ナ角度カラ集メナケレバナラヌマセヌシ、色々ナ點カラ研究シナケレバナラヌカヲ難カシイコトダト思ヒマスケレドモ、是ハ極メテ重要ナ問題デアリマスカラ、今マダ出來テ居ナイトスレバ、是ハ當然オヤリニナツテ置イテ然ルベキコトデナカラウカト思ヒマスノデ、御答辯ハ要リマセヌガ、私ノ意見トシテ一應御參考ニ申上ゲテ置キマス

○持永政府委員 或ハ私カラ答辯スルヨリモ、總務局長ノ方ガ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、一應私カラ御答ヘ致シマス、實ハ農村ニ保有スル人口ノ大體ノ目安ハ、御承知ノヤウニ企畫院デ決メマシテ、大體全人口ノ割當ヲスルト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレニ基イテ厚生省ニ於キマシテモ、色々農村ニ於ケル勞務ノ問題ニ付テ研究致シテ居リマス、例ヘバ本年度ノ國民動員計畫ニ於キマシテモ、國民學校ノ卒業生ヲドウ位農村ニ保有スルカト云フコトモ、實ハ計數トシマシテ具體的ニ決マツテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ不十分デゴザイマスガ、ヤハリ大體國民動員計畫ニ依リマシテ、農村ニ此ノ位ハ保有スベキデアルト云フヤウナ凡ソノ目安ヲ付ケマシテ、ソレニ依ツテ仕事ヲ進メテ居ル次第デアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、農村ト工業ノ勞力ノ調整ト云フ見地カラ、サウ云フ風ニ進メテ居ルコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○池田(正)委員 次ニ今ノ勞務關係ト極メテ密接ナ關係ノアル問題デアリマスガ、前ノ委員會デドナタカニ依ツテ取上ゲラレタカト思ヒマスガ、農林省ガヤツテ居ラレ

農地開發營團ノコトデスガ、大體開墾ト云フノハ、私ハ所謂農村ノ餘剩勞力ヲ以テ徐々ニヤツテ行クモノト、大キク一遍ニ開發營團ガ今ヤツテ居ルヤウニヤツテ行クモノト、二ツアルト思ヒマスガ、今開發營團デヤツテ居ルヤウナコトハ、平時ニ於テモ勞銀其ノ他ノ色々ナ角度カラ見テ、採算上其ノ他モ考ヘテ間ニ合フ所ニ條件ノ備ハツタ所ト備ハラナイ所トアル、隨テ殊ニ今日ノヤウナ斯ウ云フ場合ニ、一律ニ開發營團デ何縣デ何百町歩、何縣デ何千町歩ナル、甘諸ガ幾ラ米ガ幾ラト云フヤウナ役人式ノ紙ノ上デ數字ヲ書イテ喜ンデ居ルト云フヤウナ、斯ウ云フコトハアツサリオ廢メニナツタラドウカ、私ハドウモ何時モ言葉ガ極端ナデスカ、今ヤツテ居ル開發營團ノアツチコツチヲ見ルト「プラス」ニナツテ居ル部分ガ少クテ、寧ロ「マイナス」ノ方ガ多イ、私ハ斯ウ思フ、百町歩以上ノ開發營團ヲツテ居ル、サウスルトソコニ勞力ヲ使フ、資材ヲ使フ、其ノ爲ニ其ノ近所ノ田ヤ畑ガ、草ヲ三度取ル所ヲ一度ニナツタリシテ居ル、是ハ他ノ問題トモ關聯シマスガ、サウ云フ實例ガ澤山アル、私ハ山形縣ノ庄内デアリマスガ、庄内地方ニ行クト、現ニ稻ヲ刈ツタ跡ノ田ヲ見ルト、草ヲ取ツタ所ト取ラヌ所、手ヲ抜イタ所ト手ヲ抜カナイ所トガハツキリ見エル、明瞭デス、隨テ其處ハ明確ニ收穫ガ少イ、ダカラ何百町歩起シタカラソレダケ「プラス」ニナツタカト云フト、サウデヤナイ、片方ノ方デ「マイナス」ガアル、之ヲ十分ニ御考ヘニナツテ戴カヌトイカヌ、唯單ニ「プラス」ト「マイナス」デ相殺サレタカト云フト、サウデヤナイ、ソレニ要シタ勞力ト云フモノハ全ク「マイナス」デアル、

資材モ「マイナス」ニナツテ來テ居ル、サウ云フ實例ガ澤山アル筈デアル、此ノ間當局ハ何カ改良ノ方ニ重キヲ置イテ、今年カラヤツテ行カレルト云フ御話ガアツタサウデスカラ、私デ承致シマスガ、之ヲ所謂お役所式ノ意地ツクカナンカデ、折角ヤツタノダカラヤルト云ツタヤウナ形デヤツテ行カレルコトハ、モウ潔クオ廢メニナツテハ是ハ全部ガ全然イケナイトハ申シマセヌ、必ス先程申シマシタヤウニ條件ノ適ツタ所、必ズシモ全國ニナイトハ申シマセヌケレドモ、大部分ハ「マイナス」デアル、殊ニ個人ノ開發ニ必要ナ資材ヲ、何カ聞ク所ニ依ルト、是ハ何處マデ本當カ存ジマセヌケレドモ、開發營團第一主義デ、資材ノ大部分ハ先ヅ第一番ニ開發營團ニ行ク、其ノ次ニ個人ノ方ニ廻サレル、隨テ個人デヤツテ居ル方ニハ資材ガ廻ツテ來ナイト云フコトヲ聞クノデアリマス、是ハドノ程度信ジテ宜イカハツキリシマセヌガ、況シテ左様ナコトガアルトスレバ、是ハ由々シキ問題デアル、斯ウ云フコトハ耕地課アタリデ御考ヘニナツテオヤリニナツタコトダト思フガ、是ハ洵ニ感心シナイコトダト思ヒマスカラ、之ヲ是非實地ニ即スルヤウニ改メテ戴キタイ、モウ一ツハ先程内原道場ノ問題ガ出マシタカラ、之ニ關聯シテ實ハ私文部省ノ政府委員ヲ要求シテ居ツタノデアリマスガ、内原道場ハ慥カ農林省デ主管シテ居ラレルト思ヒマス、ソコデ農學校ハ全國各府縣ニ數校ヅツアル、所ガ内原道場ヲ讚美シ、之ヲ褒メル人ハ澤山アルケレドモ、サウ云フ風ニナツタナラバ、農學校方面カラ、吾々ガヤツテ居ルノニ、餘計ナコトヲヤラヌデモ宜イデヤナイカト云フ苦情ガ出テ來テ然ルベキデハナイカト

私ハ思ツテ居ツタゲケレドモ、未ダ會テサウ云フ苦情ガ出タト云フコトヲ聽カナイ、ト云フコトハ農學校ノ教育ガナツテ居ラヌト云フコトナノデアル、今日ノ日本ノ農學校ノ教育ヲ見マシテ、私ハ自分ノ縣ヘ行ツテ言ツタノデス、コンナモノハ廢シテシマヘ、農學校ノ學生ト云フモノハ中流以上ノ農家ノ、而モ長男ガ其處ヘ集マツテ、卒業スルト田舎紳士ニナツテ、洋服ヲ着テ、酒ヲ飲ムコトヲ覺エテ、縣會議員ニナツタリ、村會議員ニナツテ騷イデ歩く人間ガ、少クトモ事變前ニハ多カツタ、デアルカラ斯様な馬鹿ガタモノハ廢シテシマヘト、農學校ヘ行ツテ、現ニ講演ヲシタコトガアルノデスガ、サウ云フコトハ獨リ山形縣デケデハナイト思フ、ソコデ是ハ文部省ノ管轄ニ屬スルノデ、農林省ニハ直接關係ハナイコトト思ヒマスガ、併シサウシタ點ニ内原道場デ折角農村ノ指導青年ヲ訓育ナサツテ居ルノデアルカラ、文部省ト何等カノ話合デ、内原道場ノアア云ツタ所デ精神的ニ實地方面カラ人間ヲ指導スルト云ツタヤウナコトデ、農學校ノ指導者ヲ養成シテ、ソレヲ全國ノ農學校ニ配置スルト云フヤウナコトモ一ツノ方法デヤナイカト云フ風ニ考ヘラレマスガ、ソレハ農林省ニ直接關係ガナイヤウデスカラ、ドウ御考ヘニ相成ルカモ知レマセヌガ、内原道場ニ一万余人ヲ毎年集メテヤツテ居ル、農學校ヲ出タ者ハ先程モ言ツタヤウニ、地主ノ倅デ、學校ヲ出テモ百姓モ出來ナイト云フヤウナバカリ出來テ居ル、而モ惡イコトバカリヤツテ、田舎政治家ノ養成所ミタイナ恰好ニナツテ來タノデハ因ル、ソコデ農林省トシテモ此ノ點ニ一ツ御考ヘラ下サツテ、文部省トモ御話

合ノ上ニ、是ハ何處ノ管轄トカ何トカト云フコトデナシニ、日本ノ農士ナシカラ、日本ノ農村ヲ良クスル爲ニハ、農學校ヲ何トカシナケレバナラス、制度上ノコトニ付テハ例ヘバサウ云フ專門學校ニ對スル農業ナラ農林省、或ハ商業ナラ工商省ト云フ組織ノ上ニ對スル議論モ自ラ出テ來ルノデアリマスケレドモ、今日ハソコニハ觸レマセヌガ、何カソレニ對スル御考ヘガアリマシタナラバ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○重政政府委員 開發營團ノヤツテ居リマス開發ヲ止メタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ寧ロ主務局長カラ御答辯申上ダタ方ガ宜イト思ヒマスガ、只今居リマセヌカラ、私ノ感ジヲ申上ゲマス、是ハ止メマセヌ、御承知ノヤウニ、年々相當ナル耕地ガ現ニ潰サレテ居ル、是ハ國土防衛ノ爲ニ已ムヲ得ズ潰スコトヲ初メトシテ、年々相當ノモノガ潰サレテ居ルコトハ、御承知ダラウト考ヘルノデアリマス、之ヲ一朝ニシテ是等ノ耕地ヲ將來何年カ後ニ於テ現出スルト云フコトハ中々困難ナコトデアル、色々ノ耕地ノ改良、其ノ他ニ依ツテ、現下ノ食糧ノ増産ヲヤルト云フコトハ、是ハ極メテ必要デアル、併シ何ト云ツテモ根本ハ耕地デアル、デアルカラ如何ナル場合ニ於テモ開墾ト云フモノハ必ズ是ハ常ニ考ヘテ行カナケレババカヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、農林省ノ主務當局ニ於テハドウ考ヘテ居ルカ知レマセヌガ、私ハサウ考ヘテ居ルノデアリマス、開墾ヲヤルノデ勞力ガ要ル、其ノ通りデアリマスガ、併シ是モ農繁期ニ於ケル勞力ヲ使フカドウカト云フコトハ、是ハ問題デアリマス、現ニ開發營團ノヤツテ居リマスノハ、恐ラク農

開期ニ於ケル努力ヲ使ヒ、或ハ學生其ノ他ノ、先程持永君ノ申シマシタ勤勞報國隊ノ努力ヲ使フノモ多イデアリマス、ソレ等ノ點ハ吾々ハ厚生省ト交渉致シマシテ、相當ナルモノヲ其ノ方面ニ使ツテ居ルト云フ實情デアアルデアリマス、庄内地方ニ於ケル除草ガ出來ナイト云フノハ、開發營團デ開墾ヤル爲ニ出來ナイノカドウカト云フコトハ、是ハ十分實情ヲ調べタ上デナイト只今申上ゲル譯ニ行カナイト考ヘルノデアリマス

尙ホ資材ヲ先ヅ第一ニ開發營團ニヤツテ、個人ノ方ニハヤラナイト云フコトガアツテハ大變ダ、斯ウ云フ御説デアリマスガ、是モ大體ニ於キマシテ其ノ通りデアルト考ヘルノデアリマス、併シナガラドレデモ是デモ開墾ヤル者ニ平等ニ資材ヲ提供スルト云フコトハ、今日ノ場合出來ナイコトデアリマスノデ、能ク能率ノ良イ所ヲ調べ、少イ資材ニ依ツテ最モ多クノ效果ヲ擧ゲル所ニ資材ヲ提供シナケレバナラヌト云フコトハ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ已ムヲ得ナイ事態デアアルデアリマス、ソレ等ノ點ハ御諒承戴キタイト考ヘマス

第二ノ御質問ノ農學校ガ非常ニイカヌト云フ御話デアリマスガ、是ハ文部當局カラ御答ヘヲ申上ゲタガ勿論宜シイ譯デアリマスガ、私ハ唯只今ノ御意見ヲ御聽キ致シマシテ、私ノ是ダケノ感ジヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ現在ノ農業生産ノ指導者ハ誰ガヤツテ居ルカト云フコトデアリマス、現在ノ農業生産ノ指導者ハ是ハ皆農學校ヲ出タ者デ、ソレガ農業技術ノ指導ヲ致シテ居ルデアリマス、農學校ヲ出テ直チニ米ヲ作ツタリ、麥ヲ作ツタリスル

コトニ、十分ナ效果ヲ發揮スルコトハ出來ナイカモ分リマセスガ、之ヲ更ニ試驗場ニ於テ鍊成ヲ致シ、或ハ實地ノ指導ヲ適當ナル方面ニ於テ致スト云フコトニナレバ、是ハ立派ナ指導者ニナルデアリマス、是ハ私ガ申上ゲルマデモ十分御承知ノコトト思ヒマス、勿論農業教育自體ニ付キマシテノ御意見ハ色々アルコトデアリ、私共ト致シマシテモ是ハ機會アル毎ニ文部當局ニ對シテハ要求モ致シ、相談モ致シテ居ル譯デアリマスガ、唯全然役ニ立たヌヤウナ御話ノヤウニ拜聽致シマシタケレドモ、現在ノ農業生産ノ技術的指導者ハ、農學校ヲ出タ方々ガヤツテ居ラレルデアリマスカラ、農學校出身者ガ國家ニ非常ニ貢獻ヲ致シテ居ルト云フコトハ、十分御認メヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○高橋(熊)委員 一寸簡單デスカラ、池田君ノ開發營團ノコトニ付……

○東郷委員 簡單ナラバ此ノ際許シマス
○高橋(熊)委員 補充ノ質問デスガ、今開墾營團ハ國策ニ順應シテヤルノダカラ、是非ヤラナケレバナラヌト云フコトハ御尤モデス、御尤モダガ、政府ハ國策ニ副ツテヤツタ積リナラダ、所ガ一向國策ニ副ツテ居ナイ、農村ヲブチ壊シテ居ル、是ハ私ハ西南地方ナドノ例ハ能ク知リマセス、東北地方ノコトヲ主ニ申上ゲマス、山形縣、青森縣、福島縣、北海道ノ一部ト云フヤウナ方面ノ實例ヲ言ツテ居ルノデスガ、農閑期ヲ利用シテばかり居ラス、農繁期ニ喰ヒ込メデ居ル、ソコデ地方ハ努力ニ非常ニ困ツテ居ル、サウシテ人夫賃ト云フモノハ請負制度デアツテ、一坪起セバ幾ラ、例ヘバ山形縣ノ地方デヤツテ居ルノハ一坪三十錢、サウスルト

三十坪ナント云フノハ腕ノ良イ方デス、大概二十坪位ガ普通デアアル、開墾ト云フコトハ非常ニ面倒ナノデス、素人ガ見タノデハ分ラナイ、餘程腕ノ達者ナ者デナケレバ分ラヌ、ソレデ耕地ヲ何寸起シタト云フコトデナク、開墾スレバ宜イト云フノデ、上ノ草ダケ引繰返セバ宜イト云フノデ、中ニハ土ヲ被セルナドト云フノガアル、私ハ開墾シテ大變閉口シタコトガアル、能ク見ルト、隣リノ土ガ引繰リ返ツテ居ル、サウシテ其處ハ一向起サレテナイ、或ハ薄ク起サレテ居ル、ソレダカラ一日ニ五十坪モ、六十坪モ、腕ノ強イ者ハ七、八十坪モ起ス、サウスルト普通平均一日十圓位手間賃ガ取レル、ソレデスカラ爭ツテ其ノ方ニ走ツテシマフカラ、開墾營團ノ行ハレル地方ニハ努力ガ不足スル、池田君ノ御話デハ田ノ草ヲ取ル勞力ガナクナツタト云フコトデアリマスガ、稻ナドハドウデモ宜イ、米ガ安イカラ、食米位ハ何トカ穫レルダラウ、開墾人夫賃ヲ餘計取ツタ方ガ宜イト云フヤウナ狀況ガ間々アリマス、困ツタコトデス、サウシテ實際ドウカト云フト、小作ニ入ル者ハドレダケアルカ、小作人ハ其ノ地方ヲ實際見テ居リマスカラ、ソナナ所ニ小作ニハ入リマセヌ、青森縣ノ水田ナドハヤハリ直サナケレバ駄目ダラウト云フコトヲ言ツテ居リマス、サウ云フコトハ不必要ナコトデハナイカ、若シ本當ノ耕地ガ必要ダト云フ國策デアラナラバ、開墾ノ結果ト云フコトヲ御調べニナラナケレバナラヌ、今マデノ政府ノヤリ方ハ時々斯ウ云フコトガアルノデス、皆ダトハ申シマセヌ、十分計畫ヲサレテ、サウシテソレヲ實行ニ移シテ豫算ヲソレダケ配レバソレデ宜カッタ、上局ノ判ヲ取レバ下ノ方ハソレデ

宜シイ、其ノ結果ドウナツタカト云フ責任ヲ負フ者ハ誰モナイ、是ガ只今マデノ官治制度ノ非常ニ惡イ所デアアル、サウ云フコトガ此ノ開墾營團ノ事業ニ現ハレテ居ル所ニ非常ニ多イ、コンナコトヲヤツテ地方デ農業ヲ本當ニ眞面目ニヤツテ居ル者ノ努力ヲ奪ツタリ、資材ヲ奪ツタリスルト云フコトハイカヌコトデ、池田君ガ偶、地方へ行カレテ實地ニ農村ヲ見ラレタリ、サウ云フコトヲ聞カレタリシテ言ハレタノデアリマスガ、洵ニ池田君トシテハ代議士タラント欲シテ農民ノ實情ヲ能ク見ラレテ居ルト云フコトハ、私ハ池田君ノ勞ヲ多トスルノデアリマスガ、百姓生レデナイカラ、ソコガ分ラナイノデ、一應補充シテ能ク御考ヘ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 能ク實情ヲ調べマシテ、今ノヤウナコトガアリマスレバ十分注意致シマス

○池田(正)委員 高橋老カラ補足シテ貰ツテ、私ノ言ハントスル所ヲ言ツテ貰ツテ洵ニ有難カツタノデアリマスガ、其ノ問題ハソレデ大體盡キヤウデアリマスカラ、希クバ今ノ役所式ノ數字ヲ離レテ、幾ラ起キタトカ、サウ云フ所デ動イテ居ルヤウナ從來ノ感情ヲ綺麗サツパリ捨テ貰ツテ、サウサリ惡イ所ハ直シテ行クト云フ態度ニ出デ戴キタイト云フコトヲ希望シテ置キマス、モウ一ツ先程農學校ヲ出タ者ガ技術的ニ指導シテ居ル、アナタハサウ仰シヤイマスケレドモ、サウ云フ幼稚ナ地方モアルカモ知レマセヌガ、私共ノ方ノ山形デハ農學校ナド出テ來タ者ハ使ヒ道ガアリマセヌ、一般ノ百姓ノ方ガズツト進歩シテ居リマス、私ハソレヲ言フノデ、是レ以上ハ議論ニナリ

マスカラ避ケマスガ、サウ云フ實情ニアリマス、モウ一ツハ他ノ地方ハドウカ知リマセヌガ、國營ノ試験場ハ私ハ見タコトガナイカラ知リマセヌガ、縣營ノ農事試験場、是ハドウモ農林省ガ直接ニ指導シテ居ナイ關係ガアルカモ知レマセヌガ、豫算ノ關係等ガアリマシテ、所謂無キモガナト云ツタモノガ多イ、折角設備ヲシ、技術員ヲ雇ツテ、高イカ安イカ知リマセヌガ、人件費ヲ拂ヒ、事務費ヲ拂ツテヤツテ居ツテ、ヤツテ居ルコトハドウカト云フト、普通ノ百姓以下ノヤウナ玩具ノヤウナコトヲヤツテ居ル、是等ハイツソノコト寧ロ廢止スルモノハ廢止シ、整理スルモノハ整理シ、集中的ニ豫算ヲウント組ンデヤラレルナラソレデモ宜シイ、ドツチカニナサツタラ宜シイノデハナイカ、是ハ農林省ガ一ツ地方廳ヲ能ク指導セラレ、研究セラレテ、現在ヤツテ居ルヤウナ試験場ナラ寧ロ國家ハ無駄ヲヤツテ居ルノデナイカ、左様ニ思ハレル點ガアルノデアリマス、是ナドモ又高橋老ノ救済ヲ受ケナケレバナラスカモ知レマセヌガ、私ハ左様ニ思ツテ居ルノデアリマス、ドウゾ其ノ點モ十分ニ御研究下サツテ戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○重郷委員長 農業團體法案ニ對スル質疑モ此ノ程度デ一應終了致シタノデゴザイマス、尙ホ委員長ニ於テ必要ト認メル場合ニハ適當ナ處置ヲ致シマス、次會ノ日取ハ決定次第公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日は是ニテ散會致シマス

午後五時五十分散會